

中能登町
子ども・子育て WEB アンケート
結果報告書

令和7年1月
中能登町

目 次

I	アンケート調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査概要	1
3	報告書の見方	1
II	就学前児童調査の結果	2
1	お子さんご家族の状況について	2
2	子どもの育ちをめぐる環境について	6
3	保護者の就労状況について	13
4	平日の定期的な教育・保育施設の利用状況について	24
5	地域の子育て支援拠点事業の利用状況について	29
6	休日の「定期的な」教育・保育施設の利用希望について	31
7	お子さんの病気の際の対応について	33
8	「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	36
9	小学校就学後の放課後の過ごし方について	41
10	育児休業など職場の両立支援制度について	45
11	子育ての観点からみた中能登町について	50
III	小学生児童調査の結果	58
1	お子さんご家族の状況について	58
2	子どもの育ちをめぐる環境について	61
3	保護者の就労状況について	67
4	お子さんの病気の際の対応について	78
5	「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	81
6	放課後の過ごし方について	86
7	育児休業など職場の両立支援制度について	93
8	子育ての観点からみた中能登町について	99

I アンケート調査の概要

I 調査の目的

本調査は、「第3期中能登町子ども・子育て支援事業計画」の策定資料として、保育ニーズや中能登町の子育て支援サービスの利用状況・利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見等を把握することを目的に実施しました。

2 調査概要

項目	就学前児童調査	小学生児童調査
調査対象者	町内在住の「就学前児童」をお持ちの世帯・保護者	町内在住の「小学生児童」をお持ちの世帯・保護者
調査期間	令和6年12月23日（月） ～令和7年1月8日（水）	令和6年12月23日（月） ～令和7年1月8日（水）
調査方法	WEB回答	WEB回答
配布数	424件	570件
有効回収数	246件	335件
有効回収率	58.0%	58.8%

3 報告書の見方

◇回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

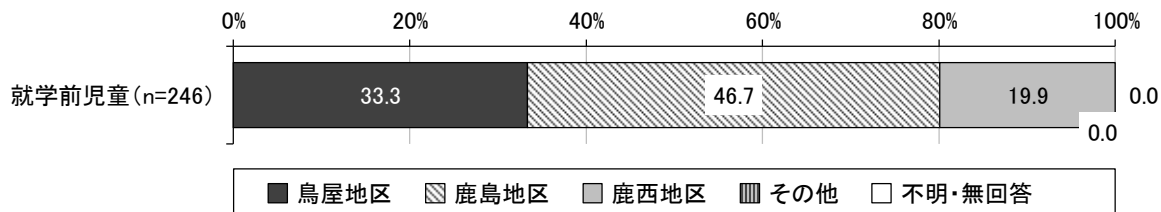
◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

Ⅱ 就学前児童調査の結果

Ⅰ お子さんご家族の状況について

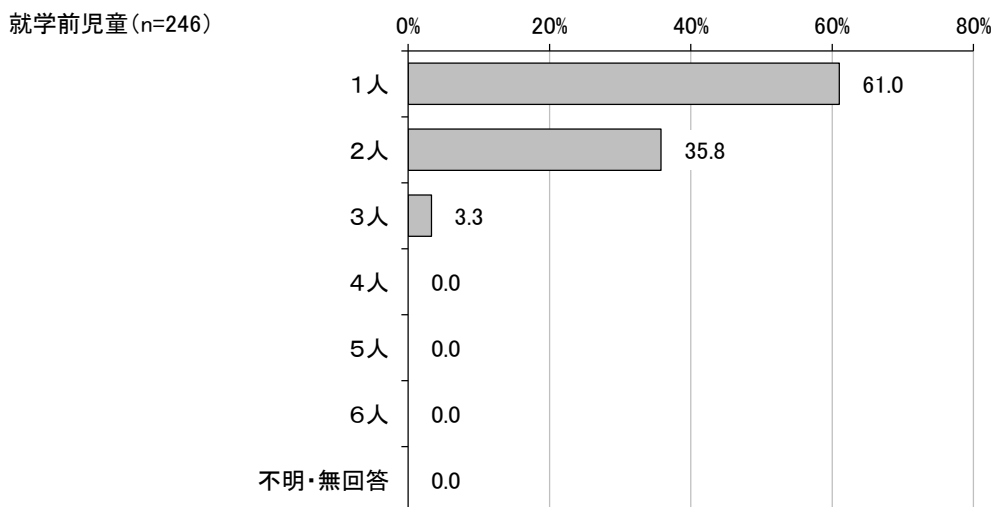
Q 1 お住まいの地区はどちらですか。

「鹿島地区」が46.7%と最も高く、次いで「鳥屋地区」が33.3%、「鹿西地区」が19.9%となっています。



Q 2 小学校就学前のお子さんは何人いらっしゃいますか。

「1人」が61.0%と最も高く、次いで「2人」が35.8%、「3人」が3.3%となっています。

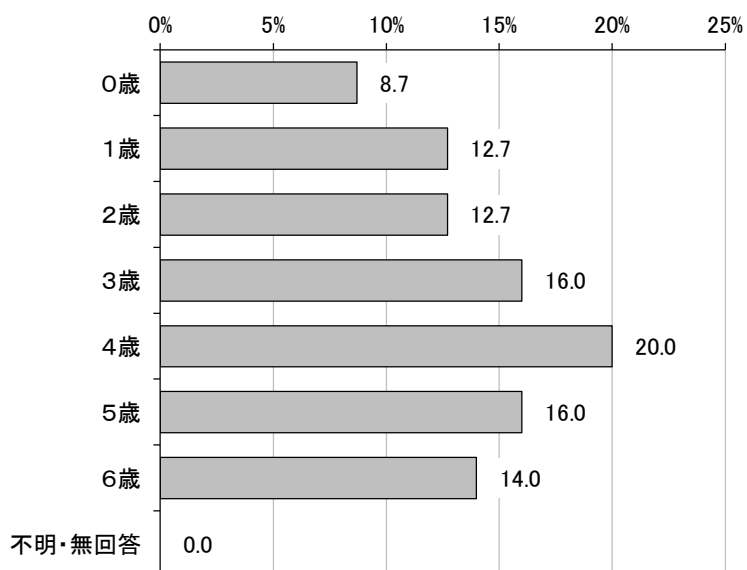


Q 3 就学前のお子さんの生年月日についてお答えください。

【第1子】満年齢

「4歳」が20.0%と最も高く、次いで「3歳」「5歳」が16.0%、「6歳」が14.0%となっています。

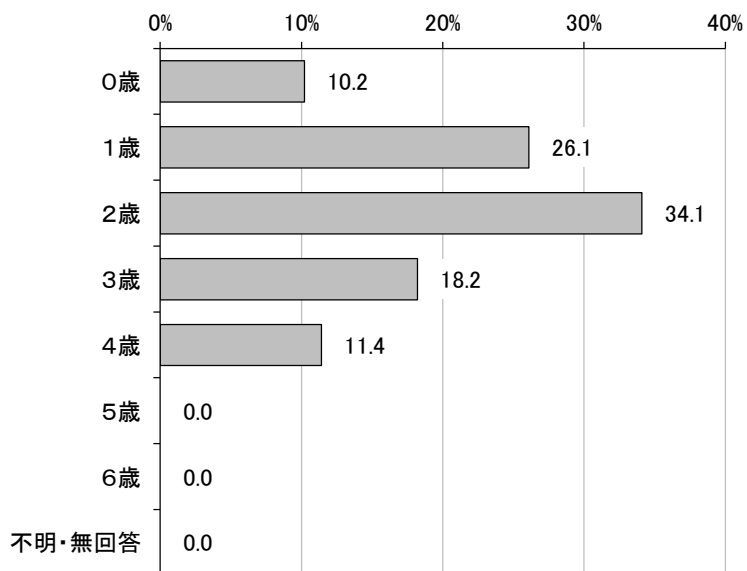
就学前児童(n=150)



【第2子】満年齢

「2歳」が34.1%と最も高く、次いで「1歳」が26.1%、「3歳」が18.2%となっています。

就学前児童(n=88)



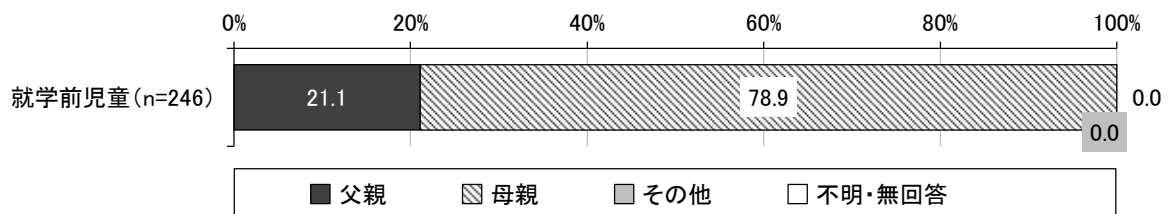
【第3子】満年齢

「0歳」が37.5%（3件）と最も高く、次いで「1歳」「2歳」が25.0%（2件）、「3歳」が12.5%（1件）となっています。

	就学前児童 (n=8)	
	件数	%
0歳	3	37.5
1歳	2	25.0
2歳	2	25.0
3歳	1	12.5
4歳	0	0.0
5歳	0	0.0
6歳	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

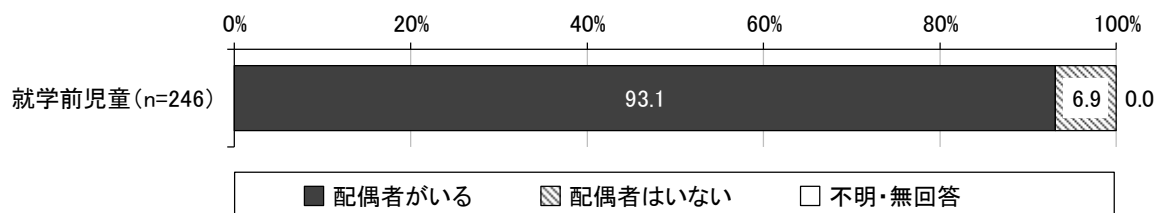
Q4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

「母親」が78.9%と最も高く、次いで「父親」が21.1%となっています。



Q5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

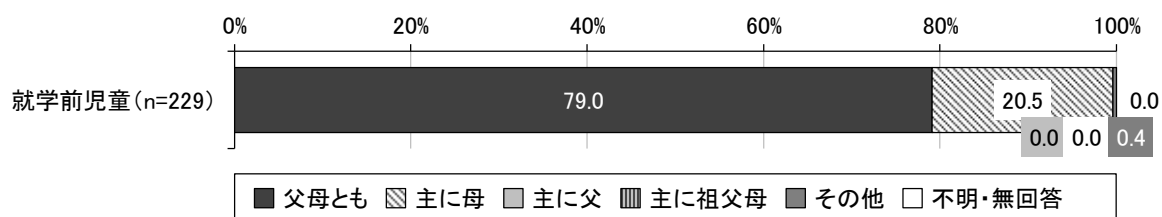
「配偶者がいる」が93.1%、「配偶者はいない」が6.9%となっています。



Q 5で「配偶者がいる」を選択した方

Q 6（１）お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。

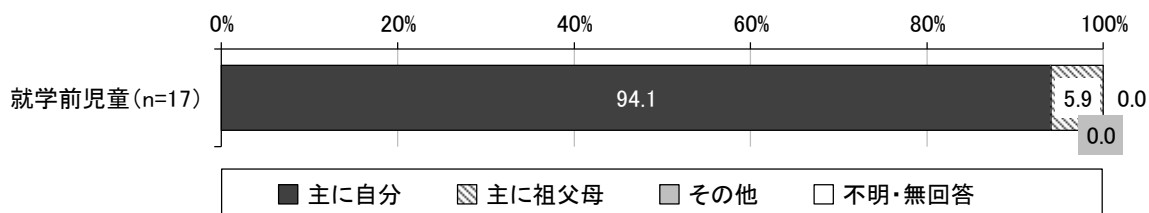
「父母とも」が 79.0%と最も高く、次いで「主に母」が 20.5%、「その他」が 0.4%となっています。



Q 5で「配偶者はいない」を選択した方

Q 6（２）お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。

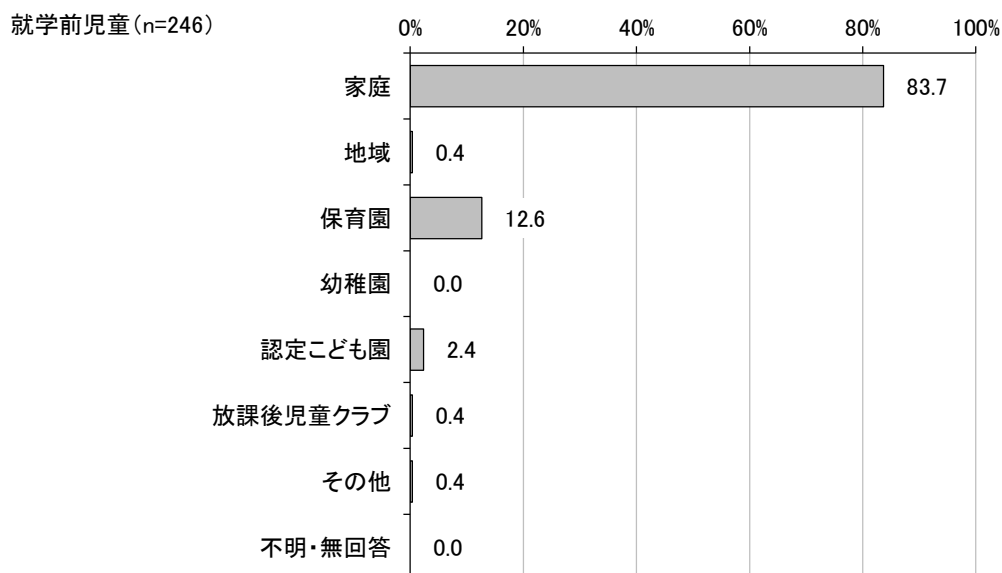
「主に自分」が 94.1%と最も高く、次いで「主に祖父母」が 5.9%となっています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

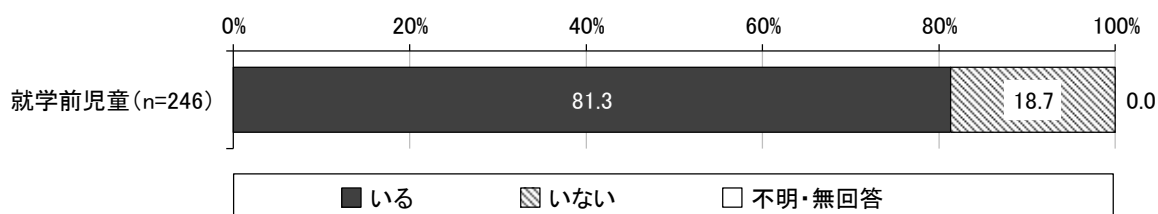
Q7 お子さんの子育て(教育を含む)に、最も影響すると思われる環境はどれですか。

「家庭」が83.7%と最も高く、次いで「保育園」が12.6%、「認定こども園」が2.4%となっています。



Q8 日頃、お子さんをみてもらえる親族や知人はいますか。

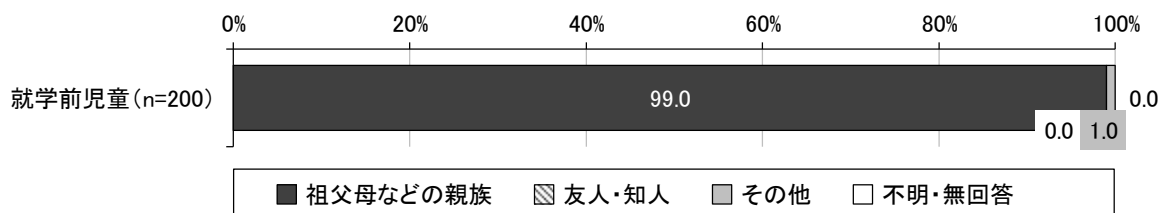
「いる」が81.3%、「いない」が18.7%となっています。



Q8で「いる」を選択した方

Q8-1 その方との関係はどのようなご関係ですか。

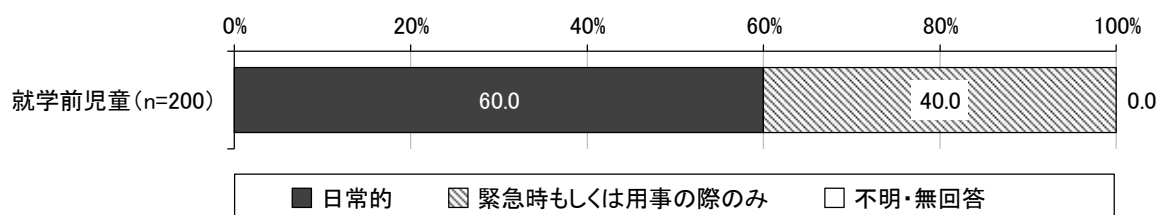
「祖父母などの親族」が99.0%と最も高く、次いで「その他」が1.0%となっています。



Q 8で「いる」を選択した方

Q 8-2 どの程度の頻度で頼ることができますか。

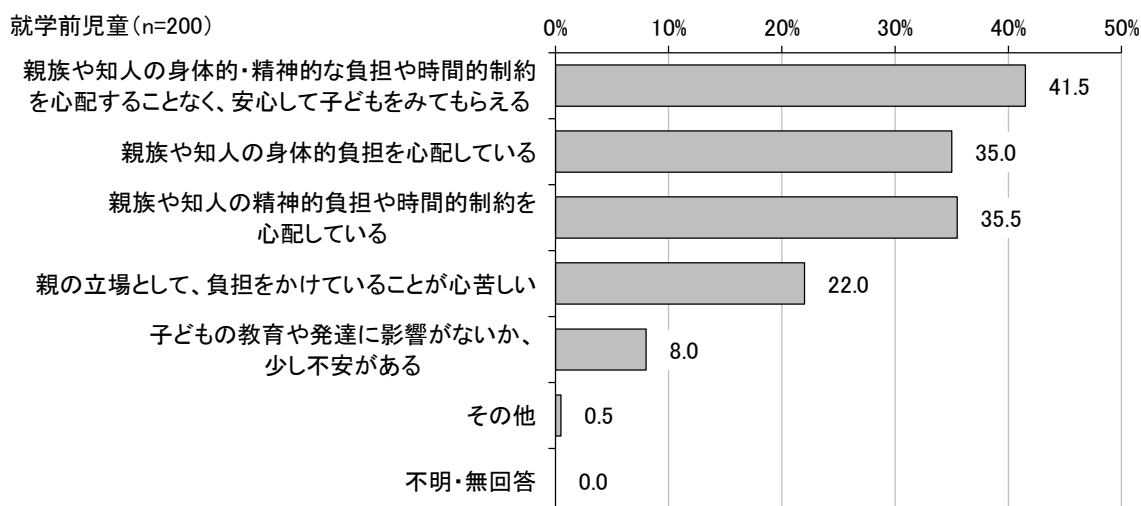
「日常的」が 60.0%、「緊急時もしくは用事の際のみ」が 40.0%となっています。



Q 8で「いる」を選択した方

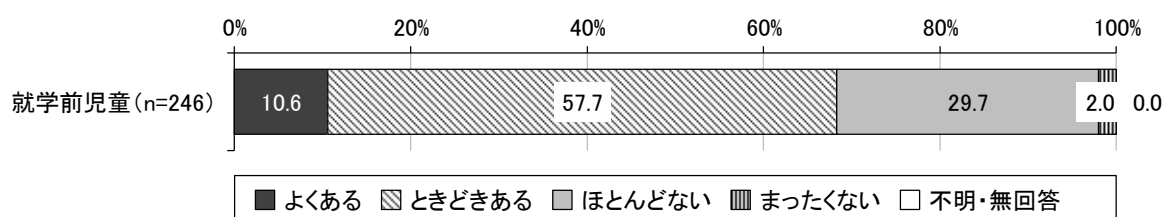
Q 8-3 親族や知人にお子さんをみてもらっている状況について感じていることをお伺いします。 (あてはまるものをすべて選択)

「親族や知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 41.5%と最も高く、次いで「親族や知人の精神的負担や時間的制約を心配している」が 35.5%、「親族や知人の身体的負担を心配している」が 35.0%となっています。



Q 9 あなたは、子育てに不安や負担を感じることはありますか。

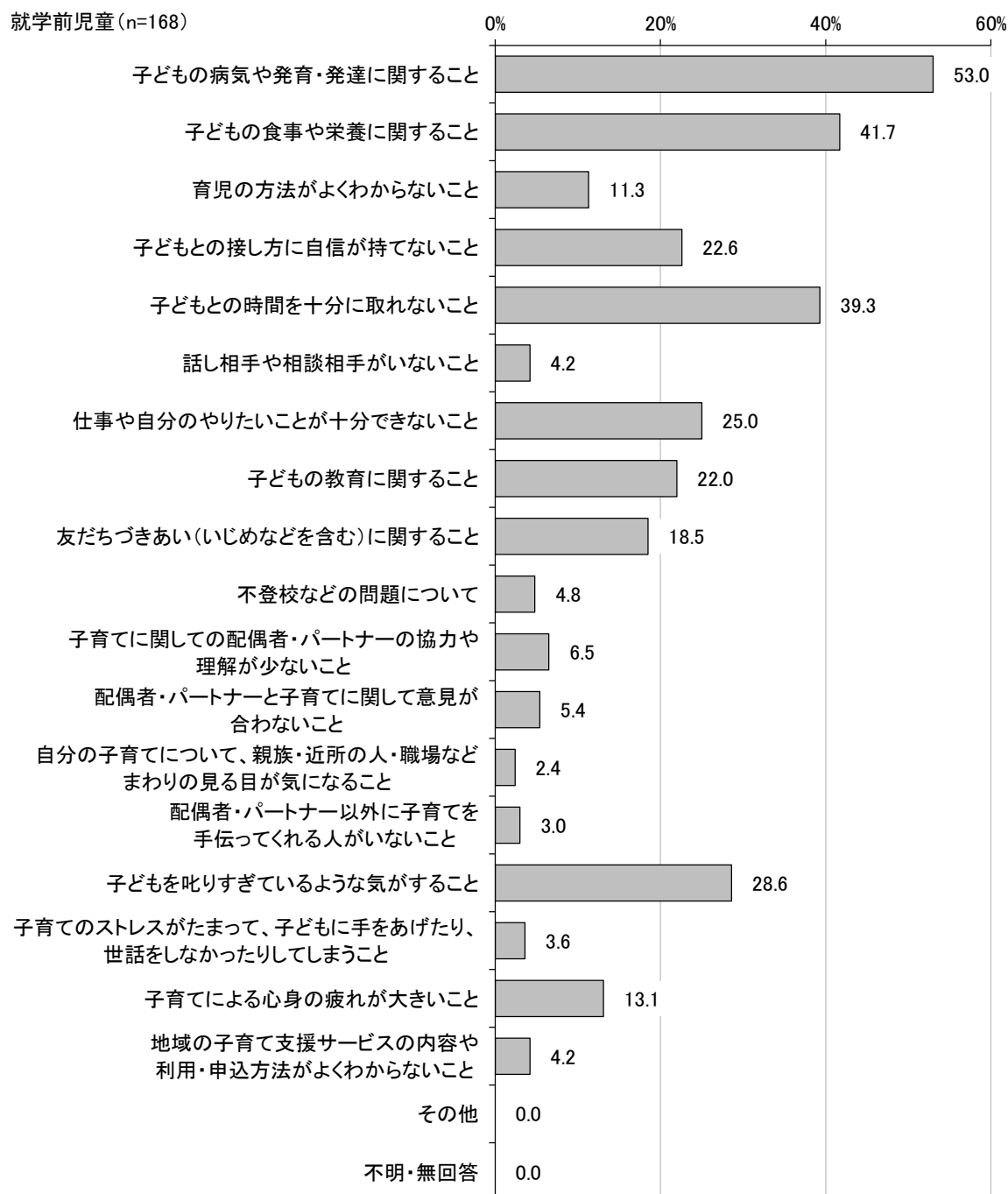
「ときどきある」が 57.7%と最も高く、次いで「ほとんどない」が 29.7%、「よくある」が 10.6%となっています。



Q9で「よくある」「ときどきある」を選択した方

Q9-1 悩んでいることや困っていることは何ですか。(あてはまるものをすべて選択)

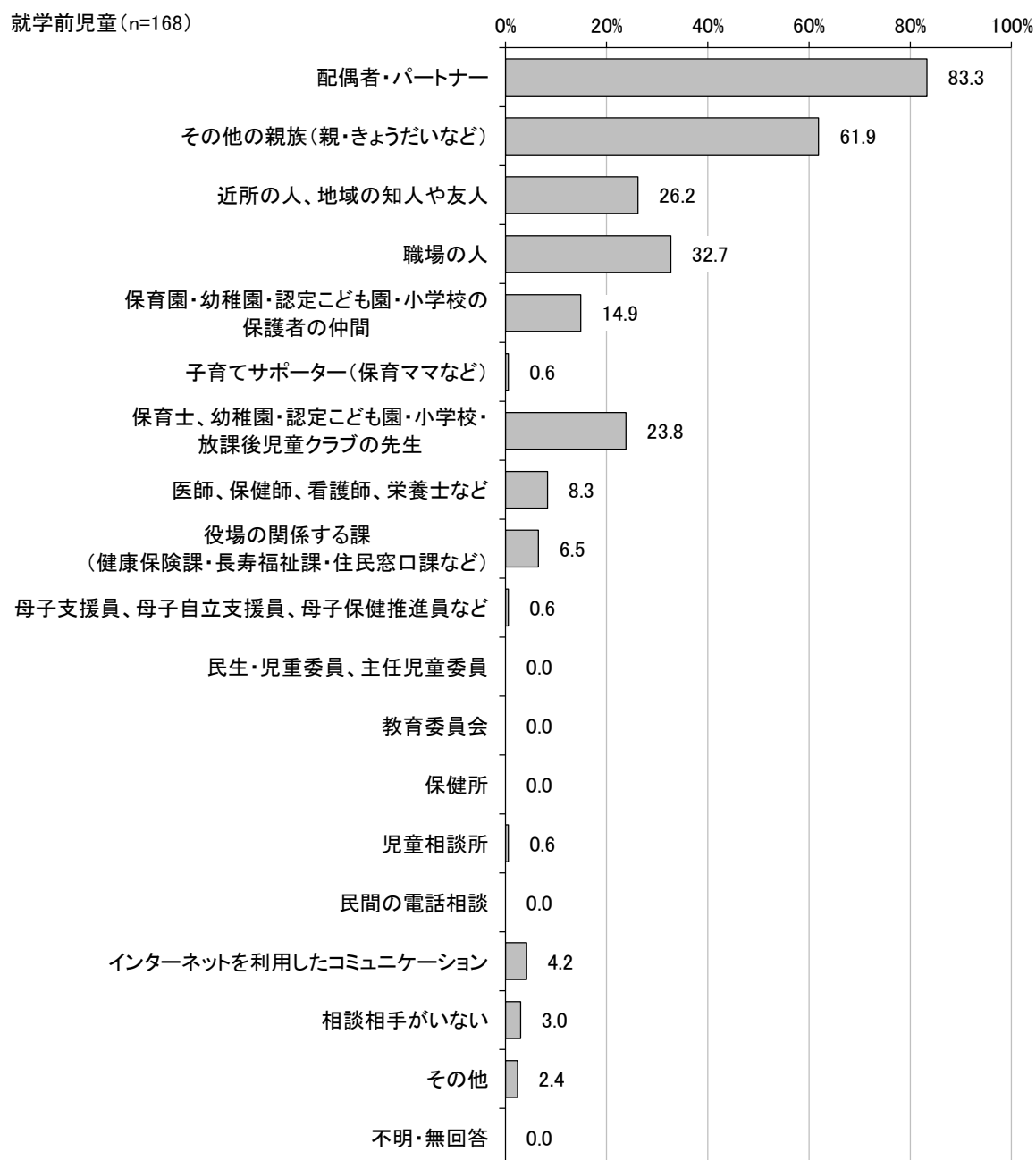
「子どもの病気や発育・発達に関すること」が53.0%と最も高く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」が41.7%、「子どもとの時間を十分に取れないこと」が39.3%となっています。



Q 9で「よくある」「ときどきある」を選択した方

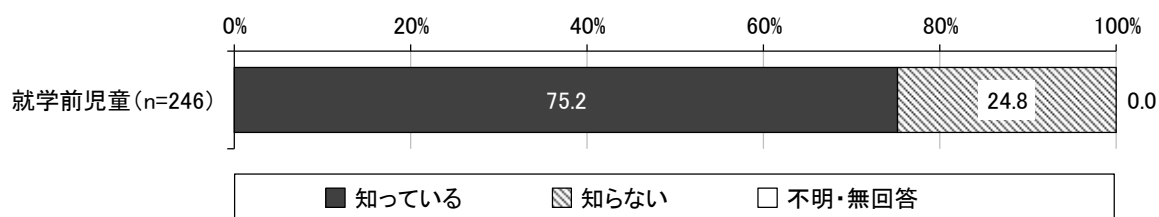
Q 9-2 悩みや不安をどなたに相談していますか。(あてはまるものをすべて選択)

「配偶者・パートナー」が83.3%と最も高く、次いで「その他の親族(親・きょうだいなど)」が61.9%、「職場の人」が32.7%となっています。



Q10 中能登町こども家庭センターをご存じですか。

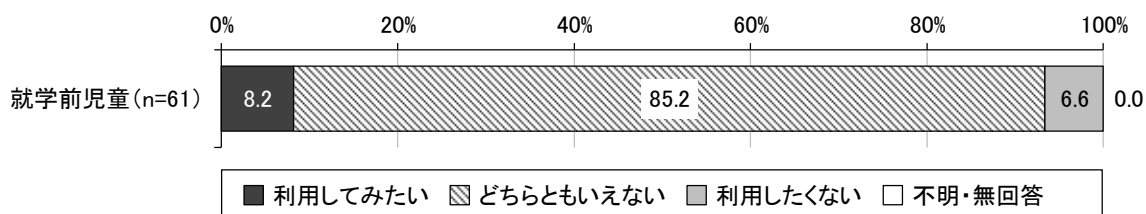
「知っている」が75.2%、「知らない」が24.8%となっています。



Q10で「知らない」を選択した方

Q10-1 こども家庭センターを利用してみたいと思いますか。

「どちらともいえない」が85.2%と最も高く、次いで「利用してみたい」が8.2%、「利用したくない」が6.6%となっています。



Q10-1で「利用してみたい」を選択した方

Q10-2 利用してみたいものを選択してください。(あてはまるものをすべて選択)

「育児相談・遊び場『alku(あるく)』」「ママとパパの休み時間」が60.0%（3件）と最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が40.0%（2件）となっています。

	就学前児童 (n=5)	
	件数	%
不妊・不育相談「ふたば」	0	0.0
育児相談・遊び場「alku(あるく)」	3	60.0
プレママ・パパ教室	1	20.0
ママとパパの休み時間	3	60.0
離乳食相談	0	0.0
発達相談「にじいろ」	1	20.0
専門相談「kukka(クツカ)」	1	20.0
不登校相談「tunagu(つなぐ)」	1	20.0
子育て世帯訪問支援員派遣	0	0.0
ファミリー・サポート・センター	2	40.0
その他	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

Q10-1で「利用したくない」を選択した方

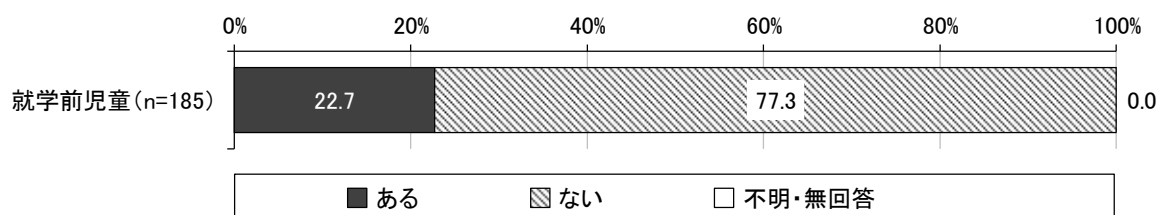
Q10-3 利用したくないとお答えされた特別な理由があれば教えてください。

回答内容
利用する時間があるなら、なるべく子どもという時間を増やしたいから。
遠いから

Q10で「知っている」を選択した方

Q11 こども家庭センターを利用したことはありますか。

「ある」が22.7%、「ない」が77.3%となっています。



Q11で「ある」を選択した方

Q11-1 利用されてみてお気づきになった点や、ご意見、ご提案がありましたらご自由にお書きください。

回答内容
行ってみたら、気軽に話を聞いてもらえたり、アドバイスしてもらって、気持ちが楽になった。気軽に行って、話がしたいけど、仕事の勤務時間が不規則で、なかなか子供を連れてまで行けないのが、利用出来てない。
初めて電話相談した時も、遊びの教室で何度か利用させていただいた時も、いつも親身になって私の話を聞いてくださったり、様々な助言をしていただいたり…本当に何度も何度も心が救われました。私が抱える我が子への発達の不安を、他人事ではなく、いつも真剣に受け止めてくださるので、何かあったらすぐ保健師さんに相談したいな、報告したいな、と思ってしまうほどです。本当にありがたいです。感謝しかありません。
職員の皆さんが温かく子どもに接して下さり、私も心が和みます。アルクの日の中々行けず、別日に利用させていただいています。
いつも温かく迎えてくださるので安心して利用できます。ありがとうございます。
役場に入って一番奥で遠いです。でも、親身になって話を聞いてくれたり、情報をもらえたりするのでありがたいです。
職員さんたちが優しく相談しやすい。
子供がとても喜びました。家族以外の大人が接触してくれるのが、成長につながるので、助かりました。
対応がよく親身に聞いてくださる！
あるくを利用した際に職員の方が世間話を含め話をしてくれて、気分転換になった。0歳児が遊べるおも

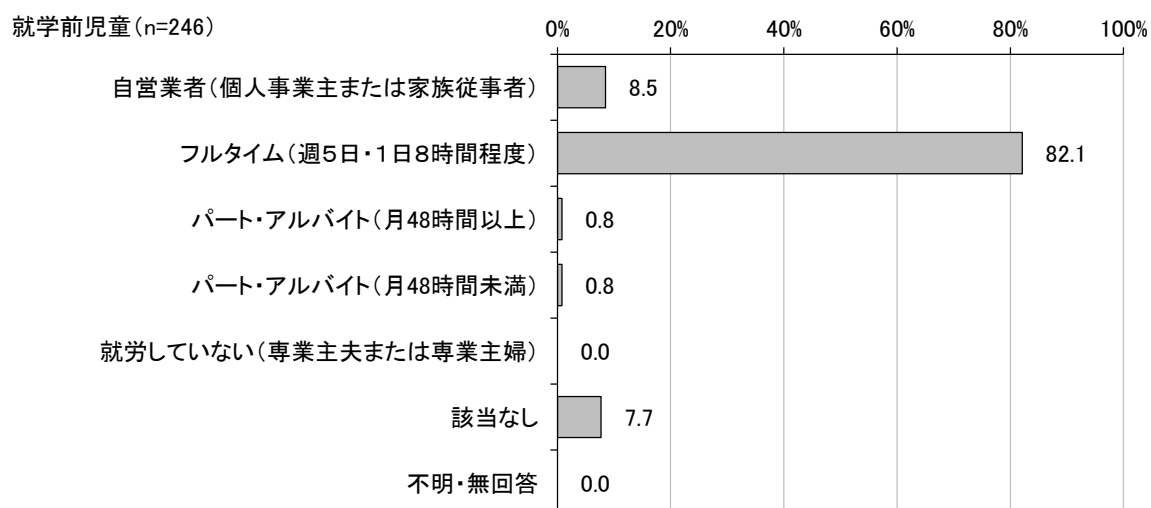
回答内容
ちやもあり、家と違った環境で子供も刺激になったと思う。
現在は支援センターを予約不要で利用可能であることを聞き、利用しやすくなったと感じます。
話しやすい雰囲気良かったです。ただ、遊びに行くなら、かほくイオンなどへ行くので役場へ寄る頻度は少ないと思います。
開けたスペースで、職員の方も笑顔で声をかけやすいなと感じました。プライバシー配慮はどのようにされているのか、なかなか相談しづらい方もいるのでは。
とても利用しやすい雰囲気で、いつでもお越しくださいね！と、言ってくださりいつでも来てもいいんだ。と思え、週に1、2回は利用させてもらっています。子どもの成長と一緒に喜んでくれたり、共感してくれたり、悩み事も真剣に聞いてくださり心に余裕をもつことができる時間です。こどもさんのことをしっかり考えていて毎日お母さん頑張っていますよ。と、言ってお下り毎回母親の自己肯定感も上がり、また頑張ろ！と思えます！本当に私にとって心の拠り所の場所です。いつもありがとうございます。
おもちゃが沢山あって、子供が楽しんでいて良い。役場の用事の間、子供を遊ばせられるのでありがたい。
中能登のアプリがあればいいと思います。そこで、イベントなどが確認できると手軽。
アルクやパパとママの休み時間を利用しました。最初は緊張しましたが、スタッフの皆さんが温かく迎えてくれてとても利用しやすいです。

3 保護者の就労状況について

Q12 お子さんの父親、母親(保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方)の現在の就労状況についてお答えください。

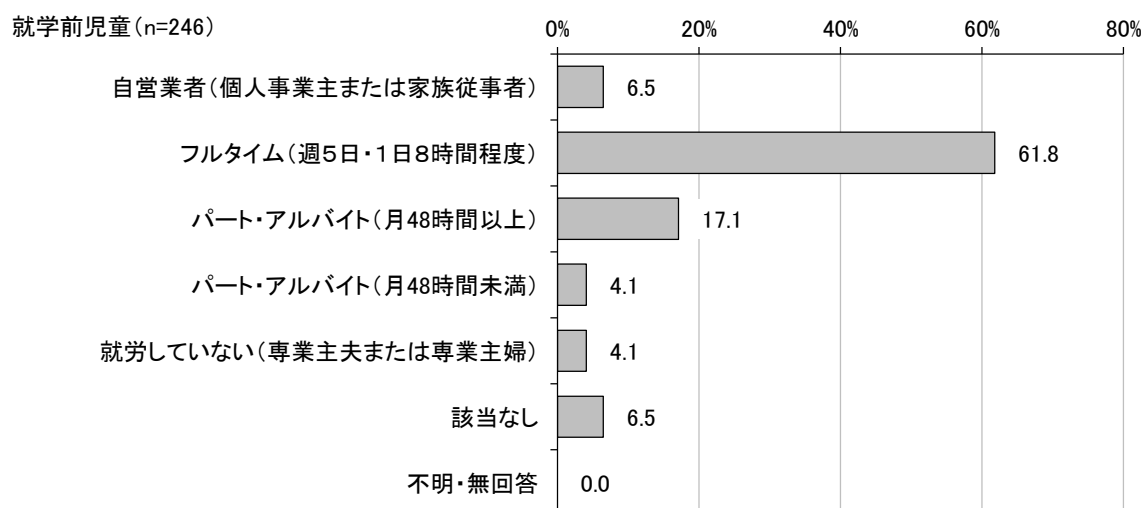
【父親】

「フルタイム(週5日・1日8時間程度)」が82.1%と最も高く、次いで「自営業者(個人事業主または家族従事者)」が8.5%、「該当なし」が7.7%となっています。



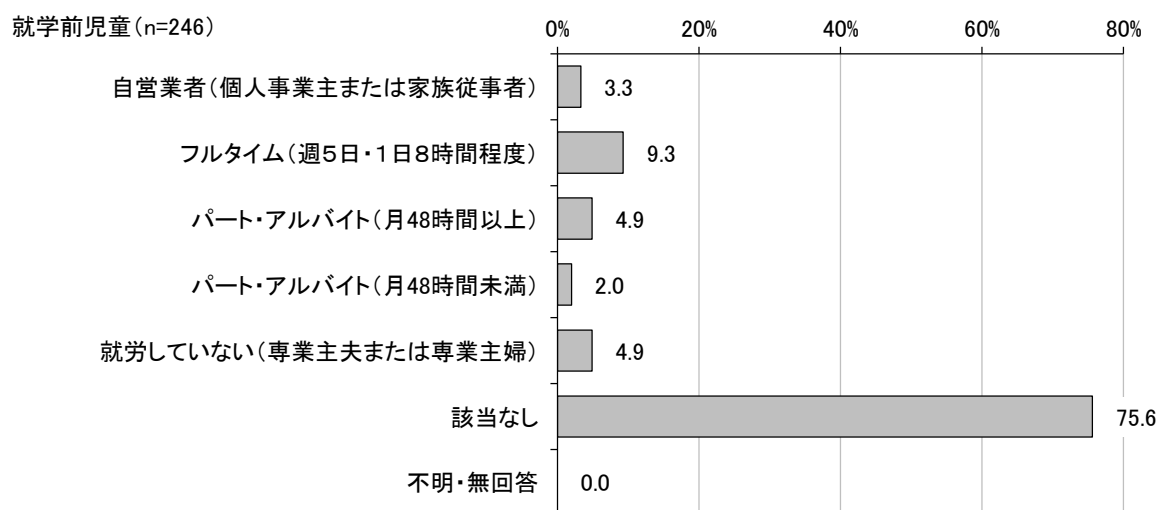
【母親】

「フルタイム(週5日・1日8時間程度)」が61.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト(月48時間以上)」が17.1%、「自営業者(個人事業主または家族従事者)」「該当なし」が6.5%となっています。



【(保護者が父母でない場合) 主にお子さんを見ていらっしゃる方】

「該当なし」が75.6%と最も高く、次いで「フルタイム(週5日・1日8時間程度)」が9.3%、「パート・アルバイト(月48時間以上)」が4.9%、「就労していない(専業主夫または専業主婦)」が4.9%となっています。



Q12で「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」を選択した方

Q12(1)-1 フルタイム勤務を選択された方について家を出る時間、帰る時間をお伺いします。
(一定でない場合は、よくある日常的なパターンでお答えください。)

■家を出る時間

【父親】

	就学前児童 (n=202)	
	件数	%
6時以前	13	6.4
6時台	22	10.9
7時台	114	56.4
8時台	36	17.8
9時台	1	0.5
10時以降	6	3.0
不明・無回答	10	5.0

【母親】

	就学前児童 (n=152)	
	件数	%
6時以前	0	0.0
6時台	3	2.0
7時台	80	52.6
8時台	54	35.5
9時台	4	2.6
10時以降	0	0.0
不明・無回答	11	7.2

【(保護者が父母でない場合)主にお子さんを見ていらっしゃる方】

	就学前児童 (n=23)	
	件数	%
6時以前	1	4.3
6時台	0	0.0
7時台	4	17.4
8時台	8	34.8
9時台	0	0.0
10時以降	0	0.0
不明・無回答	10	43.5

■家に帰る時間

【父親】

	就学前児童 (n=202)	
	件数	%
12時以前	5	2.5
12時台	0	0.0
13時台	1	0.5
14時台	0	0.0
15時台	0	0.0
16時台	2	1.0
17時台	23	11.4
18時台	61	30.2
19時台	42	20.8
20時台	24	11.9
21時以降	19	9.4
不明・無回答	25	12.4

【母親】

	就学前児童 (n=152)	
	件数	%
12時以前	1	0.7
12時台	0	0.0
13時台	0	0.0
14時台	0	0.0
15時台	1	0.7
16時台	11	7.2
17時台	44	28.9
18時台	61	40.1
19時台	12	7.9
20時台	2	1.3
21時以降	0	0.0
不明・無回答	20	13.2

【(保護者が父母でない場合)主にお子さんを見ていらっしゃる方】

	就学前児童 (n=23)	
	件数	%
12時以前	0	0.0
12時台	0	0.0
13時台	0	0.0
14時台	0	0.0
15時台	0	0.0
16時台	2	8.7
17時台	3	13.0
18時台	5	21.7
19時台	3	13.0
20時台	0	0.0
21時以降	0	0.0
不明・無回答	10	43.5

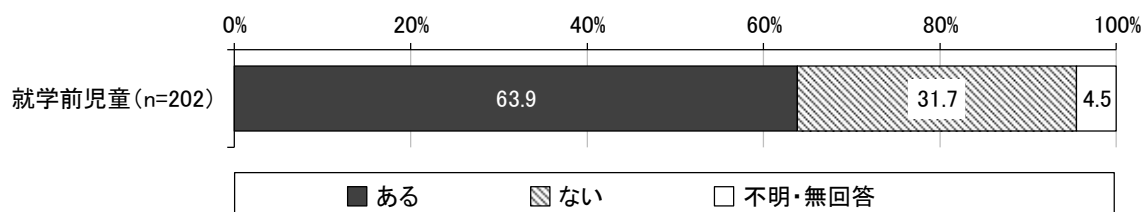
Q12で「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」を選択した方

Q12（1）-2 超過勤務（残業）についてお伺いします。

■超過勤務（残業）の有無

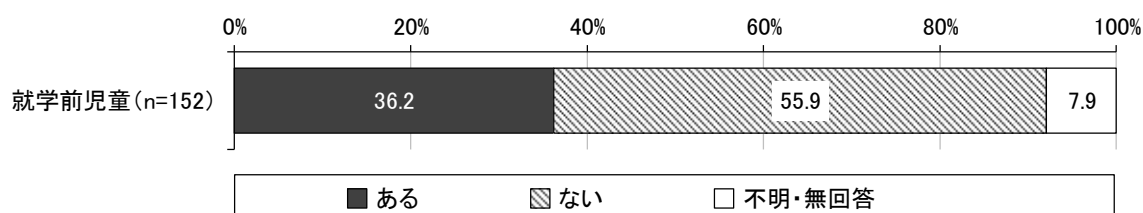
【父親】

「ある」が63.9%、「ない」が31.7%となっています。



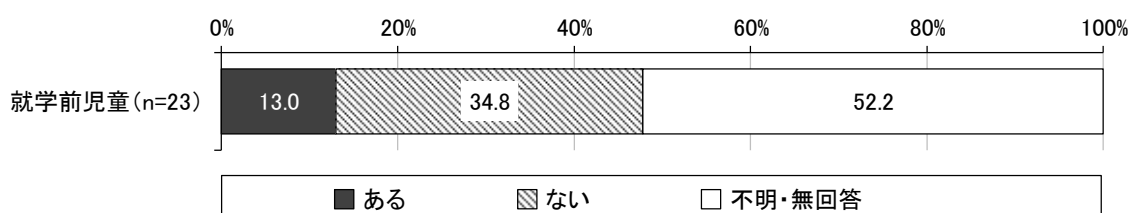
【母親】

「ある」が36.2%、「ない」が55.9%となっています。



【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】

「ある」が13.0%、「ない」が34.8%となっています。



■平均した場合の週あたりおおよその超過勤務（残業）時間数

【父親】

	就学前児童 (n=129)	
	件数	%
5時間未満	26	20.2
5～9時間	27	20.9
10～14時間	19	14.7
15～19時間	5	3.9
20時間以上	14	10.9
不明・無回答	38	29.5

【母親】

	就学前児童 (n=55)	
	件数	%
5時間未満	23	41.8
5～9時間	7	12.7
10～14時間	3	5.5
15～19時間	1	1.8
20時間以上	3	5.5
不明・無回答	18	32.7

【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】

	就学前児童 (n=3)	
	件数	%
5時間未満	3	100.0
5～9時間	0	0.0
10～14時間	0	0.0
15～19時間	0	0.0
20時間以上	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

Q12で「パート・アルバイト（月 48 時間以上）」「パート・アルバイト（月 48 時間未満）」を選択した方

Q12（2）パート・アルバイトを選択された場合の週あたり「勤務日数」と日あたり「勤務時間」について伺います。一定でない場合は、最も多いパターンでお答えください。

■就労形態

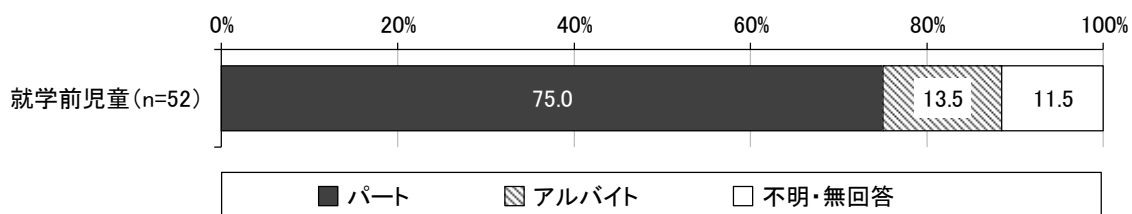
【父親】

「パート」が 50.0%（2 件）となっています。

	就学前児童 (n=4)	
	件数	%
パート	2	50.0
アルバイト	0	0.0
不明・無回答	2	50.0

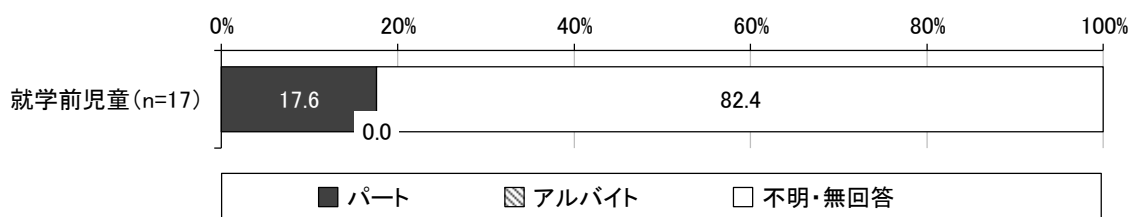
【母親】

「パート」が 75.0%、「アルバイト」が 13.5%となっています。



【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】

「パート」が 17.6%となっています。



■週あたり「勤務日数」

【父親】

	就学前児童 (n=4)	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	0	0.0
4日	0	0.0
5日	2	50.0
6日	0	0.0
7日	0	0.0
不明・無回答	2	50.0

【母親】

	就学前児童 (n=52)	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	4	7.7
4日	12	23.1
5日	21	40.4
6日	1	1.9
7日	0	0.0
不明・無回答	14	26.9

【(保護者が父母でない場合)主にお子さんを見ていらっしゃる方】

	就学前児童 (n=17)	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	0	0.0
4日	1	5.9
5日	2	11.8
6日	0	0.0
7日	0	0.0
不明・無回答	14	82.4

■日あたり「勤務時間」

【父親】

	就学前児童 (n=4)	
	件数	%
1時間	0	0.0
2時間	1	25.0
3時間	0	0.0
4時間	0	0.0
5時間	0	0.0
6時間	0	0.0
7時間	1	25.0
8時間	0	0.0
9時間	0	0.0
10時間以上	0	0.0
不明・無回答	2	50.0

【母親】

	就学前児童 (n=52)	
	件数	%
1時間	0	0.0
2時間	0	0.0
3時間	1	1.9
4時間	4	7.7
5時間	5	9.6
6時間	12	23.1
7時間	6	11.5
8時間	4	7.7
9時間	0	0.0
10時間以上	3	5.8
不明・無回答	17	32.7

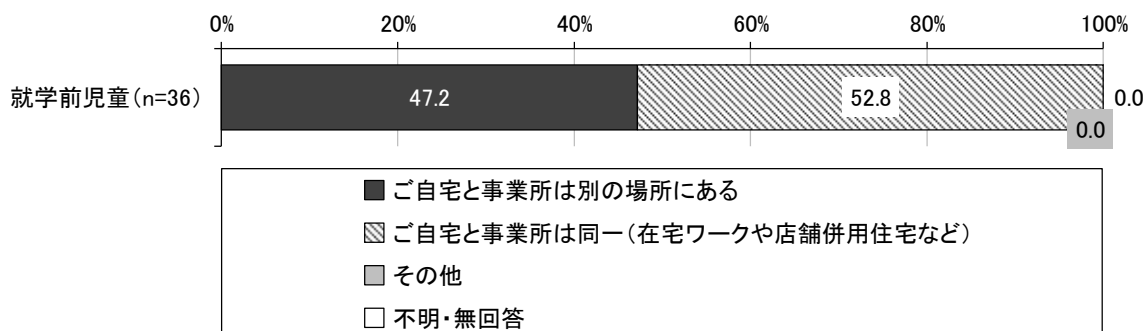
【(保護者が父母でない場合)主にお子さんを見ていらっしゃる方】

	就学前児童 (n=17)	
	件数	%
1時間	0	0.0
2時間	0	0.0
3時間	0	0.0
4時間	0	0.0
5時間	0	0.0
6時間	1	5.9
7時間	0	0.0
8時間	2	11.8
9時間	0	0.0
10時間以上	0	0.0
不明・無回答	14	82.4

Q12で「自営業者（個人事業主または家族従事者）」を選択した方

Q12（3）-1 自営業者（個人事業主または家族従事者）を選択された方にお伺いします。

「ご自宅と事業所は同一（在宅ワークや店舗併用住宅など）」が 52.8%と最も高く、次いで「ご自宅と事業所は別の場所にある」が 47.2%となっています。



Q12（3）-1で「ご自宅と事業所は別の場所にある」を選択した方

Q12（3）-2 ご自宅と事業所は別を選択された方の家を出る時間、帰る時間についてお伺いします。（一定でない場合は、よくある日常的なパターンでお答えください。）

■家を出る時間

【父親】

	就学前児童 (n=12)	
	件数	%
6時以前	0	0.0
6時台	1	8.3
7時台	5	41.7
8時台	2	16.7
9時台	1	8.3
10時以降	0	0.0
不明・無回答	3	25.0

【母親】

	就学前児童 (n=6)	
	件数	%
6時以前	0	0.0
6時台	0	0.0
7時台	0	0.0
8時台	3	50.0
9時台	1	16.7
10時以降	1	16.7
不明・無回答	1	16.7

※【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】：有効回答はありませんでした。

■家に帰る時間

【父親】

	就学前児童 (n=12)	
	件数	%
12時以前	0	0.0
12時台	0	0.0
13時台	0	0.0
14時台	0	0.0
15時台	0	0.0
16時台	0	0.0
17時台	1	8.3
18時台	1	8.3
19時台	1	8.3
20時台	1	8.3
21時以降	3	25.0
不明・無回答	5	41.7

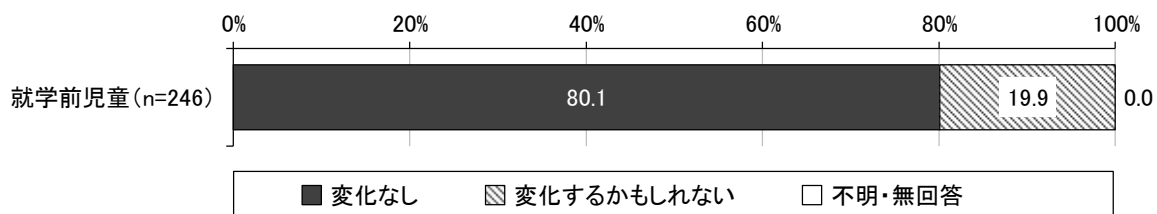
【母親】

	就学前児童 (n=6)	
	件数	%
12時以前	0	0.0
12時台	0	0.0
13時台	0	0.0
14時台	0	0.0
15時台	0	0.0
16時台	2	33.3
17時台	1	16.7
18時台	1	16.7
19時台	0	0.0
20時台	0	0.0
21時以降	0	0.0
不明・無回答	2	33.3

※【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】：有効回答はありませんでした。

Q13 Q12 でお答えいただいた方々の1年先の就労状況についての見通しをお伺いします。

「変化なし」が80.1%、「変化するかもしれない」が19.9%となっています。

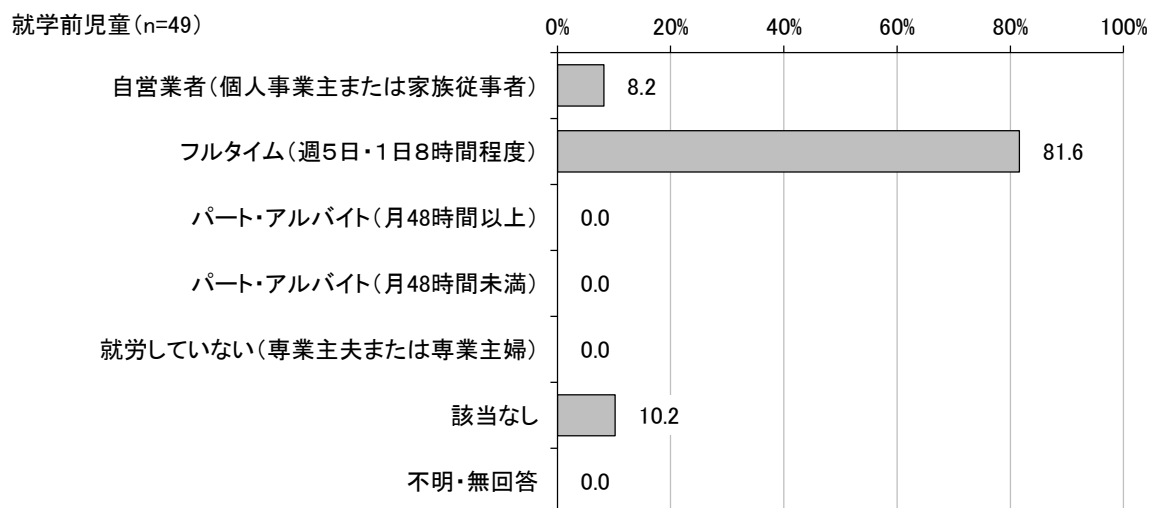


Q13 で「変化するかもしれない」を選択した方

Q13-1 1年後の就労形態（自営業または家族従事者を含む）の予定についてお答えください。

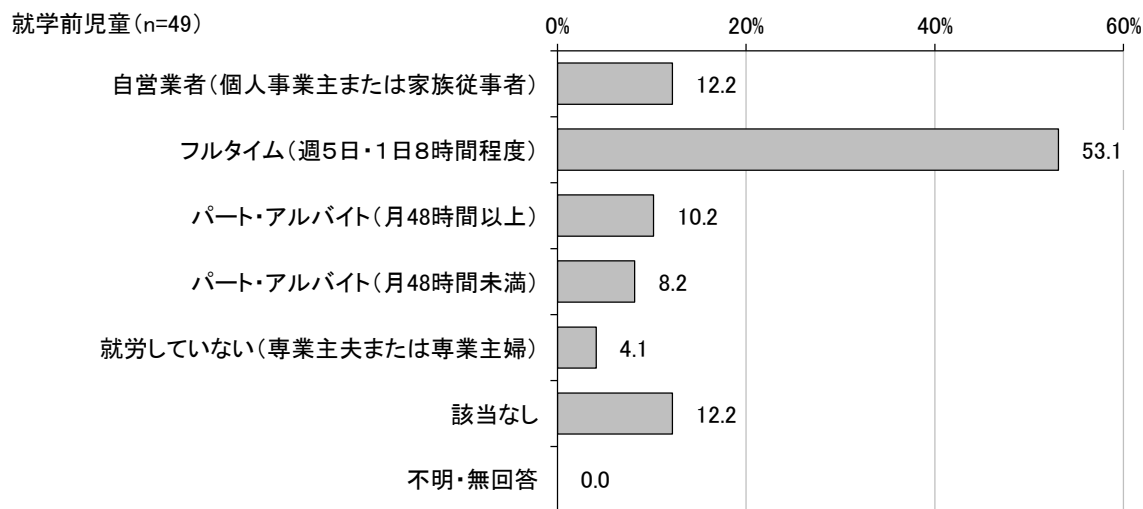
【父親】

「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」が81.6%と最も高く、次いで「該当なし」が10.2%、「自営業者（個人事業主または家族従事者）」が8.2%となっています。



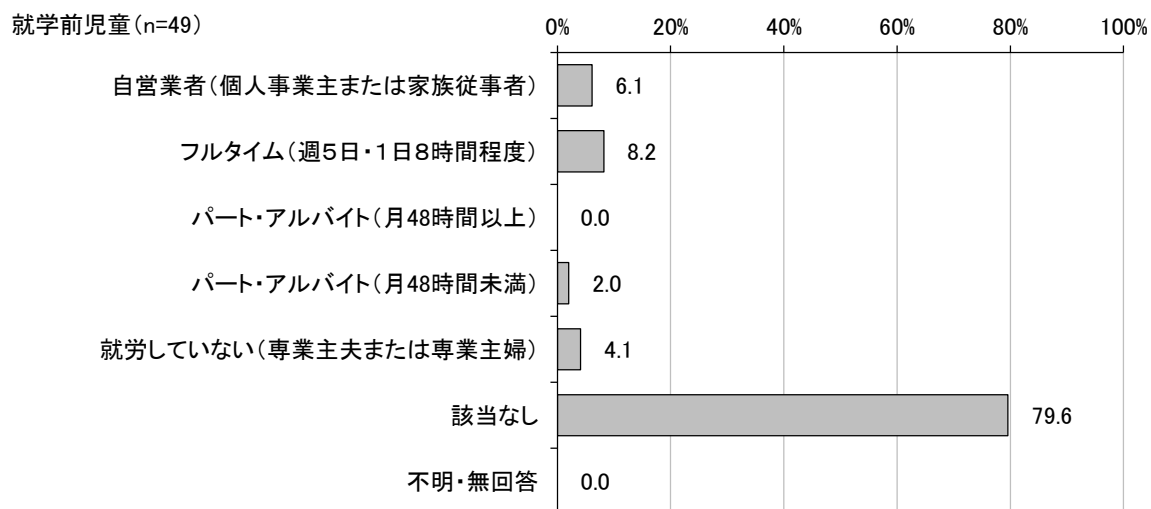
【母親】

「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」が53.1%と最も高く、次いで「自営業者（個人事業主または家族従事者）」「該当なし」が12.2%、「パート・アルバイト（月48時間以上）」が10.2%となっています。



【(保護者が父母でない場合) 主にお子さんを見ていらっしゃる方】

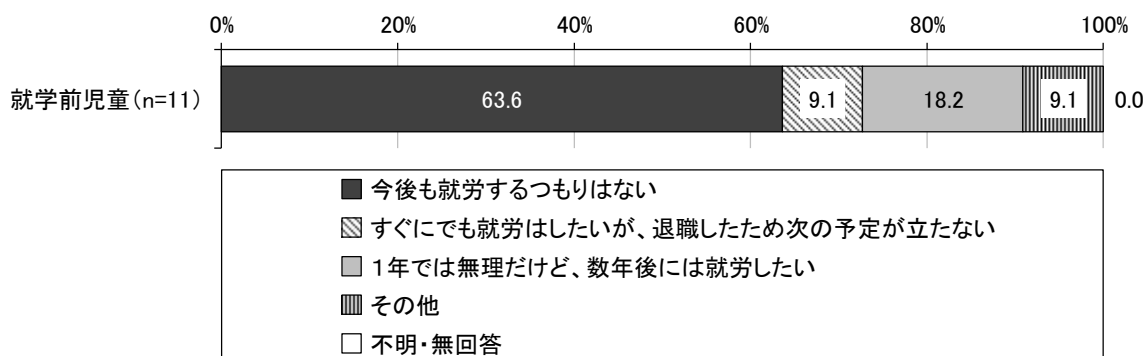
「該当なし」が79.6%と最も高く、次いで「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」が8.2%、「自営業者（個人事業主または家族従事者）」が6.1%となっています。



Q12で「就労していない（専業主夫または専業主婦）」かつQ13で「変化なし」を選択した方

Q14 現在、就労されておらず1年後の就労形態も変化ないと答えられた方についてお伺いします。
今後の就労に向けた予定をお聞かせください。

「今後も就労するつもりはない」が63.6%と最も高く、次いで「1年では無理だけど、数年後には就労したい」が18.2%、「すぐにでも就労はしたいが、退職したため次の予定が立たない」「その他」が9.1%となっています。



Q14で「1年では無理だけど、数年後には就労したい」を選択した方

Q14-1 何年後に就労されたい、もしくはされる予定かお伺いします。

「2年後」「4年後」が50.0%（1件）となっています。

	就学前児童 (n=2)	
	件数	%
1年後	0	0.0
2年後	1	50.0
3年後	0	0.0
4年後	1	50.0
5年後	0	0.0
6年後以降	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

Q14で「1年では無理だけど、数年後には就労したい」を選択した方

Q14-2 また、その理由についてお答えください。

回答内容
下の子が小学2年生になるタイミングで就労したい。
真ん中の子が小学校に入学して、慣れてくってから

Q14で「すぐにでも就労はしたいが、退職したため次の予定が立たない」「1年では無理だけど、数年後には就労したい」を選択した方

Q14-3 就労先として希望する形態についてお答えください。

「パート・アルバイト（月48時間未満）」が66.7%（2件）と最も高く、次いで「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」が33.3%（1件）となっています。

	就学前児童 (n=3)	
	件数	%
自営業者(個人事業主または家族従事者)	0	0.0
フルタイム(週5日・1日8時間程度)	1	33.3
パート・アルバイト(月48時間以上)	0	0.0
パート・アルバイト(月48時間未満)	2	66.7
不明・無回答	0	0.0

Q13-1で「パート・アルバイト（月48時間以上）」、「パート・アルバイト（月48時間未満）」を選択した方

Q15 パート・アルバイトを選択された場合の週あたり「就労日数」と日あたり平均「就労時間」についての見通しをお答えください。

■週あたり「勤務日数」

【母親】

	就学前児童 (n=9)	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	2	22.2
4日	2	22.2
5日	2	22.2
6日	0	0.0
7日	0	0.0
不明・無回答	3	33.3

■日あたり平均「就労時間」

【母親】

	就学前児童 (n=9)	
	件数	%
1時間	0	0.0
2時間	0	0.0
3時間	0	0.0
4時間	0	0.0
5時間	1	11.1
6時間	3	33.3
7時間	1	11.1
8時間	0	0.0
9時間	0	0.0
10時間以上	0	0.0
不明・無回答	4	44.4

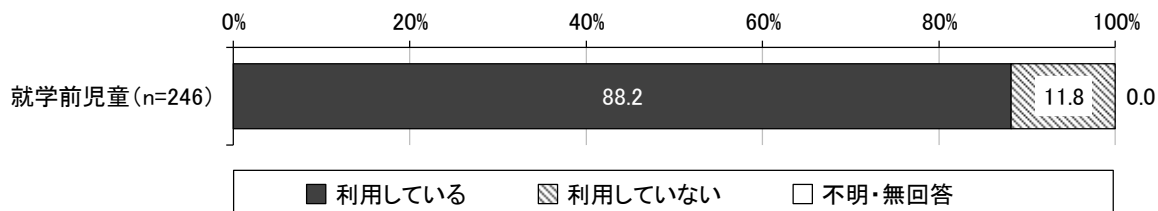
※【父親】:回答はありませんでした。

【(保護者が父母でない場合)主にお子さんを見ていらっしゃる方】:有効回答はありませんでした。

4 平日の定期的な教育・保育施設の利用状況について

Q16 お子さんは現在、教育・保育施設の「定期的な」利用をしていますか。

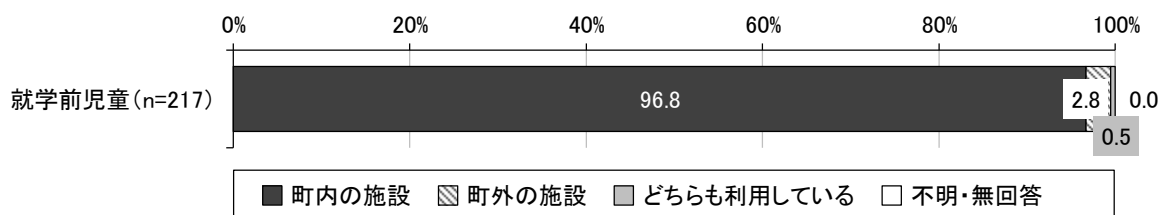
「利用している」が 88.2%、「利用していない」が 11.8%となっています。



Q16で「利用している」を選択した方

Q16-1 利用している教育・保育施設について町内の施設かどうかお伺いします。

「町内の施設」が 96.8%と最も高く、次いで「町外の施設」が 2.8%、「どちらも利用している」が 0.5%となっています。

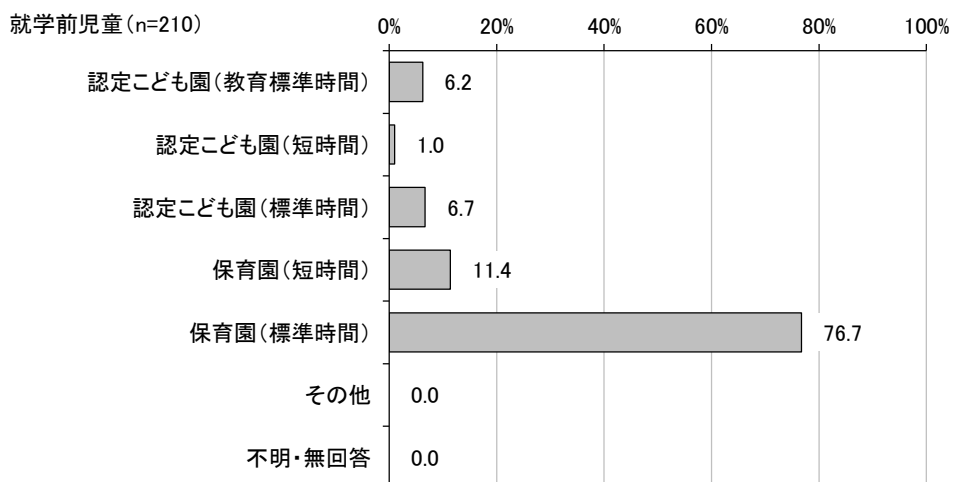


Q16-1で「町内の施設」を選択した方

Q16-2 利用している教育・保育施設を以下からすべて選択してください。

(あてはまるものをすべて選択)

「保育園 (標準時間)」が 76.7%と最も高く、次いで「保育園 (短時間)」が 11.4%、「認定こども園 (標準時間)」が 6.7%となっています。



Q16-1で「町外の施設」「どちらも利用している」を選択した方

Q16-3 利用している教育・保育施設を以下からすべて選択してください。

(あてはまるものをすべて選択)

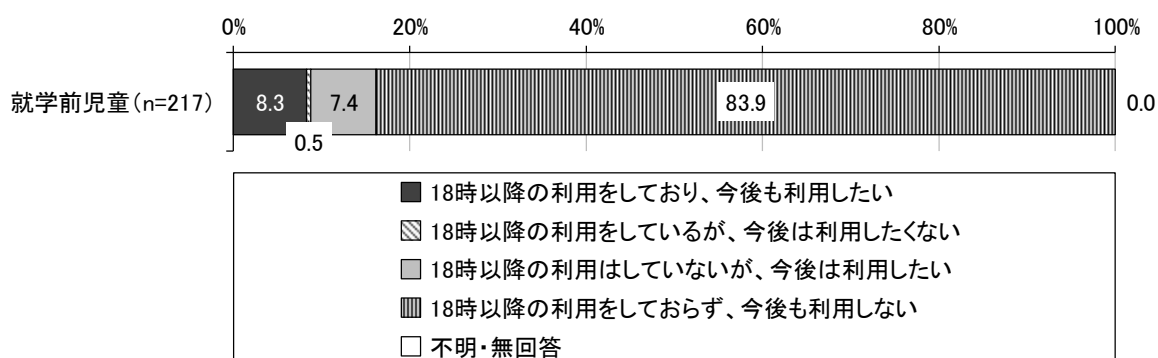
「認定こども園（標準時間）」が71.4%（5件）と最も高く、次いで「認定こども園（教育標準時間）」が28.6%（2件）、「認定こども園（短時間）」「保育園（標準時間）」が14.3%（1件）となっています。

	就学前児童 (n=7)	
	件数	%
幼稚園	0	0.0
認定こども園(教育標準時間)	2	28.6
認定こども園(短時間)	1	14.3
認定こども園(標準時間)	5	71.4
保育園(短時間)	0	0.0
保育園(標準時間)	1	14.3
小規模保育施設	0	0.0
家庭的保育	0	0.0
事業所内保育施設	0	0.0
居宅訪問型保育	0	0.0
企業主導型保育施設	0	0.0
その他の認可外保育施設	0	0.0
その他	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

Q16で「利用している」を選択した方

Q17 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、18時以降の預かり保育を利用していますか。または今後利用を希望しますか。

「18時以降の利用をしておらず、今後も利用しない」が83.9%と最も高く、次いで「18時以降の利用をしており、今後も利用したい」が8.3%、「18時以降の利用はしていないが、今後は利用したい」が7.4%となっています。



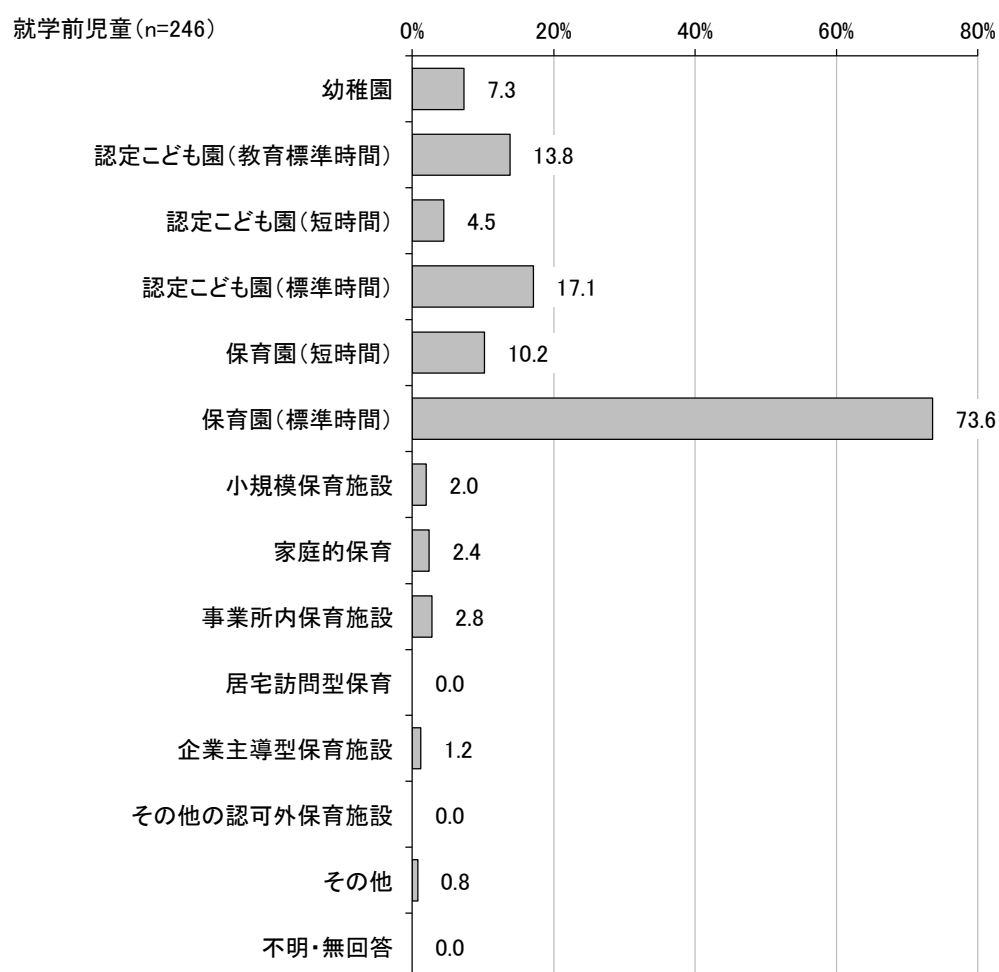
Q17で「18時以降の利用をしており、今後も利用したい」「18時以降の利用はしていないが、今後は利用したい」を選択した方

Q17-1 18時以降の利用を希望される場合、何時までの利用を希望されますか。

	就学前児童 (n=34)	
	件数	%
18時30分まで	14	41.2
19時まで	16	47.1
19時30分まで	0	0.0
20時まで	0	0.0
20時30分まで	0	0.0
21時以降	1	2.9
不明・無回答	3	8.8

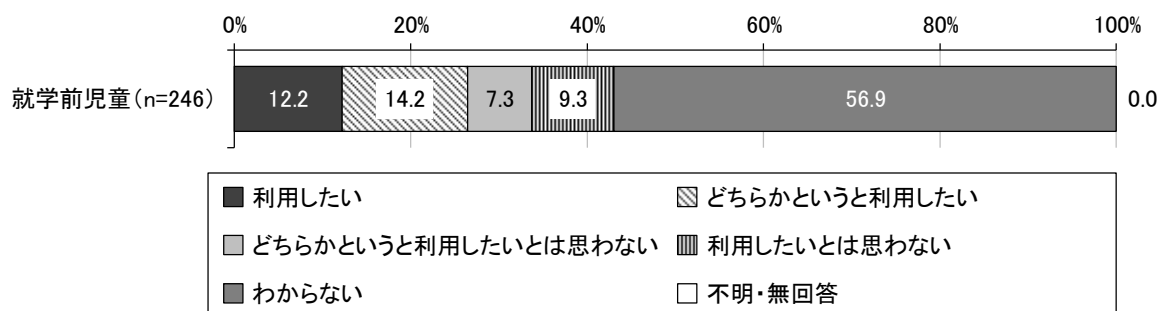
Q18 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育施設として定期的に利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものをすべて選択）

「保育園（標準時間）」が73.6%と最も高く、次いで「認定こども園（標準時間）」が17.1%、「認定こども園（教育標準時間）」が13.8%となっています。



Q19 「こども誰でも通園制度」を利用したいと思いますか。

「わからない」が56.9%と最も高く、次いで「どちらかという利用したい」が14.2%、「利用したい」が12.2%となっています。

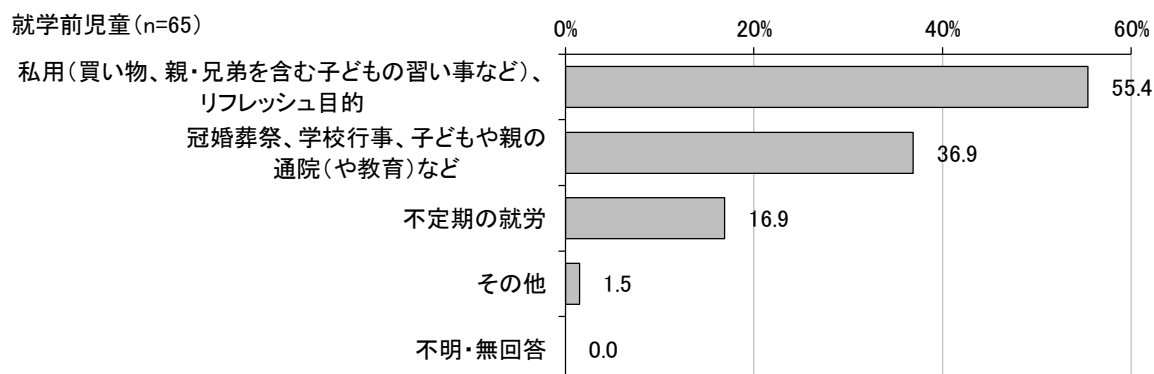


Q19で「利用したい」「どちらかという利用したい」を選択した方

Q19-1 どのような時の利用を考えていますか。

■利用目的（あてはまるものをすべて選択）

「私用（買い物、親・兄弟を含む子どもの習い事など）、リフレッシュ目的」が55.4%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院（や教育）など」が36.9%、「不定期の就労」が16.9%となっています。



■利用頻度

(年間の合計)

	就学前児童 (n=65)	
	件数	%
1日	3	4.6
2日	3	4.6
3日	6	9.2
4日	1	1.5
5日	10	15.4
6日	2	3.1
7日	4	6.2
8日	1	1.5
9日	0	0.0
10日以上	35	53.8
不明・無回答	0	0.0

(目的別)

私用(買い物、親・兄弟を含む子どもの習い事など)、リフレッシュ目的

	就学前児童 (n=36)	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	2	5.6
3日	6	16.7
4日	1	2.8
5日	7	19.4
6日	1	2.8
7日	2	5.6
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	17	47.2
不明・無回答	0	0.0

冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院(や教育)など

	就学前児童 (n=24)	
	件数	%
1日	3	12.5
2日	1	4.2
3日	1	4.2
4日	0	0.0
5日	5	20.8
6日	1	4.2
7日	2	8.3
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	11	45.8
不明・無回答	0	0.0

不定期の就労

	就学前児童 (n=11)	
	件数	%
1日	1	9.1
2日	0	0.0
3日	2	18.2
4日	1	9.1
5日	0	0.0
6日	1	9.1
7日	0	0.0
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	6	54.5
不明・無回答	0	0.0

その他

	就学前児童 (n=1)	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	0	0.0
4日	0	0.0
5日	0	0.0
6日	0	0.0
7日	0	0.0
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	1	100.0
不明・無回答	0	0.0

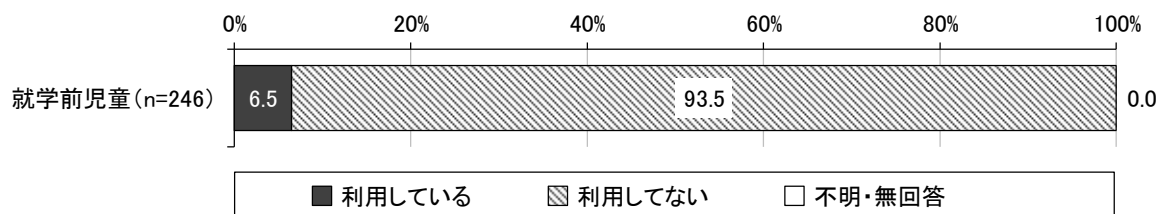
Q19-2 選択肢以外で想定されるケースについて具体的にお答えください。

回答はありませんでした。

5 地域の子育て支援拠点事業の利用状況について

Q20 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。

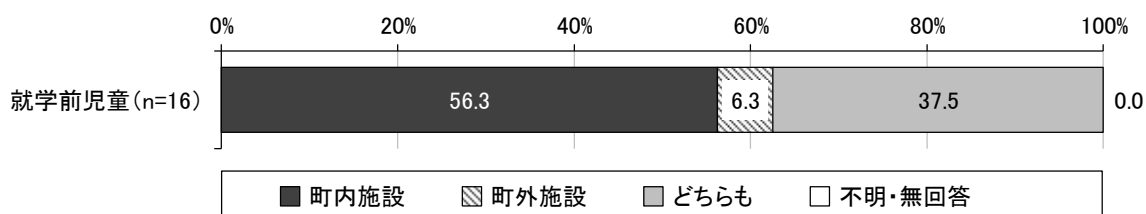
「利用している」が6.5%、「利用していない」が93.5%となっています。



Q20 で「利用している」を選択した方

Q20-1 事業の利用は町内施設ですか。

「町内施設」が56.3%と最も高く、次いで「どちらも」が37.5%、「町外施設」が6.3%となっています。



Q20 で「利用している」を選択した方

Q20-2 町外で利用されている施設の名称をご記入ください。

回答内容
いくたま
いくたまの杜、田鶴浜支援センター
いくたまの杜
サンライフ
あおば保育園
あいあい、いくたま、本宮、小丸山
あいあい

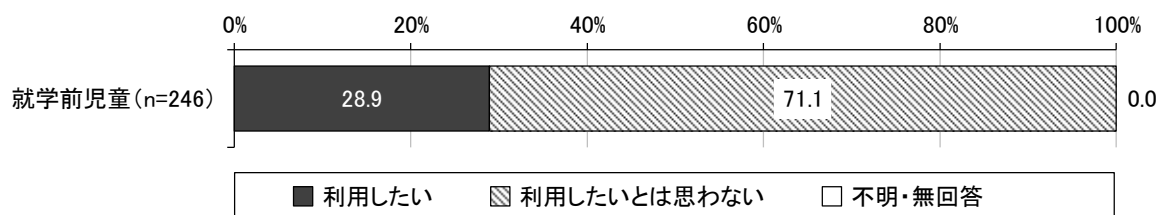
Q20 で「利用している」を選択した方

Q20-3 1ヶ月あたりの利用頻度についてお答えください。

	就学前児童 (n=16)	
	件数	%
1回	4	25.0
2回	5	31.3
3回	1	6.3
4回	2	12.5
5回	2	12.5
6回	0	0.0
7回	0	0.0
8回	0	0.0
9回	0	0.0
10回以上	2	12.5
不明・無回答	0	0.0

Q21 今後の利用についてお答えください。

「利用したい」が 28.9%、「利用したいとは思わない」が 71.1%となっています。



Q21 で「利用したい」を選択した方

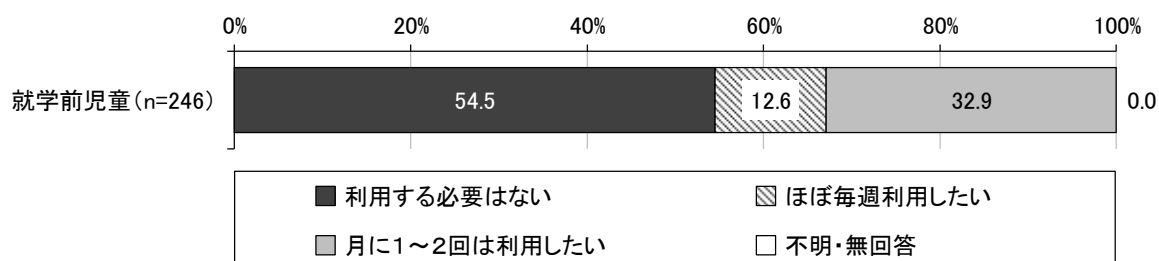
Q21-1 利用をしたい(すでに利用されている方については増やしたい)日数について、ご希望があれば日数でお答えください。(1か月あたりの)

	就学前児童 (n=71)	
	件数	%
1日	17	23.9
2日	7	9.9
3日	4	5.6
4日	9	12.7
5日	4	5.6
6日	0	0.0
7日	1	1.4
8日	3	4.2
9日	0	0.0
10日以上	7	9.9
不明・無回答	19	26.8

6 休日の「定期的な」教育・保育施設の利用希望について

Q22 お子さんについて、土曜日に、教育・保育施設の「定期的な」利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

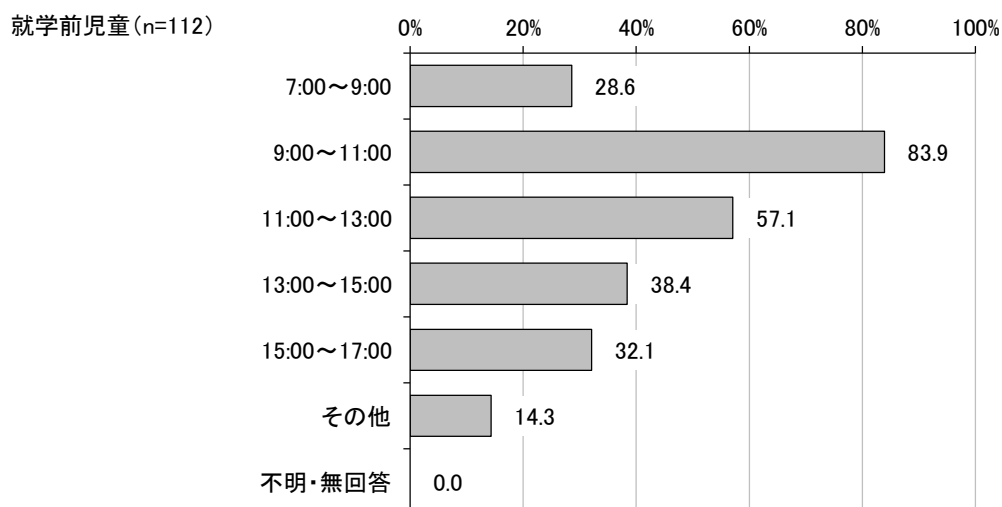
「利用する必要はない」が54.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が32.9%、「ほぼ毎週利用したい」が12.6%となっています。



Q22で「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選択した方

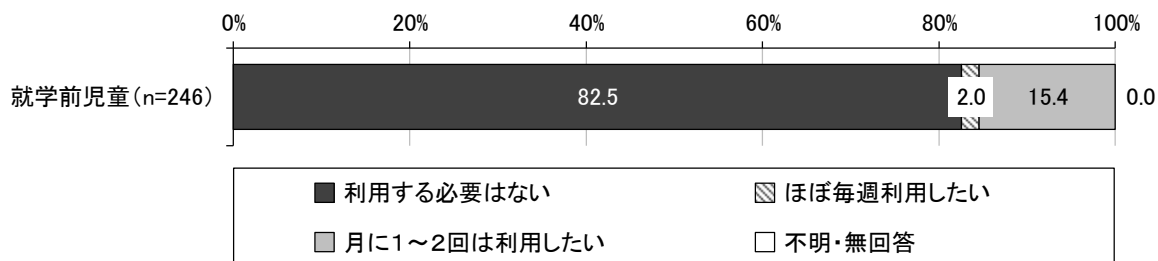
Q22-1 利用したい時間帯をお答えください。

「9:00～11:00」が83.9%と最も高く、次いで「11:00～13:00」が57.1%、「13:00～15:00」が38.4%となっています。



Q23 お子さんについて、日曜日・祝日に、教育・保育施設の「定期的な」利用希望はありますか
(一時的な利用は除きます)。

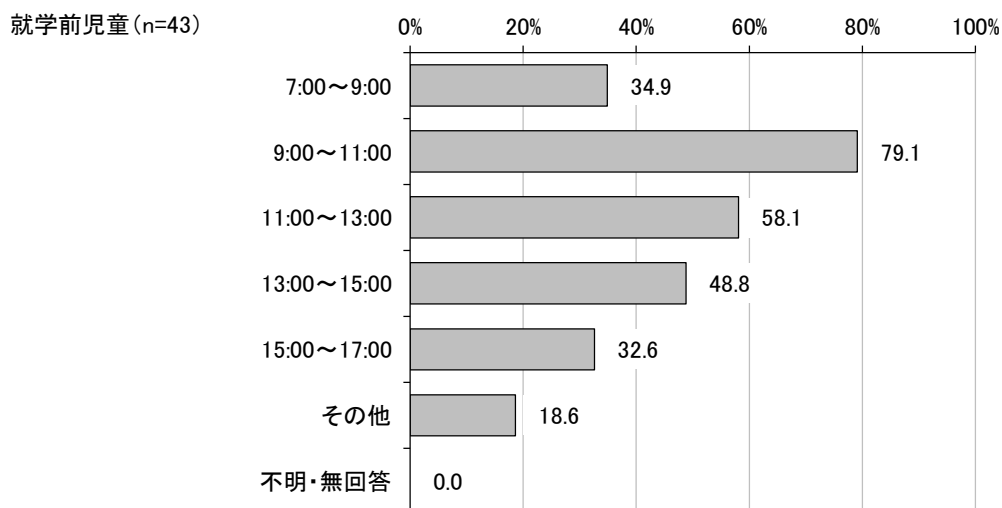
「利用する必要はない」が82.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が15.4%、「ほぼ毎週利用したい」が2.0%となっています。



Q23 で「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選択した方

Q23-1 利用したい時間帯をお答えください。

「9:00～11:00」が79.1%と最も高く、次いで「11:00～13:00」が58.1%、「13:00～15:00」が48.8%となっています。

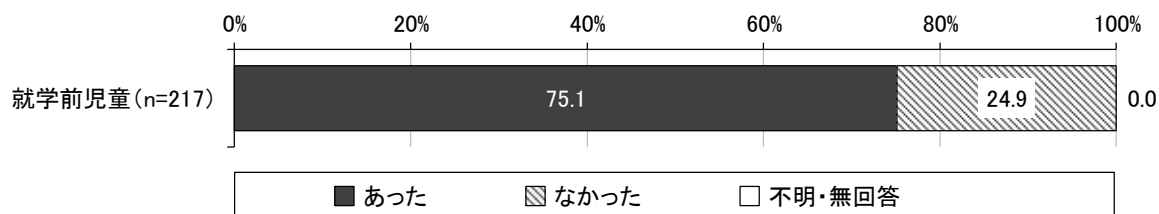


7 お子さんの病気の際の対応について

Q16で「利用している」を選択した方

Q24 この1年間に、お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育施設の通常の利用ができなかったことはありますか。

「あった」が75.1%、「なかった」が24.9%となっています。

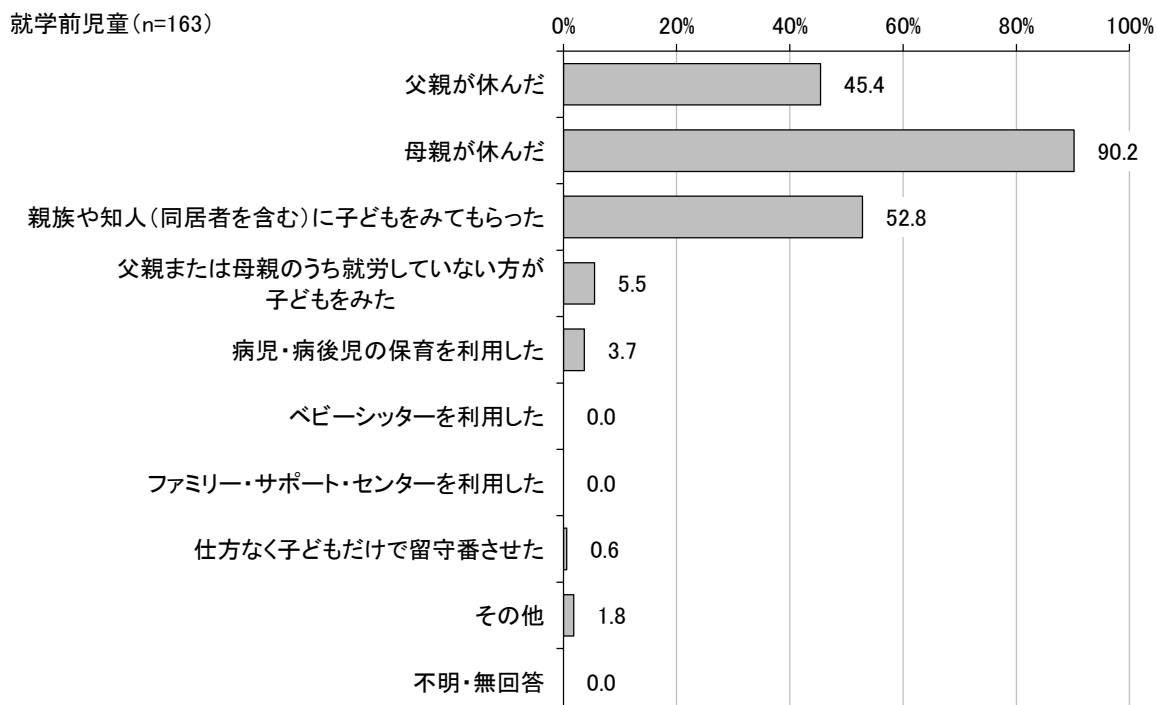


Q24で「あった」を選択した方

Q24-1 利用できなかった時、どのように対応されたかについてお伺いします。

(あてはまるものをすべて選択)

「母親が休んだ」が90.2%と最も高く、次いで「親族や知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」が52.8%、「父親が休んだ」が45.4%となっています。



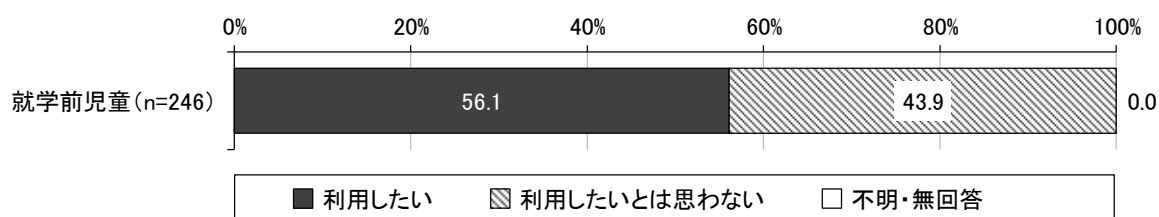
Q24で「あった」を選択した方

Q24-2 利用できずにやむなく対応した年間日数をお答えください。

	就学前児童 (n=163)	
	件数	%
1日	1	0.6
2日	7	4.3
3日	9	5.5
4日	4	2.5
5日	24	14.7
6日	4	2.5
7日	9	5.5
8日	2	1.2
9日	0	0.0
10日以上	100	61.3
不明・無回答	3	1.8

Q25 お子さんが病気やけがの際、病気やけがのお子さんを預かり、保育してくれる「病児・病後児のための保育施設」を利用したいと思いますか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

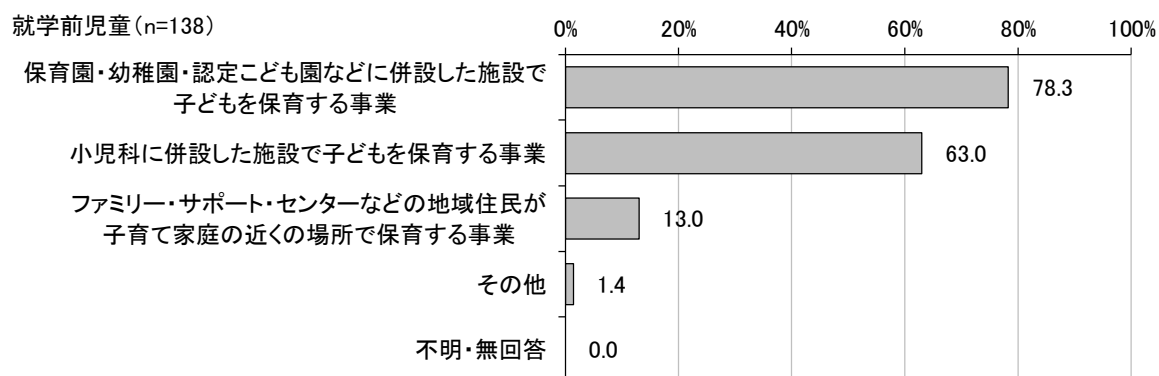
「利用したい」が 56.1%、「利用したいとは思わない」が 43.9%となっています。



Q25で「利用したい」を選択した方

Q25-1 利用できると仮定した場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまるものをすべて選択)

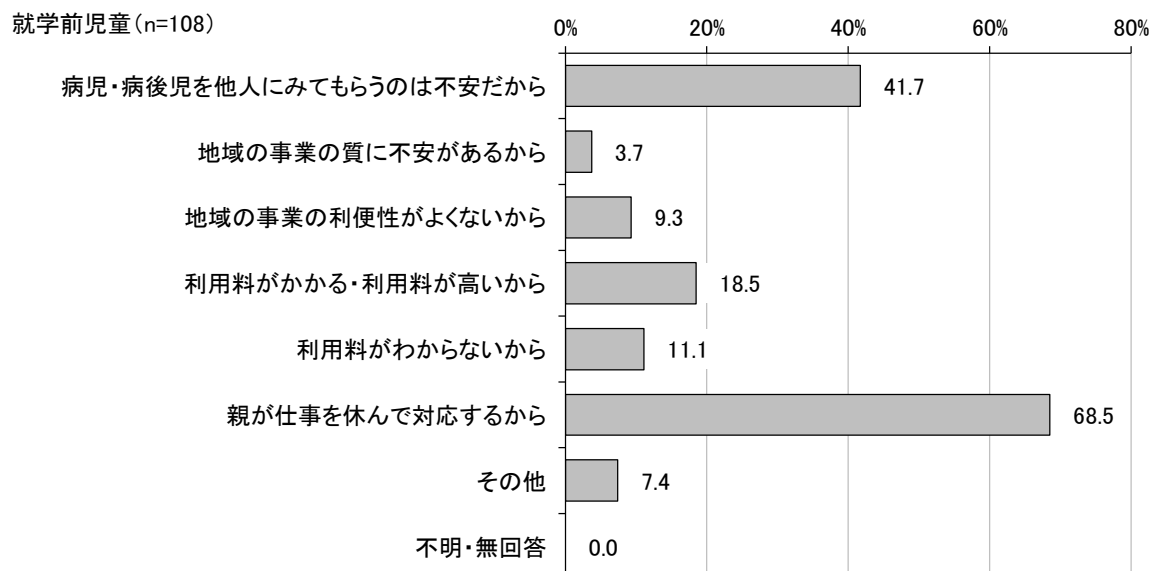
「保育園・幼稚園・認定こども園などに併設した施設で子どもを保育する事業」が78.3%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が63.0%、「ファミリー・サポート・センターなどの地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業」が13.0%となっています。



Q25で「利用したいとは思わない」を選択した方

Q25-2 利用したいと思わない理由をお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

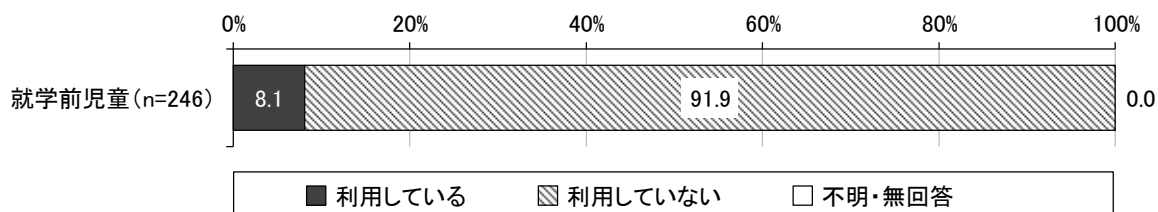
「親が仕事を休んで対応するから」が68.5%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから」が41.7%、「利用料がかかる・利用料が高いから」が18.5%となっています。



8 「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

Q26 保護者の私用や通院、不定期の就労などの目的で、お子さんを一時的に預けるサービスをご利用されたことはありますか。

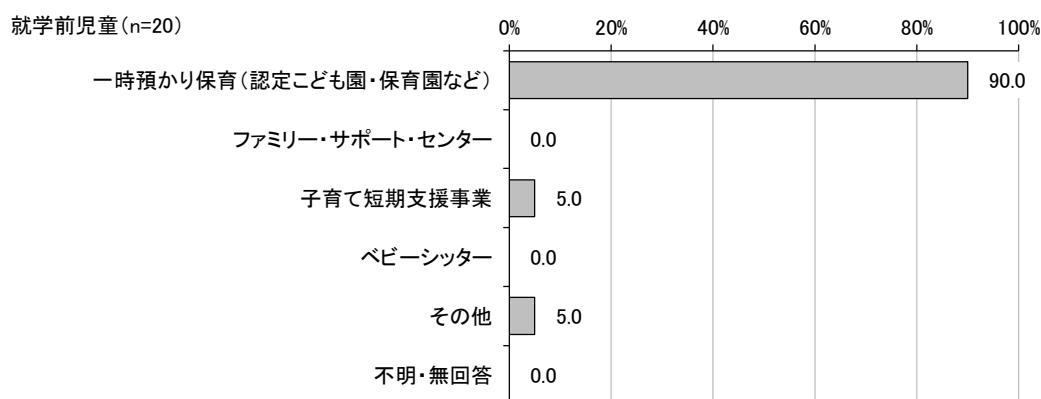
「利用している」が8.1%、「利用していない」が91.9%となっています。



Q26で「利用している」を選択した方

Q26-1 ご利用になっているサービスをお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

「一時預かり保育（認定こども園・保育園など）」が90.0%と最も高く、次いで「子育て短期支援事業」「その他」が5.0%となっています。



Q26で「利用している」を選択した方

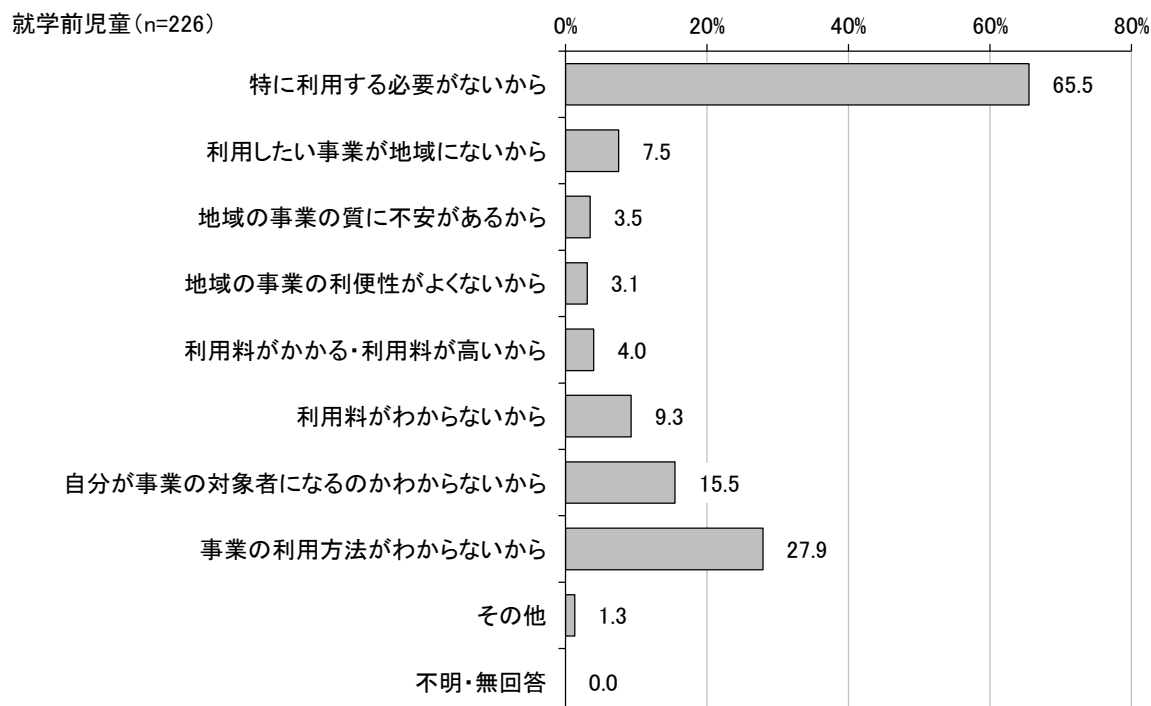
Q26-2 年間の利用日数について、おおよその頻度をお答えください。

	就学前児童 (n=20)	
	件数	%
1日	3	15.0
2日	6	30.0
3日	4	20.0
4日	0	0.0
5日	2	10.0
6日	0	0.0
7日	1	5.0
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	4	20.0
不明・無回答	0	0.0

Q26 で「利用していない」を選択した方

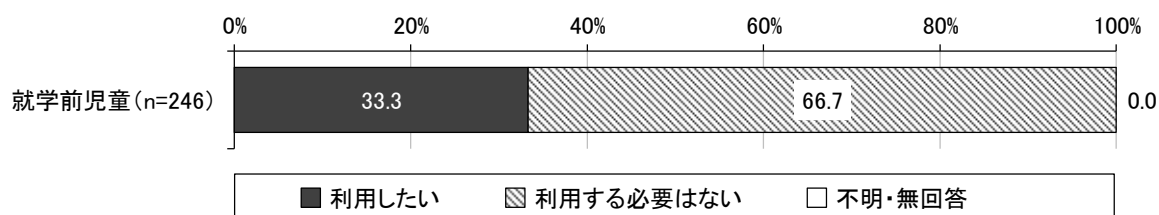
Q26-3 利用されていない理由についてお答えください。（あてはまるものをすべて選択）

「特に利用する必要がないから」が 65.5%と最も高く、次いで「事業の利用方法がわからないから」が 27.9%、「自分が事業の対象者になるのかわからないから」が 15.5%となっています。



Q27 サービスの現在までのご利用経験にかかわらずお答えください。今後、一時預かりなどのサービスを利用したいかどうかについて伺います。

「利用したい」が 33.3%、「利用する必要はない」が 66.7%となっています。

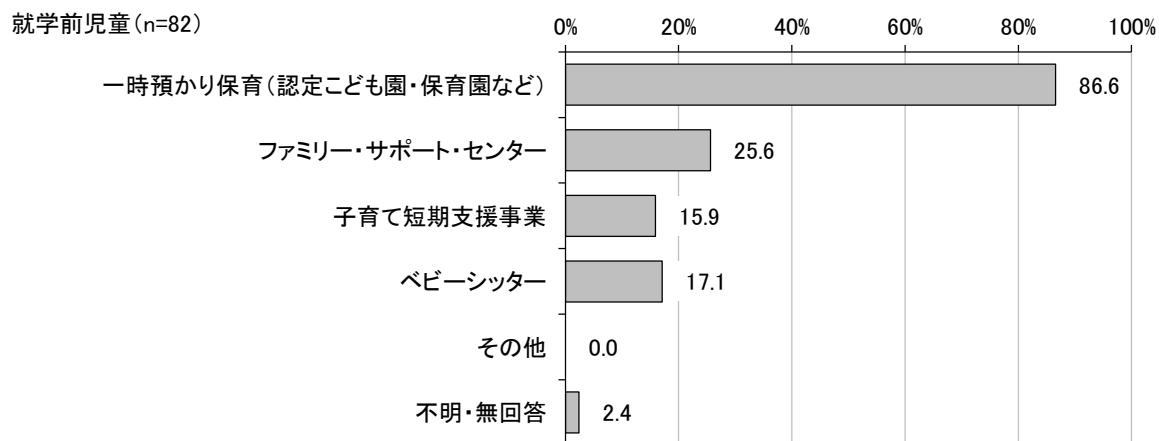


Q27で「利用したい」を選択した方

Q27-1 ご利用になりたいと思っているサービスをお答えください。

(あてはまるものをすべて選択)

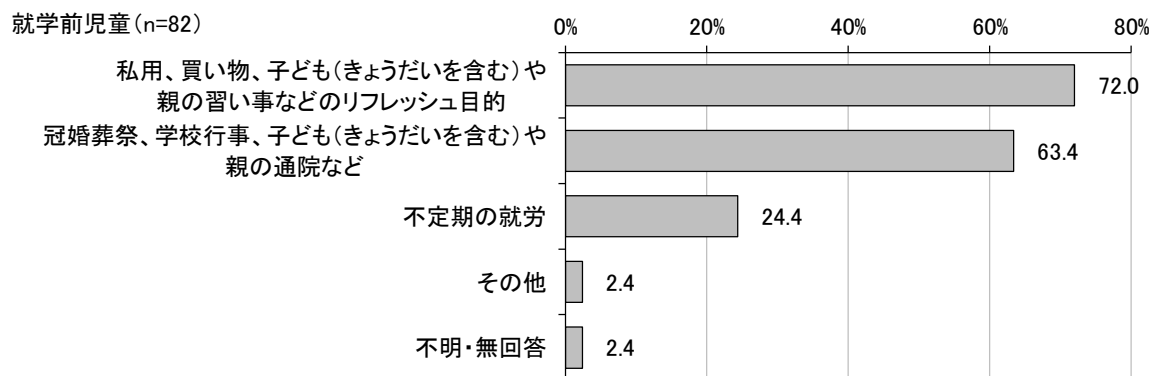
「一時預かり保育（認定こども園・保育園など）」が 86.6%と最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が 25.6%、「ベビーシッター」が 17.1%となっています。



Q27で「利用したい」を選択した方

Q27-2 サービスを利用されようとする理由をお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

「私用、買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事などのリフレッシュ目的」が 72.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院など」が 63.4%、「不特定の就労」が 24.4%となっています。



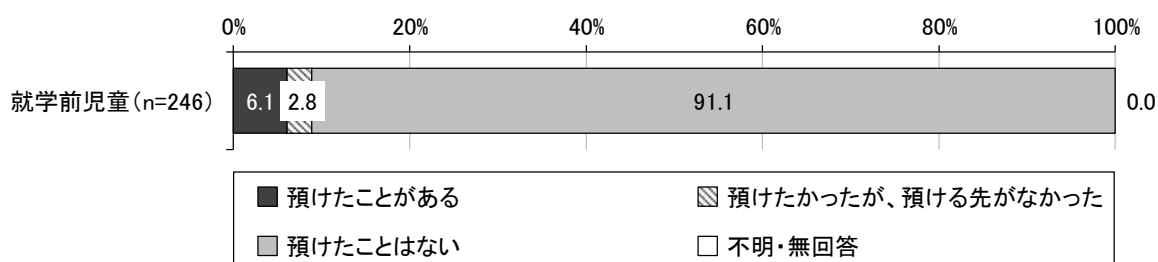
Q27で「利用したい」を選択した方

Q27-3 利用されたい想定日数について、年間で何日程度をご希望されますか。(おおよその頻度を日数でお答えください)

	就学前児童 (n=82)	
	件数	%
1日	1	1.2
2日	5	6.1
3日	8	9.8
4日	0	0.0
5日	23	28.0
6日	0	0.0
7日	3	3.7
8日	1	1.2
9日	0	0.0
10日以上	32	39.0
不明・無回答	9	11.0

Q28 この1年間の間で、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)によって、お子さんを泊りがけで預けられたことはありますか。

「預けたことはない」が91.1%と最も高く、次いで「預けたことがある」が6.1%、「預けたかったが、預ける先がなかった」が2.8%となっています。



Q28で「預けたことがある」を選択した方

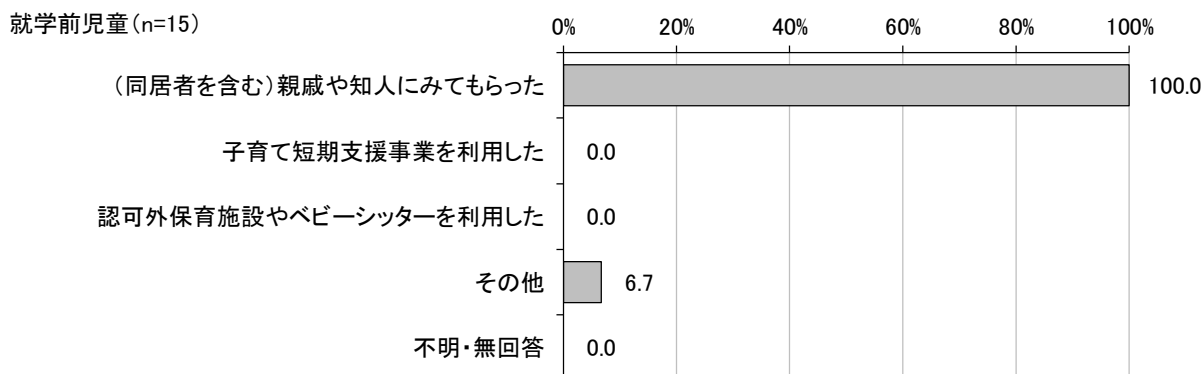
Q28(1)-1 預けられた日数についてお答えください。

	就学前児童 (n=15)	
	件数	%
1日	7	46.7
2日	2	13.3
3日	0	0.0
4日	1	6.7
5日	2	13.3
6日	0	0.0
7日	0	0.0
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	3	20.0
不明・無回答	0	0.0

Q28で「預けたことがある」を選択した方

Q28（１）-2 お預けになった先についてお伺いします。（あてはまるものをすべて選択）

「（同居者を含む）親戚や知人にみてもらった」が100.0%と最も高く、次いで「その他」が6.7%となっています。



Q28で「預けたかったが、預ける先がなかった」を選択した方

Q28（２）-1 預けたかったが、預ける先がなかったとお答えされた方は、どのように対応されましたか。

「子どもも同行させた」が100.0%（7件）となっています。

	就学前児童 (n=7)	
	件数	%
子どもも同行させた	7	100.0
子どもだけで留守番させた	0	0.0
その他	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

Q28で「預けたかったが、預ける先がなかった」を選択した方

Q28（２）-2 お子さんを泊りがけで預けたいとお考えになった際、児童養護施設でのショートステイサービス(短期入所生活援助)など、制度の利用を検討されたかお伺いします。

「知っていれば検討した」が42.9%（3件）と最も高く、次いで「制度自体を知らなかった」「検討の余地はなかった」が28.6%（2件）となっています。

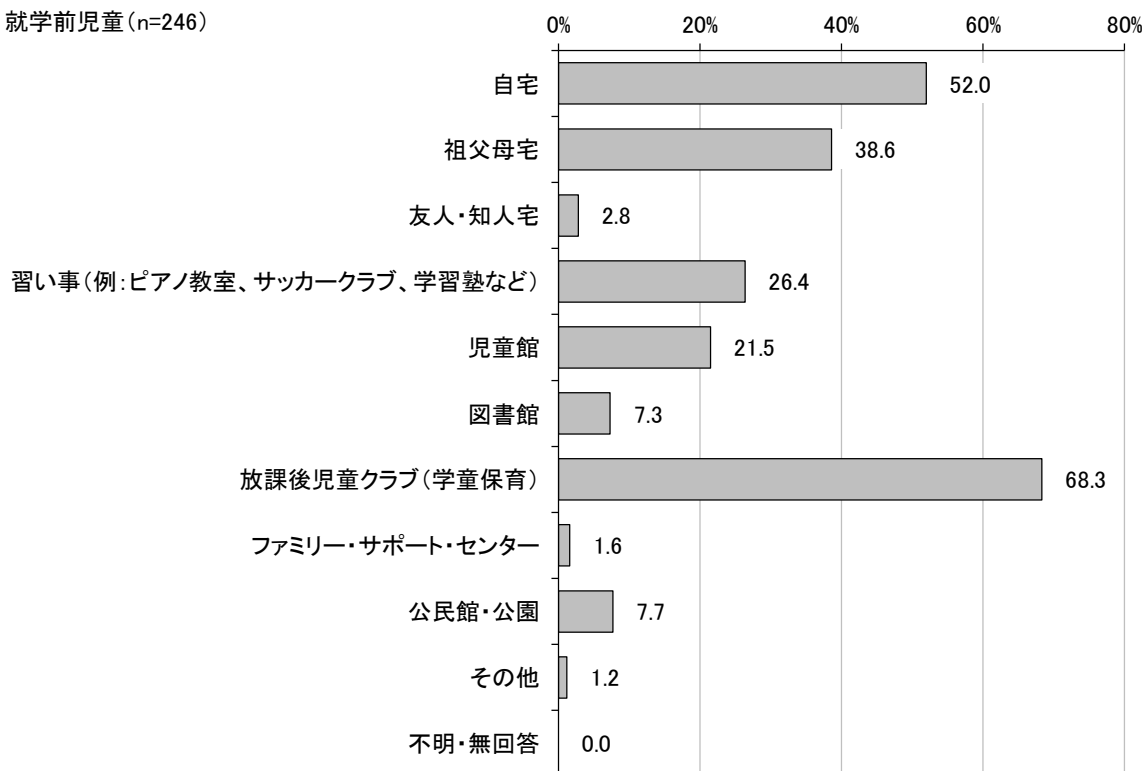
	就学前児童 (n=7)	
	件数	%
制度自体を知らなかった	2	28.6
知っていれば検討した	3	42.9
検討の余地はなかった	2	28.6
不明・無回答	0	0.0

9 小学校就学後の放課後の過ごし方について

Q29（1）低学年（1～3年）の時期、平日の放課後に過ごさせたいとお考えの場所をお選びください。（あてはまるものをすべて選択）

「放課後児童クラブ（学童保育）」が 68.3%と最も高く、次いで「自宅」が 52.0%、「祖父母宅」が 38.6%となっています。

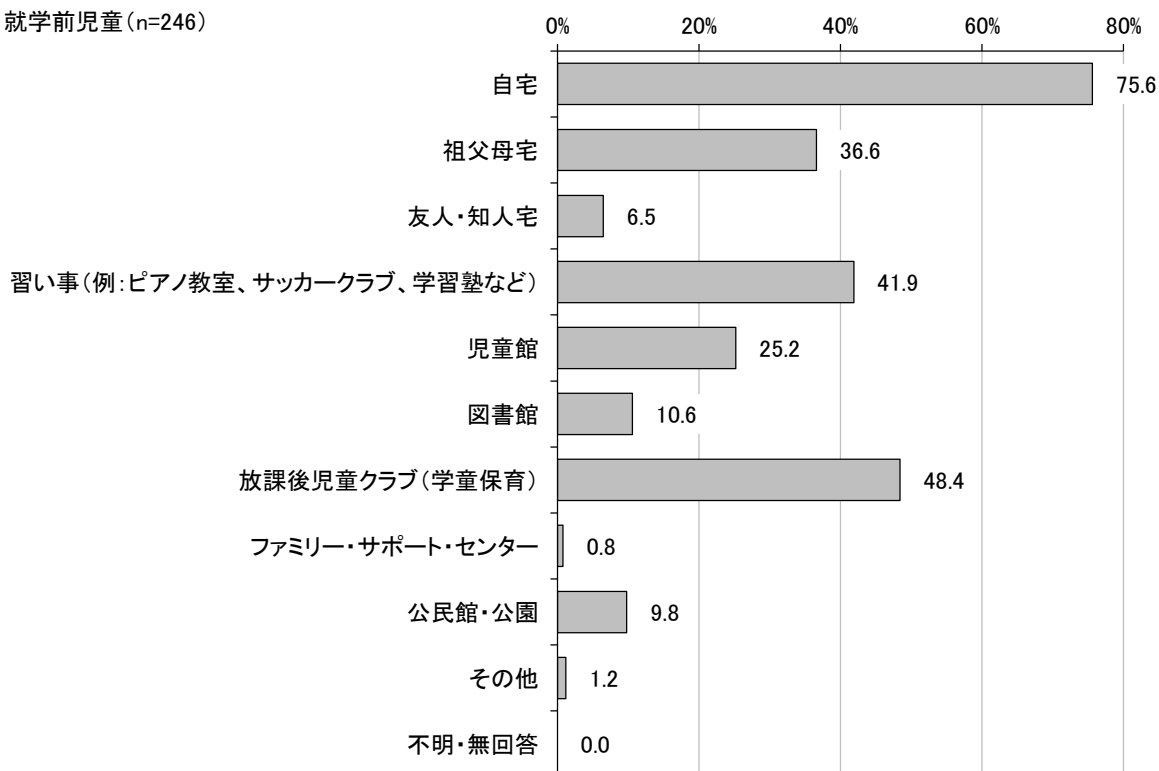
就学前児童（n=246）



Q29（２）続いて、そのお子さんが高学年（４～６年）になった時を想定してお答えください。平日の放課後に過ごさせたいとお考えの場所をお選びください。
（あてはまるものをすべて選択）

「自宅」が75.6%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が48.4%、「習い事（例：ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が41.9%となっています。

就学前児童（n=246）



Q30 １週間のうち何日くらいをそれらの場所で過ごさせたいとお考えですか。

	就学前児童 (n=246)	
	件数	%
1日	1	0.4
2日	15	6.1
3日	26	10.6
4日	7	2.8
5日	165	67.1
6日	0	0.0
7日	0	0.0
不明・無回答	32	13.0

Q29（１）、Q29（２）のいずれか、または両方で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選択した方

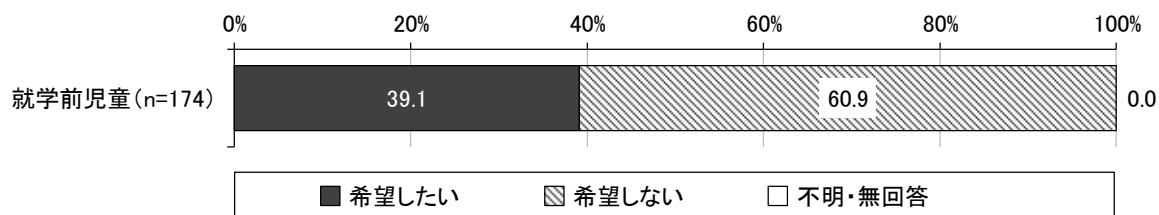
Q31 放課後児童クラブ(学童保育)を選択された方にお伺いします。下校から何時くらいまでを希望されますか。

	就学前児童 (n=174)	
	件数	%
15時以前	1	0.6
15時台	0	0.0
16時台	18	10.3
17時台	59	33.9
18時台	71	40.8
19時台	11	6.3
20時以降	1	0.6
不明・無回答	13	7.5

Q29（１）、Q29（２）のいずれか、または両方で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選択した方

Q32 放課後児童クラブ(学童保育)の休日利用について、ご希望をお伺いします。サービスのご利用には、一定の利用料負担が発生すると仮定してお答えください。

「希望したい」が39.1%、「希望しない」が60.9%となっています。



Q32で「希望したい」を選択した方

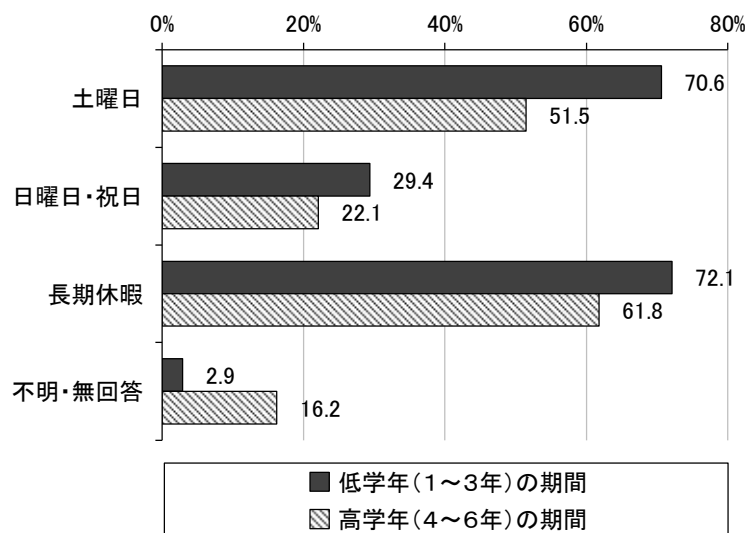
Q32-1 利用を希望する休日について、下記の選択肢からお選びください。

(あてはまるものをすべて選択)

低学年（1～3年）の期間では、「長期休暇」が72.1%と最も高く、次いで「土曜日」が70.6%、「日曜日・祝日」が29.4%となっています。

高学年（4～6年）の期間では、「長期休暇」が61.8%と最も高く、次いで「土曜日」が51.5%、「日曜日・祝日」が22.1%となっています。

就学前児童(n=68)



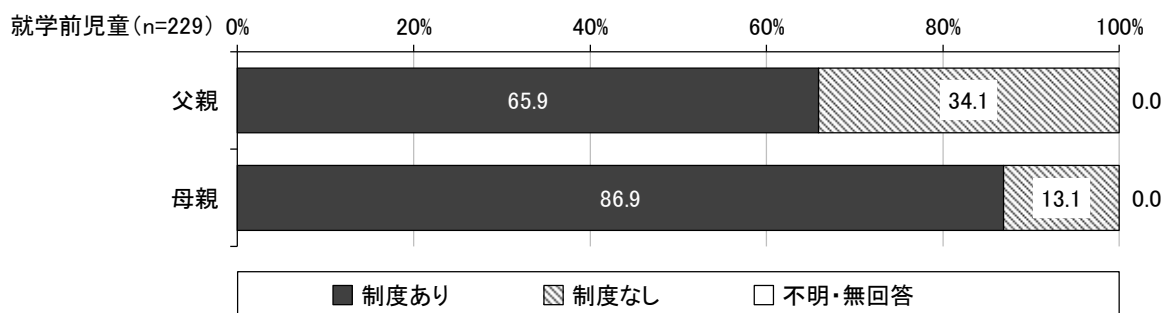
10 育児休業など職場の両立支援制度について

Q 5で「配偶者がいる」を選択した方

Q33 職場の育児休暇制度の取得状況についてお答えください。就労されていない場合は「制度なし」を選択してください。

父親では、「制度あり」が 65.9%、「制度なし」が 34.1%となっています。

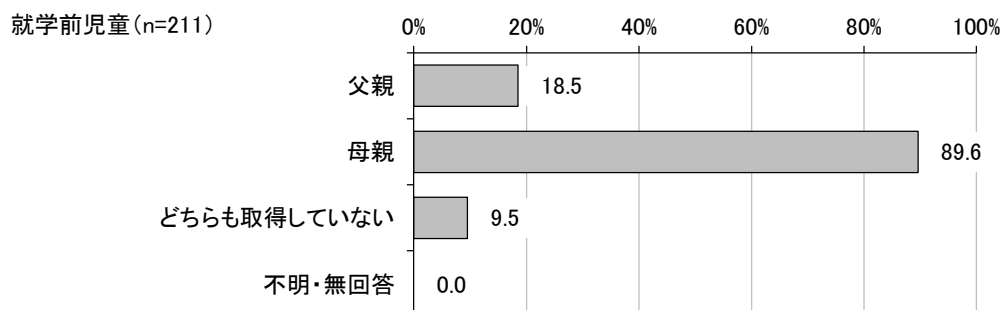
母親では、「制度あり」が 86.9%、「制度なし」が 13.1%となっています。



Q33の父親、母親のいずれか、または両方で「制度あり」を選択した方

Q33-1 育児休暇はどなたが取得されましたか。(あてはまるものをすべて選択)

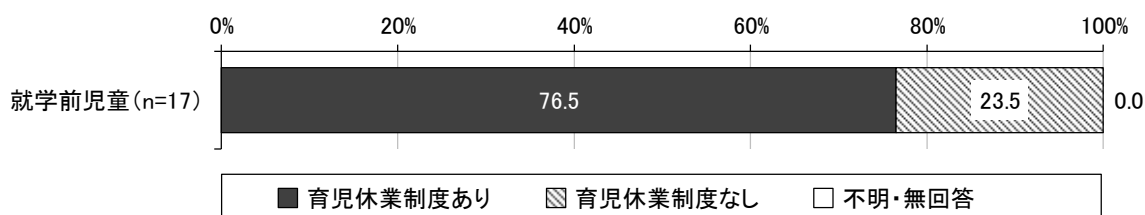
「母親」が 89.6%と最も高く、次いで「父親」が 18.5%、「どちらも取得していない」が 9.5%となっています。



Q 5で「配偶者はいない」を選択した方

Q34 職場の育児休業制度の取得状況についてお答えください。就労されていない場合は「制度なし」を選択してください。

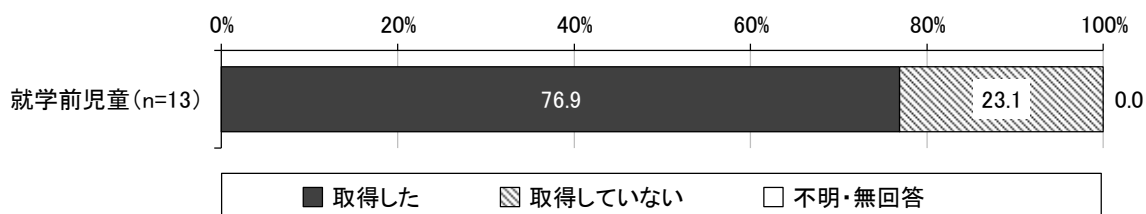
「育児休業制度あり」が 76.5%、「育児休業制度なし」が 23.5%となっています。



Q34で「育児休業制度あり」を選択した方

Q34-1 育児休業制度ありの場合、取得されましたか。

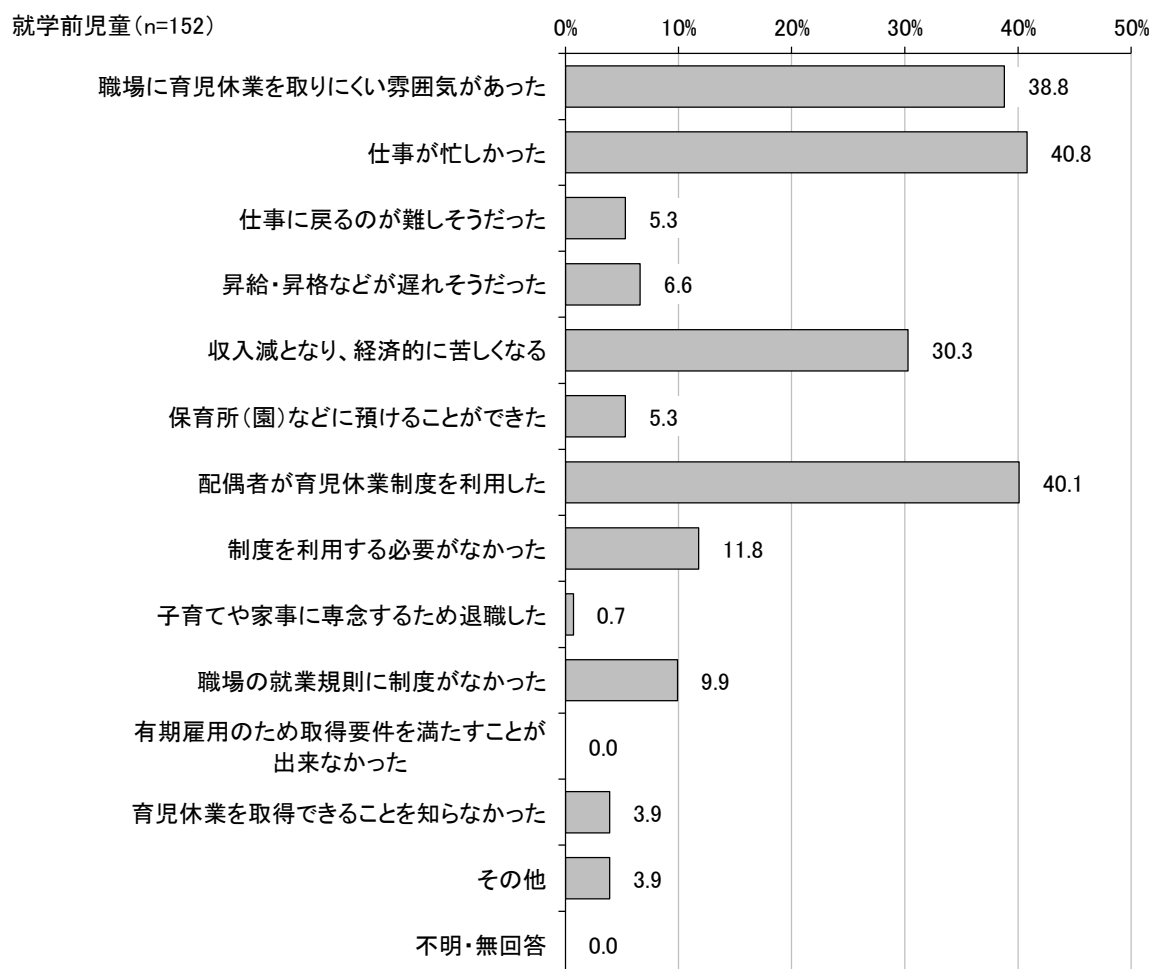
「取得した」が76.9%、「取得していない」が23.1%となっています。



Q33-1で「母親」を選択した方

Q35(1) 父親が取得されていない理由をご回答ください。(あてはまるものをすべて選択)

「仕事が忙しかった」が40.8%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が40.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が38.8%となっています。



Q33-1で「父親」を選択した方

Q35（２）母親が取得されていない理由をご回答ください。（あてはまるものをすべて選択）

「制度を利用する必要がなかった」「子育てや家事に専念するため退職した」「その他」が 50.0%（1 件）となっています。

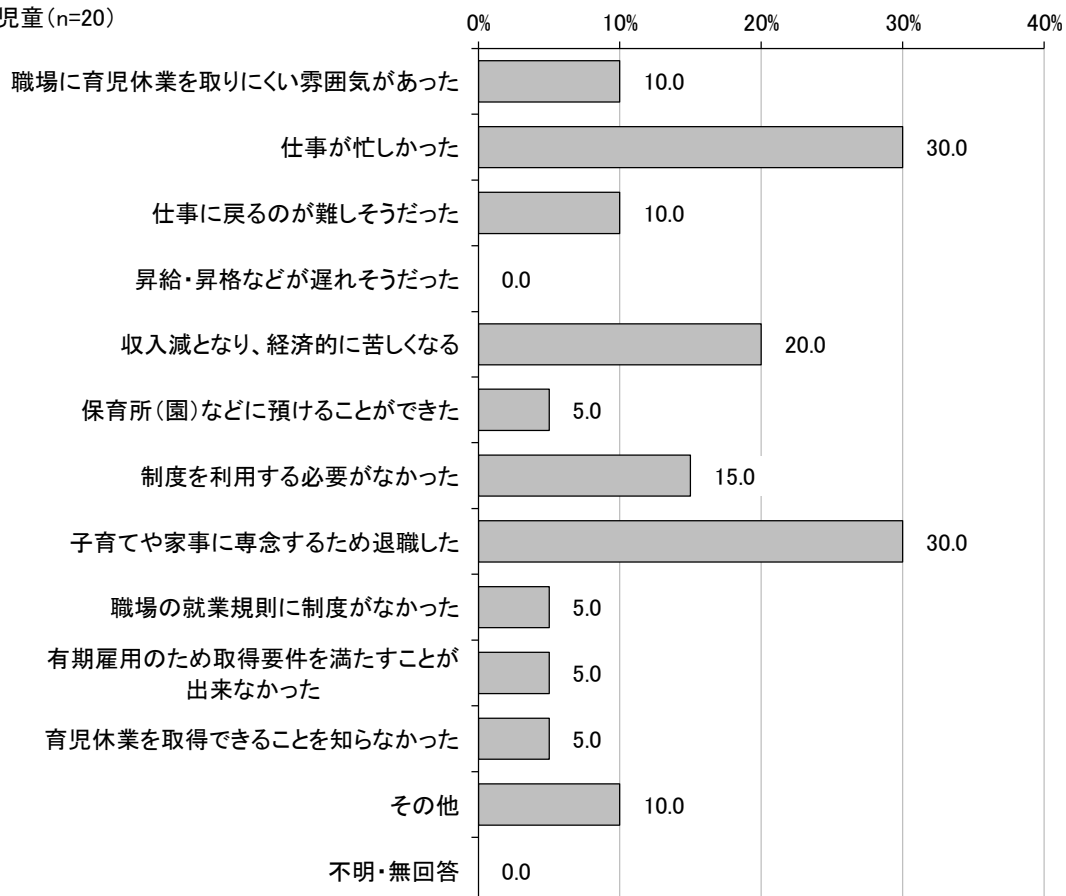
	就学前児童 (n=2)	
	件数	%
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	0	0.0
仕事が忙しかった	0	0.0
（産休後に）仕事に早く復帰したかった	0	0.0
仕事に戻るのが難しそうだった	0	0.0
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0
収入減となり、経済的に苦しくなる	0	0.0
保育所（園）などに預けることができた	0	0.0
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0
制度を利用する必要がなかった	1	50.0
子育てや家事に専念するため退職した	1	50.0
職場の就業規則に制度がなかった	0	0.0
有期雇用のため取得要件を満たすことが出来なかった	0	0.0
育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0
その他	1	50.0
不明・無回答	0	0.0

Q33-1で「どちらも取得していない」を選択した方

Q35（3）どちらも取得されていない理由をご回答ください。（あてはまるものをすべて選択）

「仕事が忙しかった」「子育てや家事に専念するため退職した」が 30.0%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 20.0%、「制度を利用する必要がなかった」が 15.0%となっています。

就学前児童(n=20)



Q34-1で「取得していない」を選択した方

Q36 取得されていない理由をご回答ください。（あてはまるものをすべて選択）

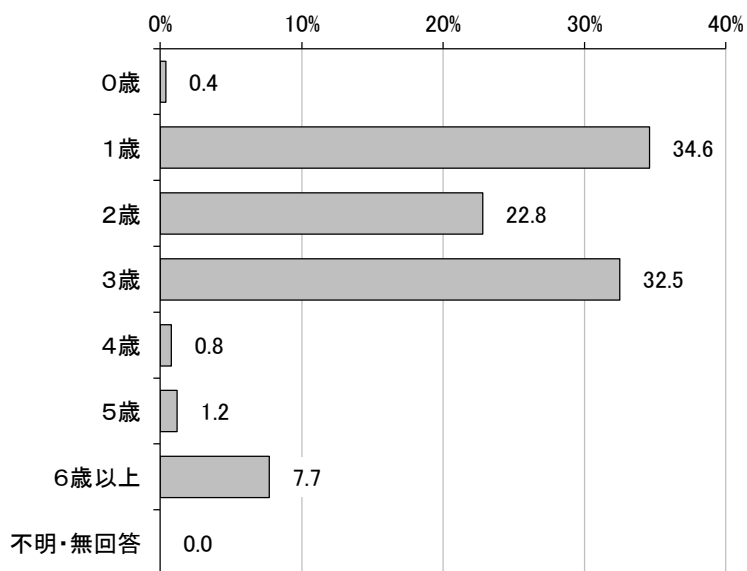
「その他」が 66.7%（2 件）と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 33.3%（1 件）となっています。

	就学前児童 (n=3)	
	件数	%
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	0	0.0
仕事が忙しかった	0	0.0
仕事に戻るのが難しそうだった	0	0.0
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0
収入減となり、経済的に苦しくなる	1	33.3
保育所（園）などに預けることができた	0	0.0
制度を利用する必要がなかった	0	0.0
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0
職場の就業規則に制度がなかった	0	0.0
有期雇用のため取得要件を満たすことが出来なかった	0	0.0
育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0
その他	2	66.7
不明・無回答	0	0.0

Q37 職場に育児休業を取得できる制度があると仮定してお答えください。お子さんが何歳まで休業したらよい子育てができるとお考えですか。

「1 歳」が 34.6%と最も高く、次いで「3 歳」が 32.5%、「2 歳」が 22.8%となっています。

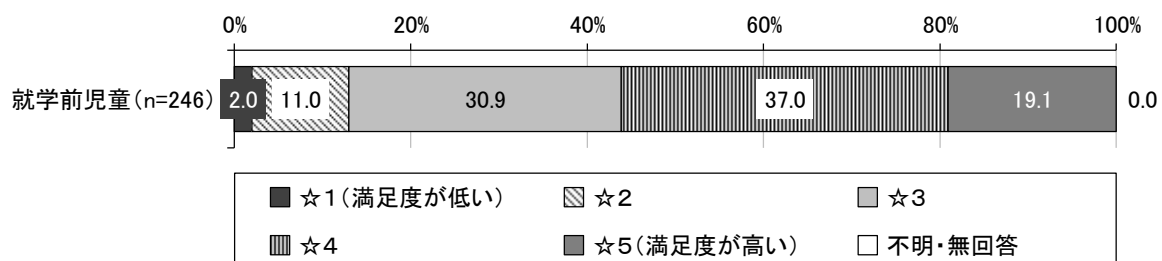
就学前児童 (n=246)



II 子育ての観点からみた中能登町について

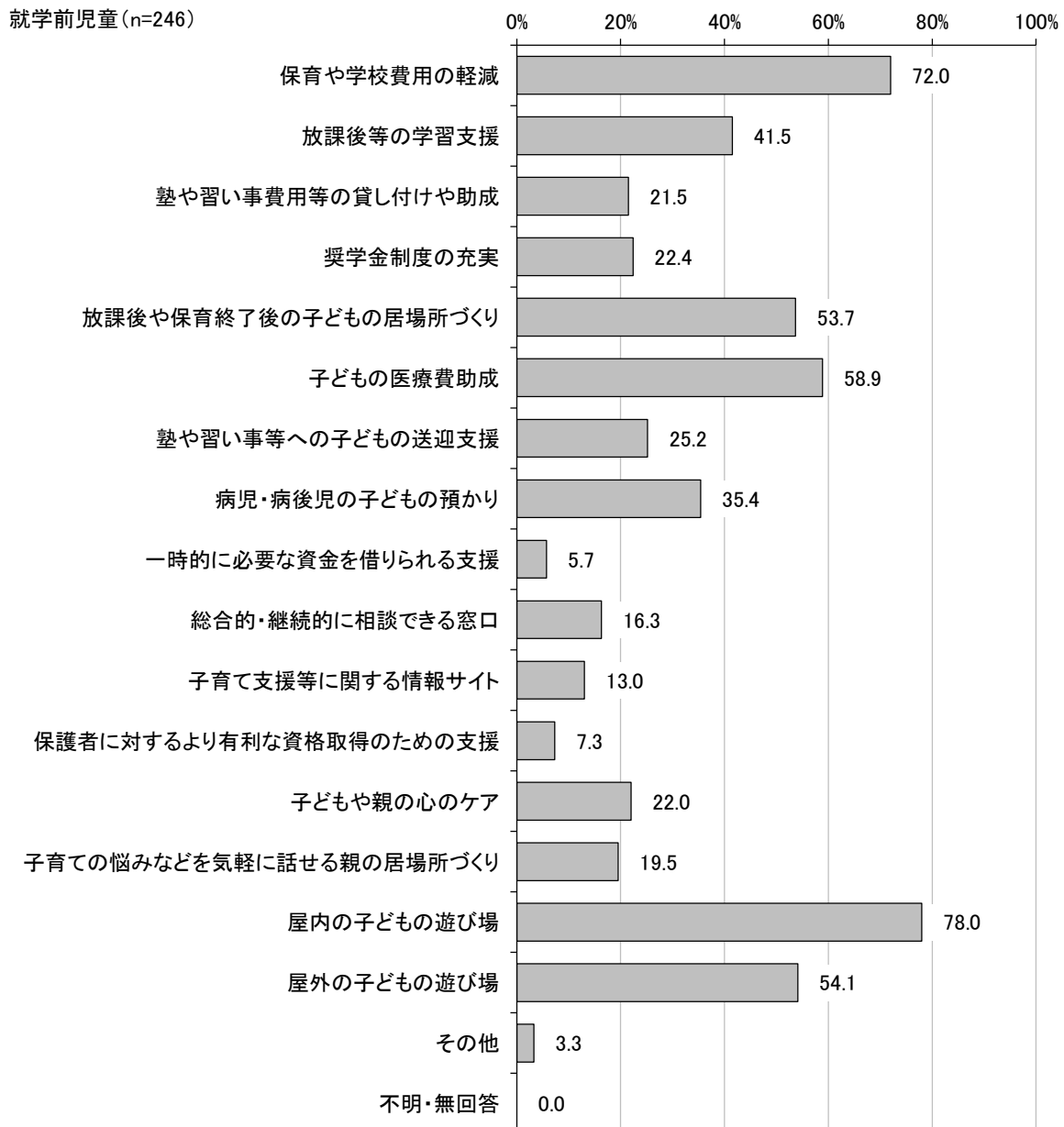
Q38 中能登町における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

「☆4」が37.0%と最も高く、次いで「☆3」が30.9%、「☆5（満足度が高い）」が19.1%となっています。



Q39 あなたが子育てをするうえで必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。（あてはまるものをすべて選択）

「屋内の子どもの遊び場」が78.0%と最も高く、次いで「保育や学校費用の軽減」が72.0%、「子どもの医療費助成」が58.9%となっています。



Q40 中能登町の子育て支援策について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

回答内容
未就学児メインの屋内で遊べる場所を作って欲しいです。
今年の1月より保育料の無償化、完全給食、オムツのサービスなど子育て世帯にはとてもありがたい制度で感謝しております。今後も継続してやってほしいです。天候に左右されず、子供達のがのびのびと遊べる屋内施設があればありがたいです。悪天候の際、どこかに行きたいと言われても金沢方面か富山方面の屋内施設まで足を伸ばすしかないのもそういった施設があると有難いです。
遊具などがあり体を動かせる子供の遊び場を室内室外ともにもっともっと増やして欲しいです。年末年始や日曜祝日の保育をお願いしたいです。子育て世帯に金銭面や減税等の支援をしてほしいです。保育園児が参加しやすいイベントを企画して欲しいです。体操教室や水泳教室・英語教室など色々な習い事を経験したいです。他の地域にない自慢できることを考えてほしいです。
保育料が無償化になったのは大変ありがたいです
保育園でリトミックや鼓隊など色々な体験をさせていただきありがとうございます。英語や韓国語などの言語・文化のふれあいもあると嬉しいです。
町内にいつでも無料で遊べる環境が充実した施設を作ってほしい。高齢者向けの施設ばかりで、若年層が減りつつあり、子育てをしていく上で、同年代との交流が少なく、こどもが友達と接する機会が作りにくい町だと感じます。若者に目を向けた方策がなく、資金的な援助だけでは人口は増えないものだと思います。
私も含め中能登町は自営業者の親が多い印象です。会社員の産休育休手当のような制度が自営業者にもあれば安心して子供を増やせると個人的には思います。
屋外の遊ぶ施設は天候によって利用できないことが多く、大型の屋内施設があればいいなと思うことがあります。
屋外や屋内で遊べる施設がほしい。学校費用の無料化
子どもが遊べる場所が少なく感じるので、増えていくといいなと思います。
公園、屋内の子供の遊び場の充実。小児科、耳鼻科、眼科が欲しい
保育料が完全無償化になったのは、とてもありがたく思います。
両親ともに勤務時間がその日によって違うため保育終了時間までに間に合わないのでも今は曾祖父母に協力してもらっている状況ですが曾祖父母も高齢のためあまり負担をかけられないという気持ちもあり遅くなくても受け入れて貰える環境があればなと感ずることがあります。人手不足の中頑張ってくださいっている先生方にとっても感謝しており負担が増えてしまうのでは…という思いもありお互いが負担にならず預かりやすい施設作りを町でも考え取り組んで頂けたら嬉しいです。また金銭面で年齢が上がれば使う金額も増えてきますので子供の人数問わず負担が大きくなならないような制度作りをこれからも考え取り組んで実践して頂けると幸いです。
保育園に預けていて、長期休暇（お正月、お盆）の時、仕事のことが多いので、日頃休みの時はなるべく見ているからこそ、そういう時は快く見ていただきたいのに、「保育士も休めって言われてるもので～」と言われ、遠回しに断られたことがありました。土曜日に他のクラスの子の発表会があるときは特に預けにくい雰囲気です。日頃の保育も大変なものとても理解出来ますし、保育士さんも休める場は確かに必要だと思いますが、お盆、正月時期に保育士さんが見れないのであれば、保育園をいつそのこと休みにして

回答内容
下されば、希望保育を聞かずに済むのでは？と疑問に思う事もありました。保育士さんの人員不足なのでしたら、子育て支援課のほうでなんとか増やしたり対策を考えては頂けないでしょうか？いつも見て下さる先生方にはとても日頃から感謝していますが、このような機会に言わせていただきました。今年の中能登の保育園に期待しています。
室内で遊べる施設があったら良いなあと思います。
屋内の子どもの遊び場をもっと作っていただけるとありがたいです。
土日祝休みの勤務の人は非常に少ないのに保育園や学童は日祝が休み。勤務時間も全ての人が 17 時までではないのに延長しても 19 時。保育園は土曜日が何故か 18 時までで延長保育無し。学童は 18 時半です。曜日関係なく 19 時までにしていただけると非常に家庭がうまく回ります。どうかご検討いただきたいです。
先のアンケートで回答した内容と同一です。
感染対策に留意した屋内の子ども施設の充実をもっと図ってほしい。認定こども園のおむつのサブスクやお弁当持参の廃止はとても助かった。中能登町で家を建てたくても土地が無く建てられないため、田んぼ地等整備してもう少しスーパー等が近くにあるような土地の整備を進めてほしい。
支援策とは違うかもしれませんが、昨年の震災によって、就労状況が通常とは異なり収入が不安定(この先が不安)になっている事、自宅を解体、建設しなければいけない状況を経済的に支援してほしい。子育て世帯、高齢者世帯を助けて欲しいです。
羽咋市のラクナはくいのような施設があれば嬉しい
鳥屋診療所を毎日開けてほしい
二宮に家があるが、バス通学がギリギリできない距離で、毎日車で6年間送って行かないといけないと思うとかなりきつい。二宮もバスを通して下さい。切に願います。よろしくお願いします。夫婦で看護師をしており、業務的になかなか、時間を作るのに難しいです。よろしくお願いします。
子育て支援センターがもう少し豊富にあったら嬉しいです。保育園に入っている支援センターは保育士さんがいないことが多く、いても放ったらかしの印象です。alku は子どもに声をかけてくれるので、遊び方関わり方が学べて助かります。東京都で無痛分娩助成金の話があったので、中能登町でもあったら嬉しいです。
発達障害がある子供に対しての理解や心のケアができるといいと思います。発達障害を抱えた親同士が話す場所もあればいいと思います。フリースクールがあったらいいと思います。
ラクナ羽咋みたいに室内で無料で遊べる所を作ってほしい。
いつもありがとうございます。学童の利用料がどこよりも安く、経済的に助かっています。一つ要望がありますが、羽咋ラクナのような屋内の遊び場が町内にできれば嬉しいです。
① 歩いて通学させたいが、歩道が狭かったり高齢者運転手が多く安全面が心配なので、通学路の安全整備、バス送迎の充実、範囲拡大をお願いしたい。 ② 交通が不便なので、高学年になっても子どもだけでの移動が困難。習い事の送迎支援などがあると良いか。 ③ 町内に小児科があるとありがたい。
子供用の医療機関を充実していただけるとありがたいです。

回答内容
子どもたちが遊べる場所を作ってほしいです。かほくやラクナのような施設です。夏は暑く外で遊べず、秋冬は天気が悪くて外で遊べない、屋内施設もないのでは子どもたちがかわいそうです。
天候が悪いと遊び場がないため、全天候型の屋内施設があると良い。現在小児科は月、水、金曜のみなので、常に受診できる安心した体制が欲しい。総合病院は紹介状がないと受診しづらい。自宅から児童館までは遠く、子どもだけで行くのは困難な状況のため、子どもだけでも行けるような手段はないか。
・中能登町在住の子供が無料で遊べる施設をつくってほしい。 ・子供が風邪などでやむを得ず仕事を休んだ場合の補助金が貰えると助かります。 ・住んでいる住所に一年に1度でもいいから無料のおもちゃを送ってくれたら嬉しい。 ・児童手当を増やしてほしい。 ・町が主導で要らなくなった子供用品(ベビーベットなど)を回収して次の子育て世代に無料であげる制度をつくってほしい。
かほく市や羽咋市に屋内遊び場ができて、中能登町にもできたらいいなと思った。自然豊かな町だから！！
保育園等だけでなく長く支援してくださると嬉しいです。また、天候に左右されず親子で触れ合って体を動かして楽しく遊べる屋内施設や公園等の遊具が充実したらいいと思います！
中能登町に引っ越してきた町外・県外出身者用に、子育て支援マップを出生届を出すときに渡すのはどうか？(保育園の場所、民間で子育て支援してる場所、飲食店の場所など)私自身子連れで引っ越してきたとき、役場に用事はあったけれど、何をどこに相談したら良いかわからなかったし、保育園の保護者さんたちとも関わる事がなかったので、町の情報をとるのに苦労した。
天候の悪い日でも体を動かして遊べる室内遊具場が必要だと思います。(ラクナ羽咋のような施設が必要！)また、公園の遊具も古くなり使えないものが増えている中で、新しいものを置いてもらえるところが少なく感じます。子供を土日に公園に連れて行っても高齢者の方がゲートボール？などで広く使用していて使えないこともあるので、残念に思います。近くの小児科がとりや診療所しかなく、月水金しかあいてないのでそれ以外の曜日は七尾や羽咋まで行かなくてはならなくて大変。
屋内の子供の遊ぶ場所がなく、町外の施設に遊びに行くことがある。ブランコのある公園が少ない。
室内公園作ってほしいです。ラクナみたいな
小児科、皮膚科、耳鼻科を中能登町内につくって欲しい
屋内で遊べる施設があればいいと思います。
実際に利用している方の意見があまり聞けず、利用しづらいと感じてしまう。気兼ねなく、理由なく、一時的に子どもを預けられる時間があると嬉しいです。預ける際に理由を書くのは抵抗があります。
鹿西庁舎に色々な施設や課などが集約されているが、自宅から遠いためとても不便である。
屋内で遊べる施設は本当にあったらいいと思います。天気の悪い北陸で、外で遊べる回数は少ないのであると大変助かります。
保育園にておむつが無料になるとのことですが、食事用エプロンも使い捨ての物にして提供してくれるとよいです。保育士さんの話、季節によっては、臭いもしたりして衛生面が気になるとのことで、エプロンをぜひ使い捨てにしてほしいとのことでした。エプロンや着替えを入れるナイロン袋が毎日いるとのことですが、それも他市町ではいらぬとのことなので、中能登町も考えてはどうかと思います。
中能登町の子育て支援は、他の市町より充実していると思います。職場でも、中能登町はいいねと話になります。保育園は、お金がかからないのでとても助かります。また、1月からご飯も持っていなくてよ

回答内容
くなり、とても助かります。鳥屋診療所の小児科受診が、平日の18時までや、火、木、土曜日もあると、さらに嬉しいです。産婦人科は中能登町にいません。小学校入学時に、制服の助成があるとなお嬉しいです。また、保育園の遊戯室に、クーラーの設置は難しいでしょうか。また、よろしくお願いします。
子育て支援はとても良く、十分と思います。小学校中学校の制度や、子供が大きくなった時の負担軽減のための高齢者の支援もお願い致します
就学時前の5歳児健診をしてほしいです。子どもの発達障害などがあるので、就学時前で疑いがわかるのであれば、病院など受診して診断された場合は、小学校での対応を連携しやすいようにしてほしい。
総合的に、窓口となる人の言葉遣いの配慮やプライベートに関して配慮のある対応をお願いしたい。例えば、「書類上必要なことなのでお尋ねしますが」のような前置き無く、いきなり本題に入ったり、電話をガチャ切りするというマナーや態度が悪い職員の指導をお願いしたい。子育て中は、ただでさえストレスを抱えやすい環境にあることの配慮をお願いしたい。
中能登町の子育て支援事業は充実していると実感しています。強いていうならば、屋内で遊べる遊具施設がほしいです。また、通学のバスを範囲を検討していただきたいです。中能登町はどの小学校も坂を登っての通学です。寛容に検討いただきたいです。さらに、親は現場（保育園や学校）の様子がわかりにくいのです。町として、保育園や学校の巡回を、年中時だけでなく年1～2回程度に増やし、子どもが小学生になる前、なった後のフォローを増やしていただきたいです。そして、気になることがあった際には早めに療育等勧めていただきたいです。どの子どもどの保護者も安心できるよう、早め早めに声をかけていただきたいです。
子育て支援室（とりやののこども園のどんぐり、あおばは保育園）は、育児休暇中に大変お世話になりました。現在は、通園しているため、利用していませんが、とても大切な場所だと感じています。ぜひ今後に残していただきたいです。回答には、利用していないと利用する予定はないとしか回答しようがなかったもので、こちらに書きました。また、保育園への満足度の★の欄が回答する側の画面からだと分かりづらかったです。
病児、病後保育をもっと充実させて欲しい。
子供を預けれる場所を増やしてほしい
町内に小児科が1つしかなく、週3日しか開いていないため、行きたい時に行けなかったり、待ち時間が長くて困るので、2、3箇所あれば嬉しい。
屋内の子どもの遊び場が欲しいです。ラクナはくい、かほくくのようなところです！
子供達が遊べる施設がほしいです。最近は夏も暑くて外では短時間しか遊べない日もあり、今は室内で遊べるところが児童館と図書館しかないのもっと充実した施設がほしいです。
よくなって来ているが、震災後から図書館は1ヶ所のみで都合が悪い。本を借りるために車で移動しなくてはいけない。小児科もなく、体調不良で保育園から呼び出しがあった際には職場（町外）から保育園、更に病院行こうと思うとかなりの移動になる。町内外の人関係なく気軽に行ける室内の遊び場がもう少し増えてほしい。
保育料の無償化はとても助かります。たまにでいいので、仕事が休みの土曜日にも午前中だけでいいので気軽に保育園に預けられると良いと思います。
金沢市のあめるんパークのように、休日に子供と一緒に遊べるような施設があればいいなと思います。
小児科がほしい

回答内容
こどもの医療費が無料というのは大変素晴らしく、移住するきっかけの一つになりました。今後とも宜しくお願いします。
病院がない。屋内の遊び場がラピアにはあるが図書館なのであんまり騒げない
室内の木育の遊び場や緑が多く紅葉も楽しめるような公園がほしいです。
今はわからない。
中能登町の園は昼寝が多いので、教育面からも幼稚園があれば良い。英語やプールを近くで習わせたいのですが、中能登町で習えますか？あれば紹介してほしいです。土日に支援センターが開いていると良い。おもちゃ病院、子ども食堂の開催。月～土曜日まで小児科やってほしい。夜間も中能登町の病院で済ませたい。宅配ピザ、ネットスーパー、ウーバーイーツの充実。ラクナ羽咋のようなイベントが多く、室内で高学年も楽しめる遊び場がほしい。現在の児童館は高学年には物足りない様子。おしゃれな雑貨屋、手芸屋、ニトリ、子連れしやすいご飯屋さん、スシローなど大手の回転寿司、弁当屋があれば良い。一青から徒歩で買い物できたら良いな。街灯少ないので防犯面からも心配。ヘルパーが利用しやすい環境だと良い
各種子育て支援には概ね満足しています。ただし、羽咋市、かほく市などと比べると中能登町には屋内、屋外問わず子供が遊べる遊技場、大型遊具のある公園、遊び場が極端に少なく、ラクナ羽咋やかほくくるのような設備が欲しいです。大型遊具のある公園については普段は富山県内の公園(高岡や射水)ばかり行っていて、移動距離が大変です。
子育て中の親としては、中能登町は子育てにぴったりの環境になってきていると思います。今後お願いします
私は七尾市から移住しましたが、中能登町の子育て支援は本当に素晴らしいと思います。一月からの保育料無償やオムツ無料など本当にありがたい限りです。これからも期待しております。未来ある子どものために、住み良い町をよろしくお願いします。
石川県は雨が多いので、雨の日でも遊べる施設があると助かります。羽咋のラクナはいい施設だと感じます。
・天候に関係なく利用出来る遊び場を作って欲しい ・↑の遊び場に子どもの発達に合わせた遊びを提案してくれるスタッフを常駐させて欲しい ・園児の時だけでなく、小学生や中学生になったとしても（年齢に関係なく）気軽に集まれる居場所を作ってあげて欲しい
屋内の遊び場が中能登町にはないのが子どもが小さい時に一番困りました。かほくくる、あめるんぱーくのような施設をアルプラザの空きスペースに作ってはどうか。図書館のリニューアルで県立図書館のような遊び場スペースが出来るのかなと楽しみにしていましたが、現状中途半端に感じます。ないより有り難いですが。また、学童が狭い、うるさい、古い、汚いイメージです。保育園のように安心して預ける場所が欲しいです。そのためにもっと学童に予算をつけてほしいと感じます。学童は七尾のように19時まで預けられるようになればと思いますし、また遅刻に対して厳しい空気があると聞いています。フルタイムで勤務をする親にはどうしようもないこともあることを汲んでほしいです。Q38 が利用したいにするとエラーで先に進めなくなったのでしないにしています。
近隣の市町より支援が進んでいる印象。子育て支援等がかなり進んでいる兵庫県明石市のように、子育て支援もしつつ、中能登町民みんなが住みやすい町にしていってほしい。養育費の立替事業をしてくれるといいなと思う。無い袖は振れない場合や、強制執行もお金がかかる、などひとり親がかなり不利な現状、

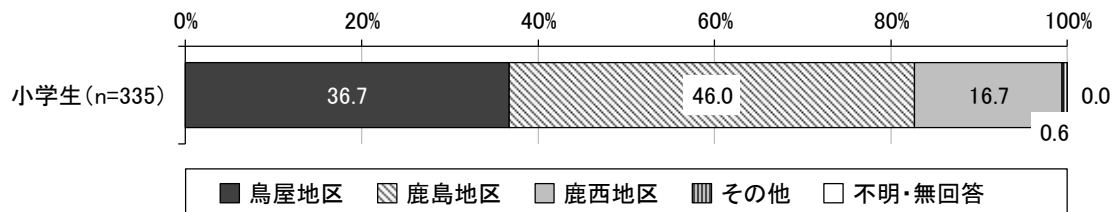
回答内容
国がどうにもしないので、市町村に期待している。中能登町に居て、子育て支援が拡充していったら恵まれていると思う。ありがとうございます。
屋内で遊べる施設があったら嬉しいなと思っています。
屋内の遊び場がほしいです
子育てに優しい町と言うのに、オムツ、おしりナップの無料になるのが隣の市に比べてとても遅かった。上記項目でも記入したように、通園バスをもっと本当に必要な家庭に該当するよう対応策を考えてほしい。一人で育てて、フルタイムで、朝早く保育園、そして他の兄弟の送迎、そして職場、帰りは時間ギリギリで滑り込みでのお迎え、冬場は気持ちが焦ってしまい負担で、なおかつ保育園児の送迎は本当に時間を取られる為ぜひ検討してほしいです。
土日祝日、雨の日も子どもが安心して遊べるような環境
子供が小さいころ常々感じていたのですが、いつでも親や子供たちが集まって遊ぶことのできる施設が欲しいです。大きくなってくると付近には公園もなく子供同士で遊べるところがありません。来年小学生ですが友達同士の家も遠く遊ぶ場所もないでは…と環境に不安を感じています。
引越してきた際、情報が得づらいなと思いました。ホームページや SNS で子育て中のママが使える施設を調べてもあまり出てこなかった印象です。良い施設があるので勿体無いなと思います。
他の町にはない支援もあるが、自分が対象になるまで知らなかったことが多かったです。家庭センターや乳幼児健診でお話した職員の皆さんがみんな優しく、安心して利用出来たので知らない方がいたら教えてあげたいと思ってます。

Ⅲ 小学生児童調査の結果

Ⅰ お子さんご家族の状況について

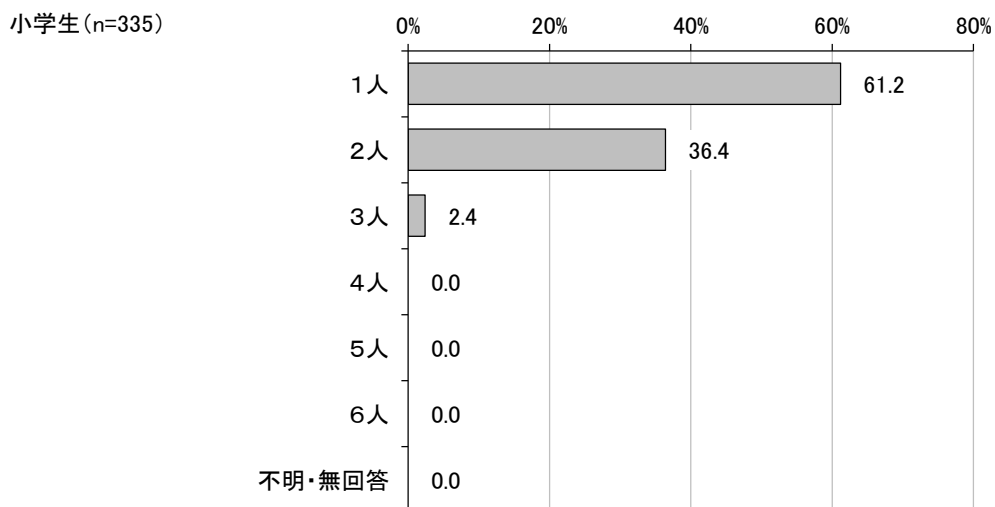
Q 1 お住まいの地区はどちらですか。

「鹿島地区」が46.0%と最も高く、次いで「鳥屋地区」が36.7%、「鹿西地区」が16.7%となっています。



Q 2 小学生のお子さんは何人いらっしゃいますか。

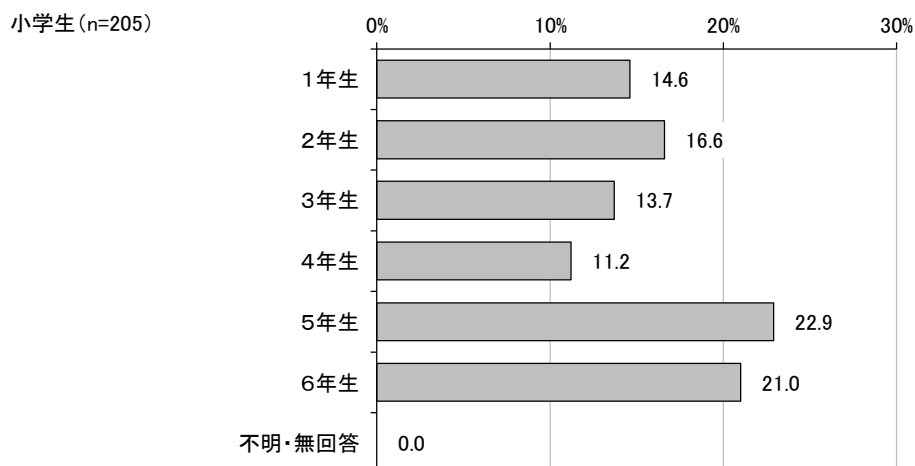
「1人」が61.2%と最も高く、次いで「2人」が36.4%、「3人」が2.4%となっています。



Q3 小学生のお子さんの生年月日についてお答えください。

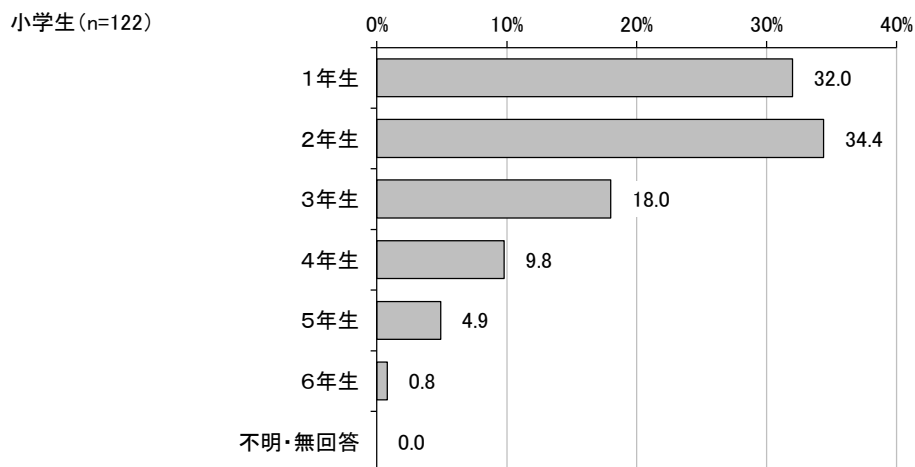
【第1子】学年

「5年生」が22.9%と最も高く、次いで「6年生」が21.0%、「2年生」が16.6%となっています。



【第2子】学年

「2年生」が34.4%と最も高く、次いで「1年生」が32.0%、「3年生」が18.0%となっています。



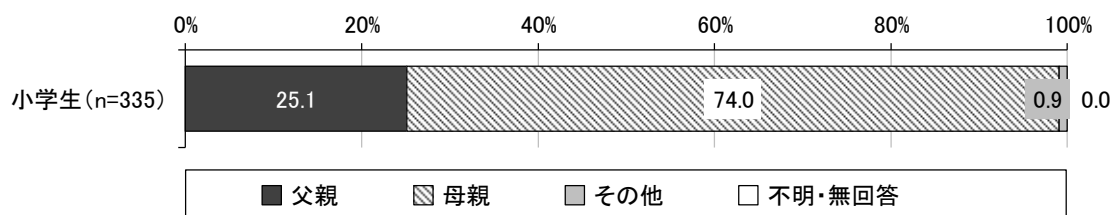
【第3子】学年

「1年生」が50.0%（4件）と最も高く、次いで「3年生」が25.0%（2件）、「2年生」「4年生」が12.5%（1件）となっています。

	小学生 (n=8)	
	件数	%
1年生	4	50.0
2年生	1	12.5
3年生	2	25.0
4年生	1	12.5
5年生	0	0.0
6年生	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

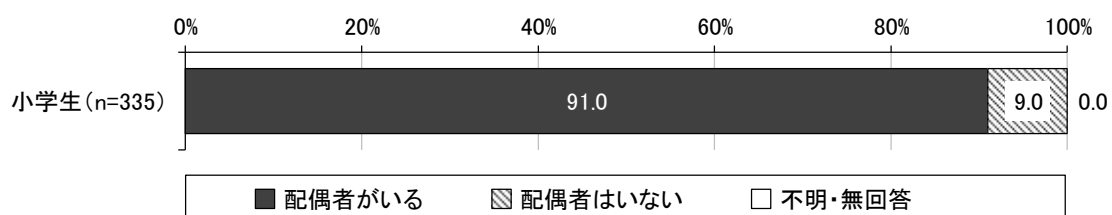
Q 4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

「母親」が74.0%と最も高く、次いで「父親」が25.1%、「その他」が0.9%となっています。



Q 5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

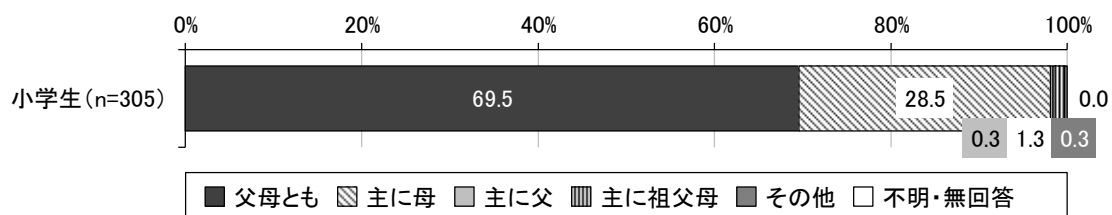
「配偶者がいる」が91.0%、「配偶者はいない」が9.0%となっています。



Q 5 で「配偶者がいる」を選択した方

Q 6 (1) お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。

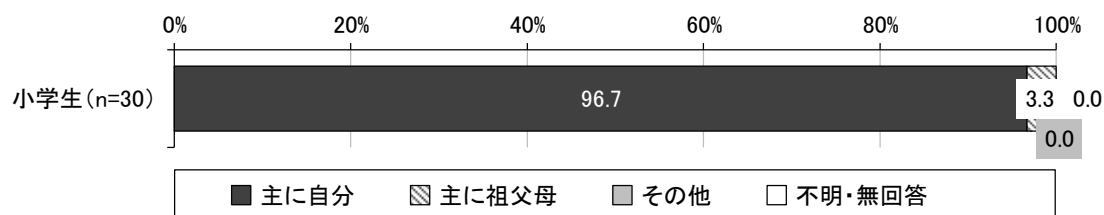
「父母とも」が69.5%と最も高く、次いで「主に母」が28.5%、「主に祖父母」が1.3%となっています。



Q 5 で「配偶者はいない」を選択した方

Q 6 (2) お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。

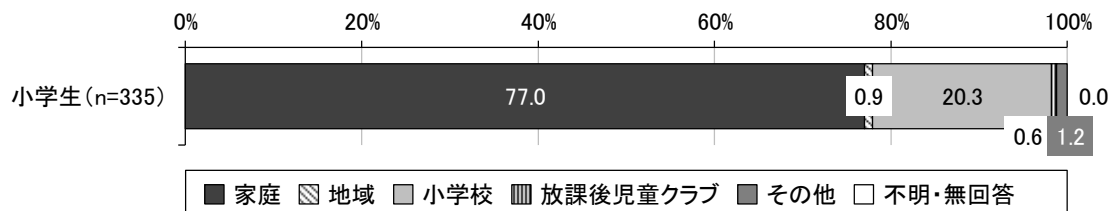
「主に自分」が96.7%と最も高く、次いで「主に祖父母」が3.3%となっています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

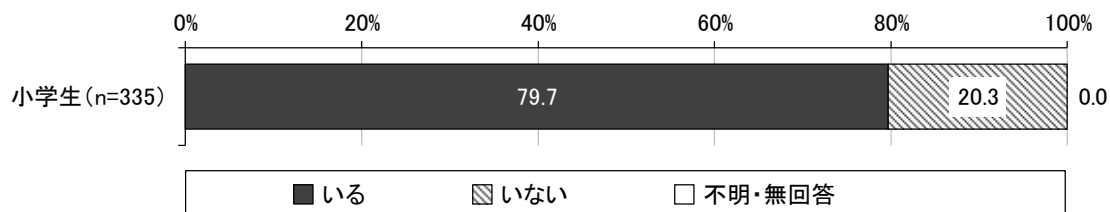
Q7 お子さんの子育て(教育を含む)に、最も影響すると思われる環境はどれですか。

「家庭」が77.0%と最も高く、次いで「小学校」が20.3%、「その他」が1.2%となっています。



Q8 日頃、お子さんをみてもらえる親族や知人はいますか。

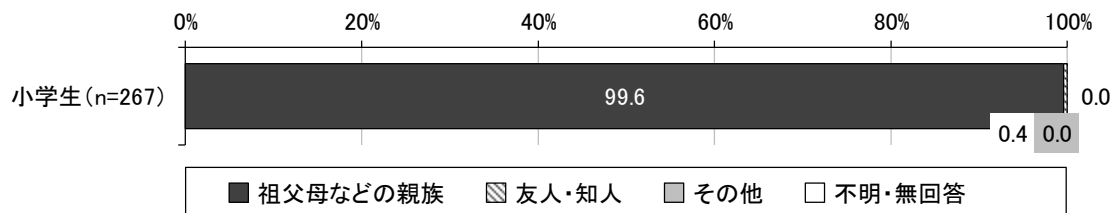
「いる」が79.7%、「いない」が20.3%となっています。



Q8で「いる」を選択した方

Q8-1 その方との関係はどのようなご関係ですか。

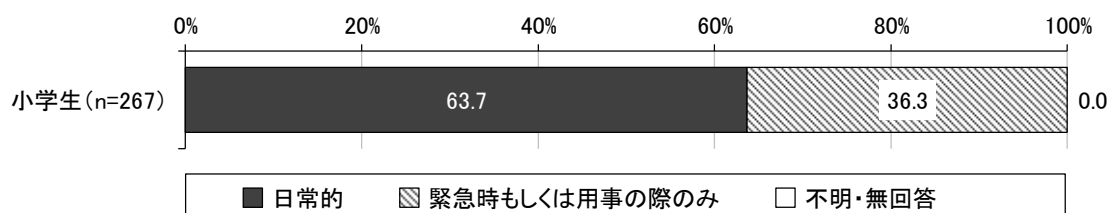
「祖父母などの親族」が99.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が0.4%となっています。



Q8で「いる」を選択した方

Q8-2 どの程度の頻度で頼ることができますか。

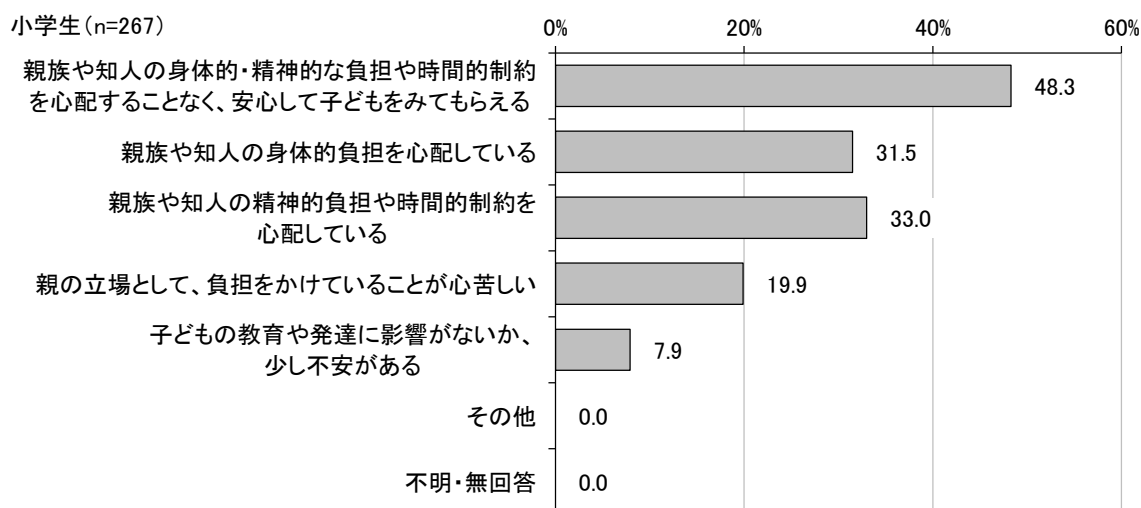
「日常的」が63.7%、「緊急時もしくは用事の際のみ」が36.3%となっています。



Q 8で「いる」を選択した方

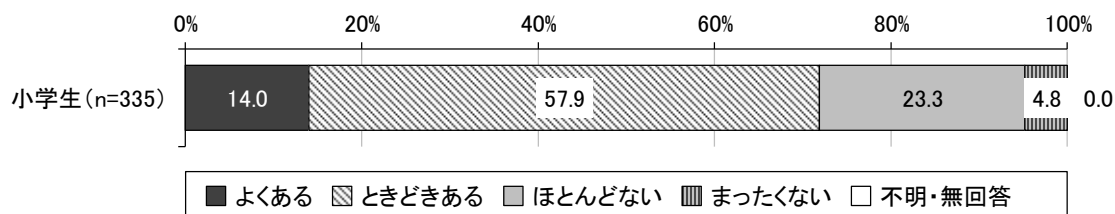
Q 8-3 親族や知人にお子さんをみてもらっている状況について感じていることをお伺いします。
(あてはまるものをすべて選択)

「親族や知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が48.3%と最も高く、次いで「親族や知人の精神的負担や時間的制約を心配している」が33.0%、「親族や知人の身体的負担を心配している」が31.5%となっています。



Q 9 あなたは、子育てに不安や負担を感じることはありますか。

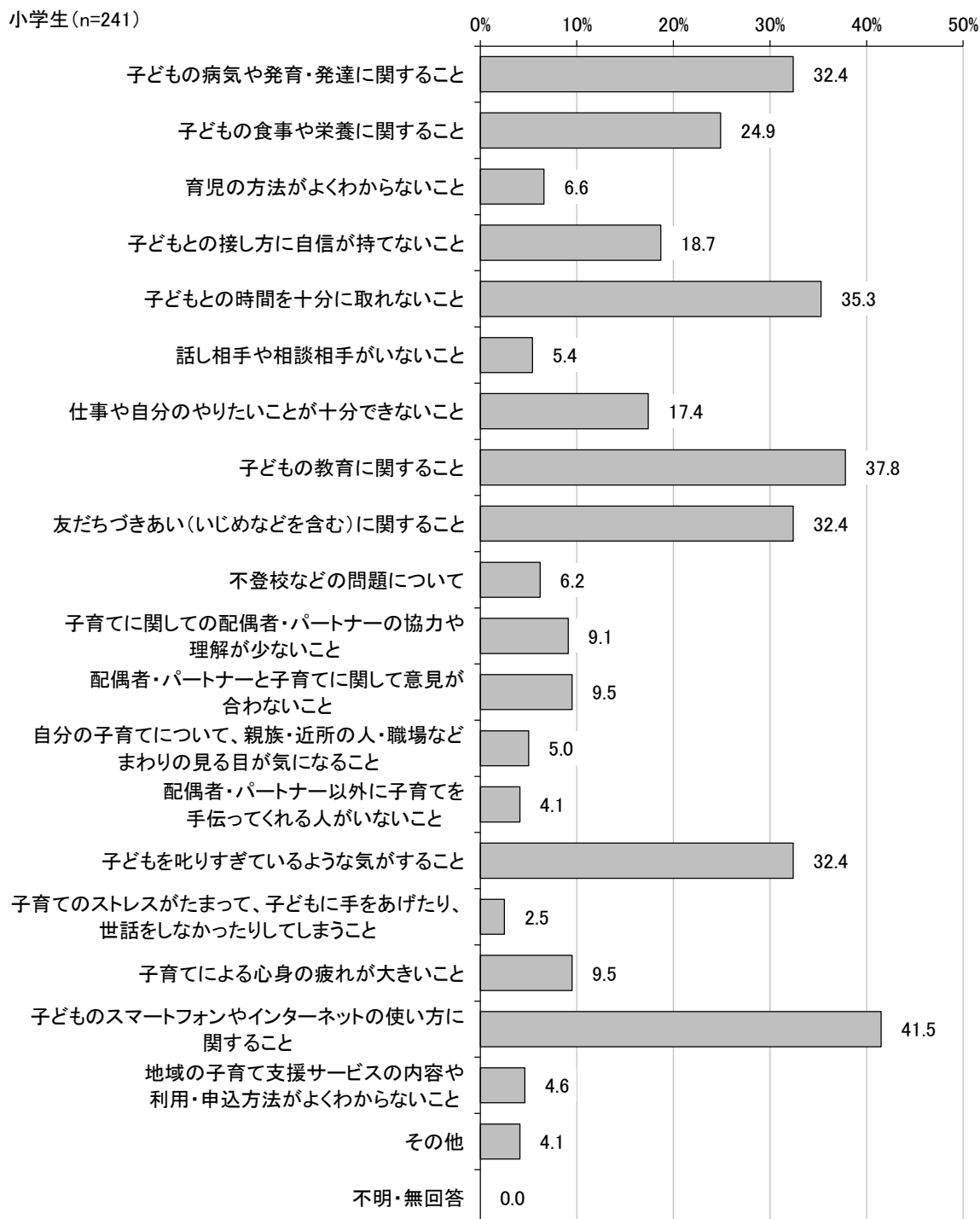
「ときどきある」が57.9%と最も高く、次いで「ほとんどない」が23.3%、「よくある」が14.0%となっています。



Q 9で「よくある」「ときどきある」を選択した方

Q 9-1 悩んでいることや困っていることは何ですか。(あてはまるものをすべて選択)

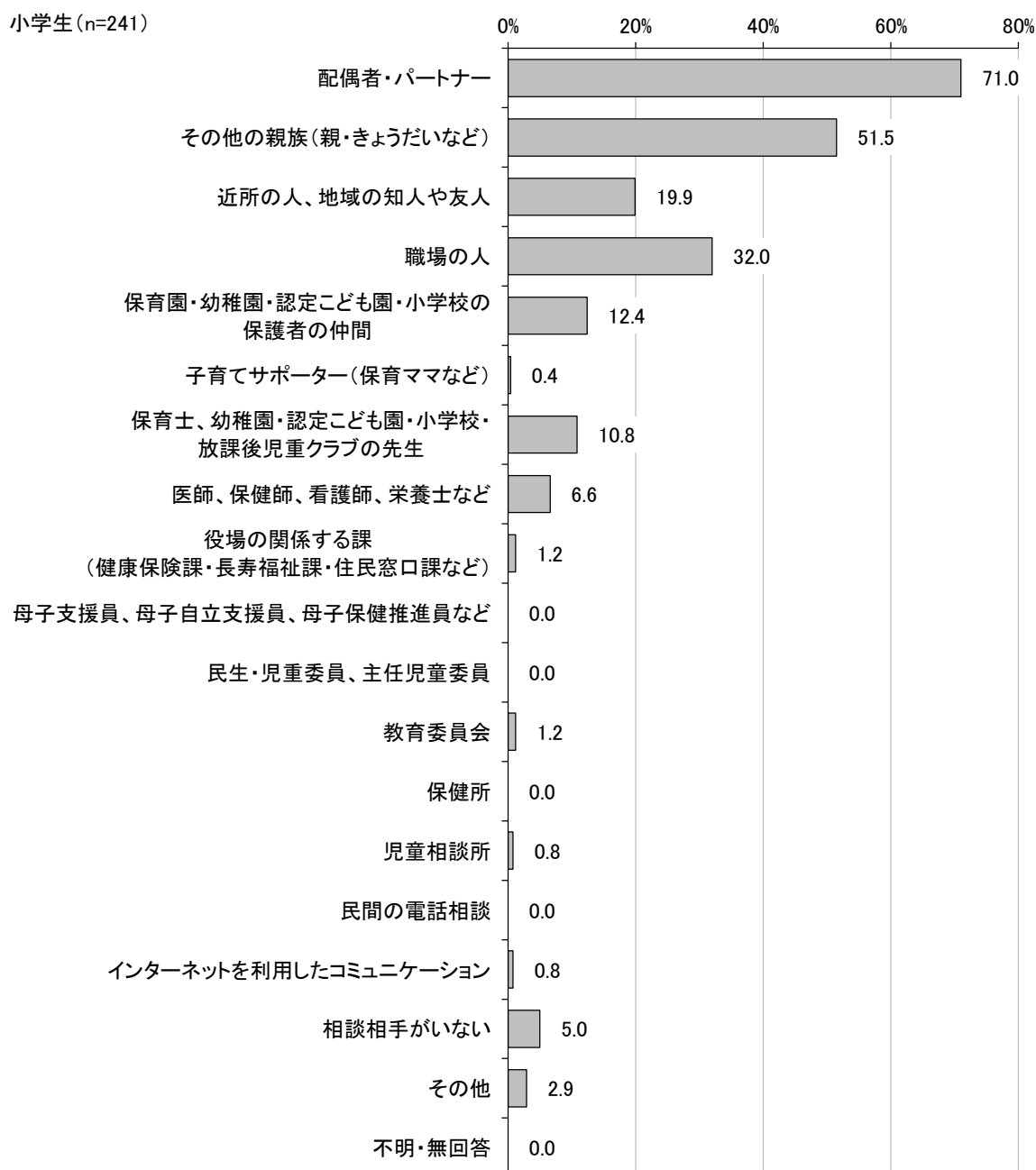
「子どものスマートフォンやインターネットの使い方に関すること」が 41.5%と最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」が 37.8%、「子どもとの時間を十分に取れないこと」が 35.3%となっています。



Q 9で「よくある」「ときどきある」を選択した方

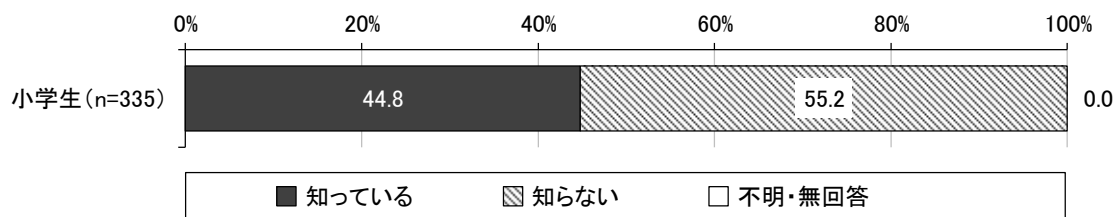
Q 9-2 悩みや不安をどなたに相談していますか。(あてはまるものをすべて選択)

「配偶者・パートナー」が71.0%と最も高く、次いで「その他の親族(親・きょうだいなど)」が51.5%、「職場の人」が32.0%となっています。



Q10 中能登町こども家庭センターをご存じですか。

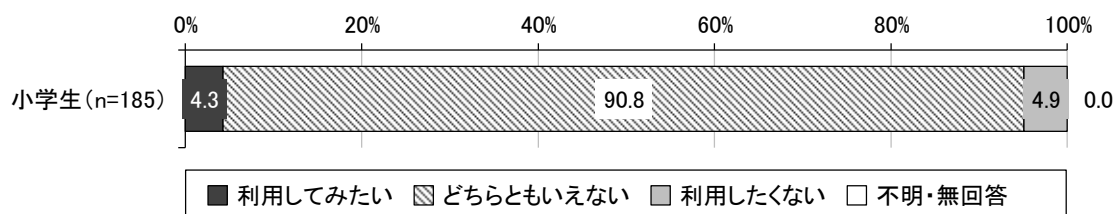
「知っている」が44.8%、「知らない」が55.2%となっています。



Q10で「知らない」を選択した方

Q10-1 こども家庭センターを利用してみたいと思いますか。

「どちらともいえない」が90.8%と最も高く、次いで「利用したくない」が4.9%、「利用してみたい」が4.3%となっています。



Q10-1で「利用してみたい」を選択した方

Q10-2 利用してみたいものを選択してください。(あてはまるものをすべて選択)

「育児相談・遊び場『alku(あるく)』」が37.5% (3件) と最も高く、次いで「発達相談『にじいろ』」が25.0% (2件) となっています。

	小学生 (n=8)	
	件数	%
不妊・不育相談「ふたば」	0	0.0
育児相談・遊び場「alku(あるく)」	3	37.5
プレママ・パパ教室	0	0.0
ママとパパの休み時間	0	0.0
離乳食相談	0	0.0
発達相談「にじいろ」	2	25.0
専門相談「kukka(クツカ)」	1	12.5
不登校相談「tunagu(つなぐ)」	0	0.0
子育て世帯訪問支援員派遣	0	0.0
ファミリー・サポート・センター	1	12.5
その他	1	12.5
不明・無回答	1	12.5

Q10-1で「利用したくない」を選択した方

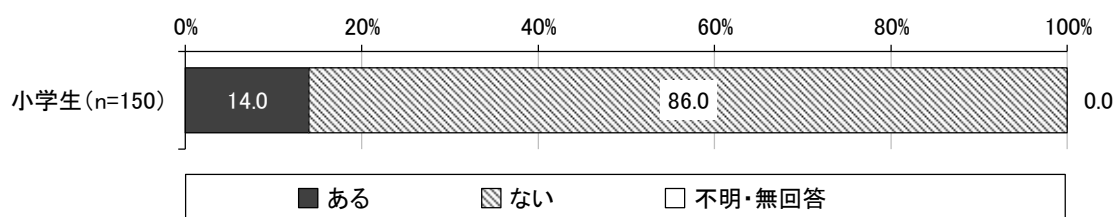
Q10-3 利用したくないとお答えされた特別な理由があれば教えてください。

回答内容
悩んでることを知られたくない
そういう場が苦手
今のところそれほど大きな問題はないから
この地区ではないが以前利用した際、子育てについて相談しても聞くのみで何の解決にもならなかったから。
特になしから
期待する答えが返ってくるとは思わない。
必要がないので。

Q10で「知っている」を選択した方

Q11 こども家庭センターを利用したことはありますか。

「ある」が14.0%、「ない」が86.0%となっています。



Q11で「ある」を選択した方

Q11-1 利用されてみてお気づきになった点や、ご意見、ご提案がありましたらご自由にお書きください。

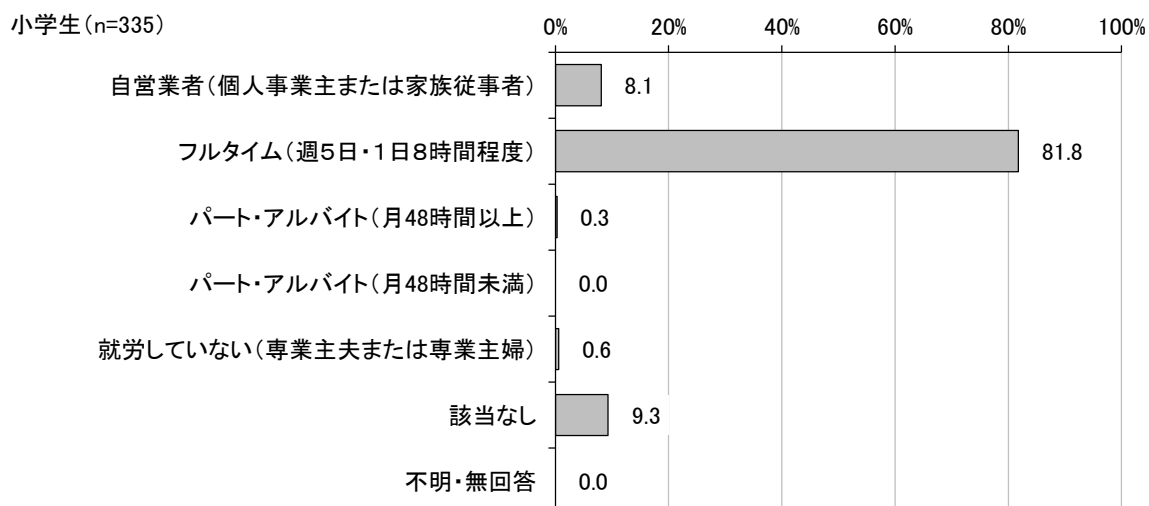
回答内容
家族以外の大人に関わってもらいたかったので、とても助かりました。
保健師さん達がとても優しく、親身になってくれて、色々と子育てのことを悩んでいたがとても助かりました。
こどもをつれていきやすい雰囲気や、こどもを遊ばせながら話すスペース、簡易的な横におけるバウンサーなどあればよいかも
とても親切に対応してくださり子供のペースに合わせてくれて親の気持ちも理解してくれてとても安心しました。
広い場所で子供を伸び伸び遊ばせてもらいながら話し相手になってもらった
話しやすいと思います

3 保護者の就労状況について

Q12 お子さんの父親、母親(保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方)の現在の就労状況についてお答えください。

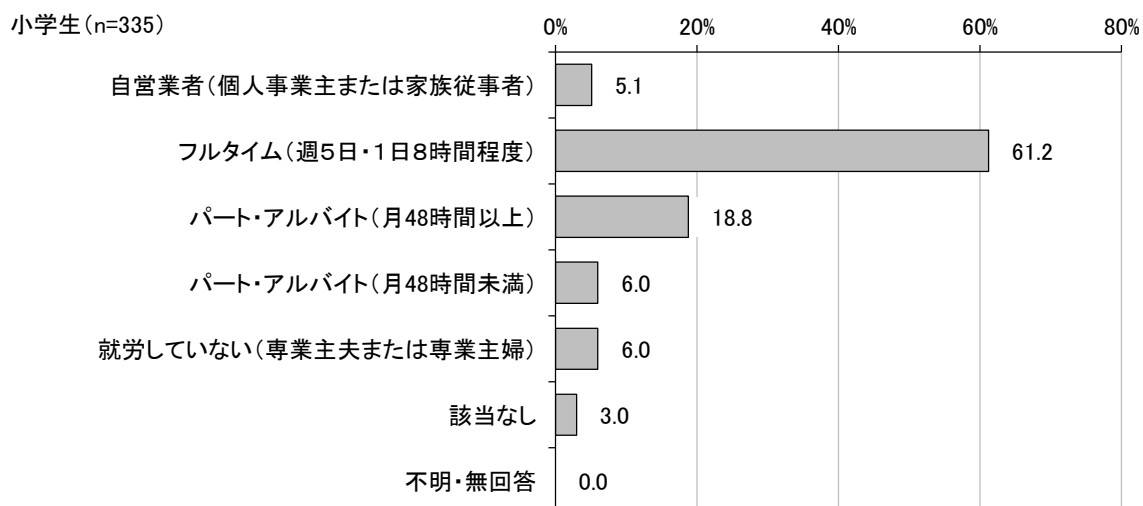
【父親】

「フルタイム(週5日・1日8時間程度)」が81.8%と最も高く、次いで「該当なし」が9.3%、「自営業者(個人事業主または家族従事者)」が8.1%となっています。



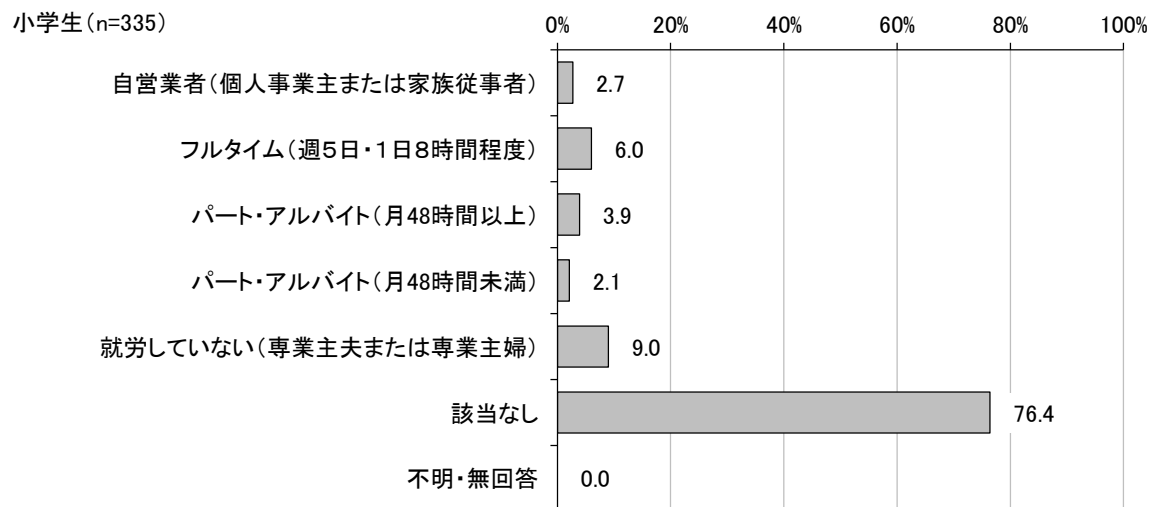
【母親】

「フルタイム(週5日・1日8時間程度)」が61.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト(月48時間以上)」が18.8%、「パート・アルバイト(月48時間未満)」 「就労していない(専業主夫または専業主婦)」が6.0%となっています。



【(保護者が父母でない場合) 主にお子さんを見ていらっしゃる方】

「該当なし」が76.4%と最も高く、次いで「就労していない(専業主夫または専業主婦)」が9.0%、「フルタイム(週5日・1日8時間程度)」が6.0%となっています。



Q12で「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」を選択した方

Q12（1）-1 フルタイム勤務を選択された方について家を出る時間、帰る時間をお伺いします。
（一定でない場合は、よくある日常的なパターンでお答えください。）

■家を出る時間

【父親】

	小学生 (n=274)	
	件数	%
6時以前	24	8.8
6時台	29	10.6
7時台	154	56.2
8時台	43	15.7
9時台	3	1.1
10時以降	7	2.6
不明・無回答	14	5.1

【母親】

	小学生 (n=205)	
	件数	%
6時以前	1	0.5
6時台	10	4.9
7時台	130	63.4
8時台	47	22.9
9時台	5	2.4
10時以降	0	0.0
不明・無回答	12	5.9

【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】

	小学生 (n=20)	
	件数	%
6時以前	0	0.0
6時台	0	0.0
7時台	2	10.0
8時台	4	20.0
9時台	1	5.0
10時以降	0	0.0
不明・無回答	13	65.0

■家に帰る時間

【父親】

	小学生 (n=274)	
	件数	%
12時以前	5	1.8
12時台	0	0.0
13時台	1	0.4
14時台	0	0.0
15時台	2	0.7
16時台	3	1.1
17時台	33	12.0
18時台	80	29.2
19時台	50	18.2
20時台	33	12.0
21時以降	36	13.1
不明・無回答	31	11.3

【母親】

	小学生 (n=205)	
	件数	%
12時以前	3	1.5
12時台	0	0.0
13時台	0	0.0
14時台	0	0.0
15時台	0	0.0
16時台	7	3.4
17時台	51	24.9
18時台	101	49.3
19時台	18	8.8
20時台	3	1.5
21時以降	1	0.5
不明・無回答	21	10.2

【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】

	小学生 (n=20)	
	件数	%
12時以前	0	0.0
12時台	0	0.0
13時台	0	0.0
14時台	0	0.0
15時台	0	0.0
16時台	1	5.0
17時台	2	10.0
18時台	3	15.0
19時台	1	5.0
20時台	0	0.0
21時以降	0	0.0
不明・無回答	13	65.0

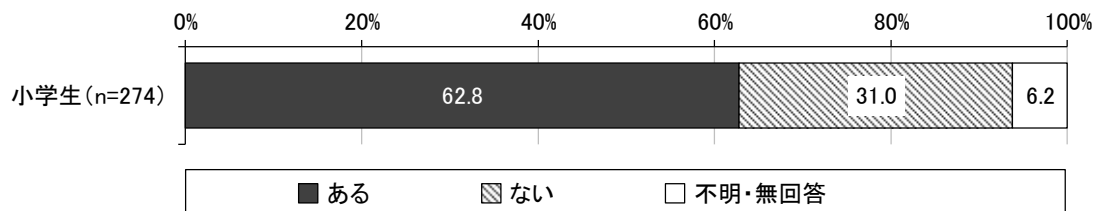
Q12で「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」を選択した方

Q12（1）-2 超過勤務（残業）についてお伺いします。

■超過勤務（残業）の有無

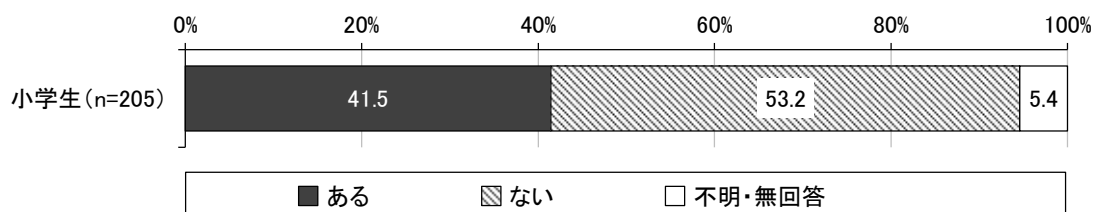
【父親】

「ある」が62.8%、「ない」が31.0%となっています。



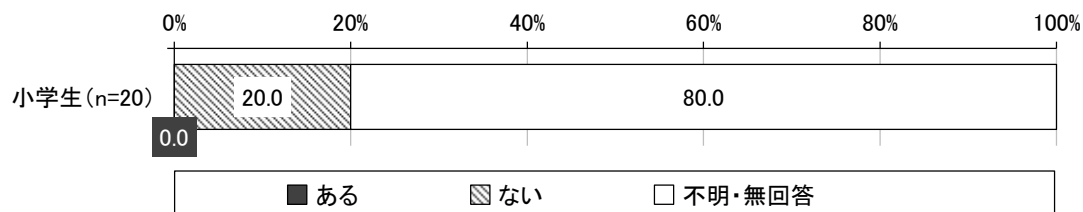
【母親】

「ある」が41.5%、「ない」が53.2%となっています。



【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】

「ない」が20.0%となっています。



■平均した場合の週あたりおおよその超過勤務（残業）時間数

【父親】

	小学生 (n=172)	
	件数	%
5時間未満	37	21.5
5～9時間	26	15.1
10～14時間	29	16.9
15～19時間	7	4.1
20時間以上	11	6.4
不明・無回答	62	36.0

【母親】

	小学生 (n=85)	
	件数	%
5時間未満	34	40.0
5～9時間	9	10.6
10～14時間	6	7.1
15～19時間	2	2.4
20時間以上	5	5.9
不明・無回答	29	34.1

※【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】: 回答はありませんでした。

Q12で「パート・アルバイト（月 48 時間以上）」「パート・アルバイト（月 48 時間未満）」を選択した方

Q12（２）パート・アルバイトを選択された場合の週あたり「勤務日数」と日あたり「勤務時間」について伺います。一定でない場合は、最も多いパターンでお答えください。

■就労形態

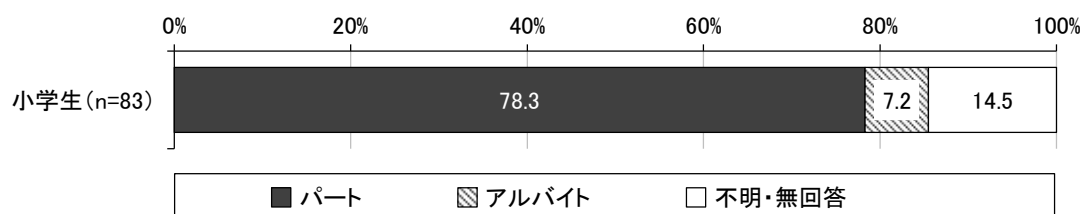
【父親】

「パート」が 100.0%（１件）となっています。

	小学生 (n=1)	
	件数	%
パート	1	100.0
アルバイト	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

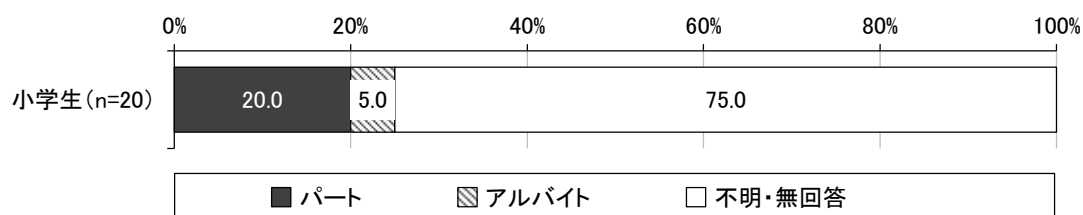
【母親】

「パート」が 78.3%、「アルバイト」が 7.2%となっています。



【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】

「パート」が 20.0%、「アルバイト」が 5.0%となっています。



■週あたり「勤務日数」

【母親】

	小学生 (n=83)	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	5	6.0
4日	17	20.5
5日	35	42.2
6日	4	4.8
7日	1	1.2
不明・無回答	21	25.3

【(保護者が父母でない場合)主にお子さんを見ていらっしゃる方】

	小学生 (n=20)	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	1	5.0
3日	0	0.0
4日	2	10.0
5日	1	5.0
6日	0	0.0
7日	0	0.0
不明・無回答	16	80.0

※【父親】:有効回答はありませんでした。

■日あたり「勤務時間」

【母親】

	小学生 (n=83)	
	件数	%
1時間	0	0.0
2時間	1	1.2
3時間	1	1.2
4時間	11	13.3
5時間	12	14.5
6時間	13	15.7
7時間	9	10.8
8時間	5	6.0
9時間	1	1.2
10時間以上	3	3.6
不明・無回答	27	32.5

【(保護者が父母でない場合)主にお子さんを見ていらっしゃる方】

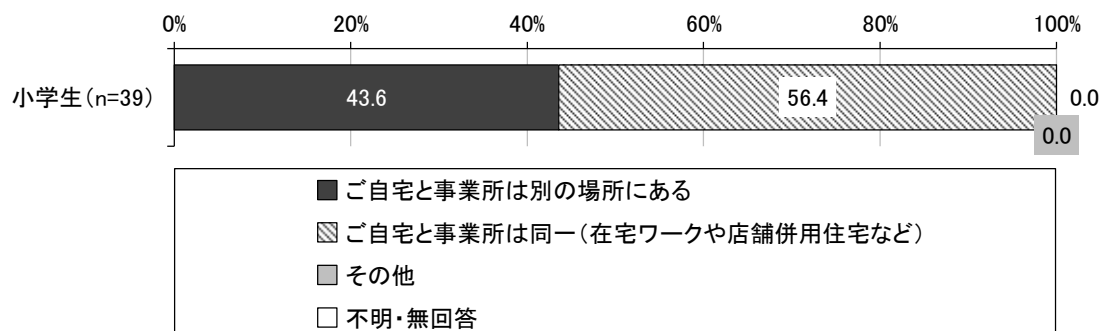
	小学生 (n=20)	
	件数	%
1時間	0	0.0
2時間	0	0.0
3時間	0	0.0
4時間	1	5.0
5時間	0	0.0
6時間	0	0.0
7時間	0	0.0
8時間	0	0.0
9時間	0	0.0
10時間以上	0	0.0
不明・無回答	19	95.0

※【父親】:有効回答はありませんでした。

Q12で「自営業者（個人事業主または家族従事者）」を選択した方

Q12（3）-1 自営業者（個人事業主または家族従事者）を選択された方にお伺いします。

「ご自宅と事業所は同一（在宅ワークや店舗併用住宅など）」が 56.4%と最も高く、次いで「ご自宅と事業所は別の場所にある」が 43.6%となっています。



Q12（3）-1で「ご自宅と事業所は別の場所にある」を選択した方

Q12（3）-2 ご自宅と事業所は別を選択された方の家を出る時間、帰る時間についてお伺いします。（一定でない場合は、よくある日常的なパターンでお答えください。）

■家を出る時間

【父親】

	小学生 (n=14)	
	件数	%
6時以前	0	0.0
6時台	2	14.3
7時台	6	42.9
8時台	3	21.4
9時台	0	0.0
10時以降	0	0.0
不明・無回答	3	21.4

【母親】

	小学生 (n=3)	
	件数	%
6時以前	0	0.0
6時台	0	0.0
7時台	0	0.0
8時台	0	0.0
9時台	1	33.3
10時以降	1	33.3
不明・無回答	1	33.3

※【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】：有効回答はありませんでした。

■家に帰る時間

【父親】

	小学生 (n=14)	
	件数	%
12時以前	0	0.0
12時台	0	0.0
13時台	1	7.1
14時台	0	0.0
15時台	0	0.0
16時台	0	0.0
17時台	0	0.0
18時台	4	28.6
19時台	0	0.0
20時台	1	7.1
21時以降	3	21.4
不明・無回答	5	35.7

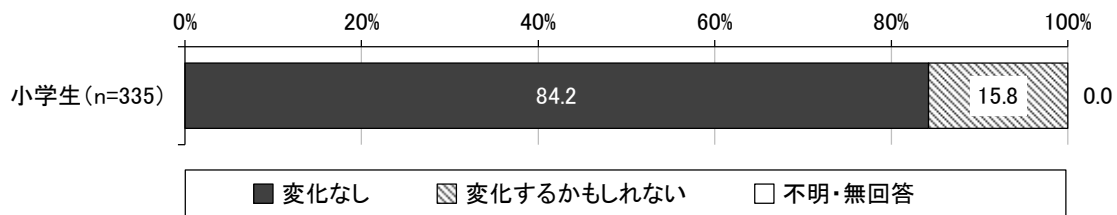
【母親】

	小学生 (n=3)	
	件数	%
12時以前	0	0.0
12時台	0	0.0
13時台	0	0.0
14時台	0	0.0
15時台	0	0.0
16時台	0	0.0
17時台	1	33.3
18時台	0	0.0
19時台	0	0.0
20時台	0	0.0
21時以降	1	33.3
不明・無回答	1	33.3

※【（保護者が父母でない場合）主にお子さんを見ていらっしゃる方】：有効回答はありませんでした。

Q13 Q12 でお答えいただいた方々の 1 年先の就労状況についての見通しをお伺いします。

「変化なし」が 84.2%、「変化するかもしれない」が 15.8%となっています。

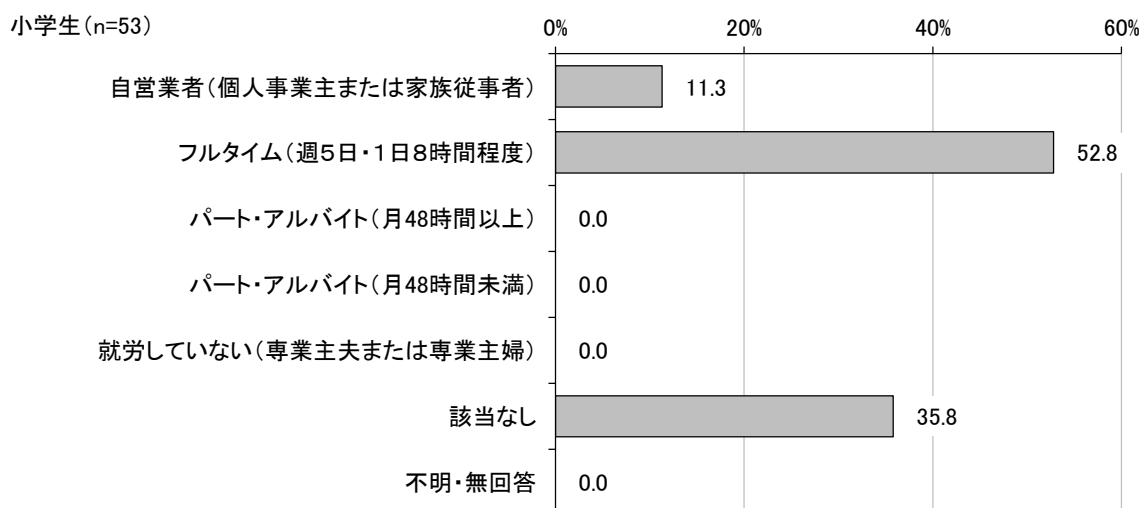


Q13 で「変化するかもしれない」を選択した方

Q13-1 1 年後の就労形態（自営業または家族従事者を含む）の予定についてお答えください。

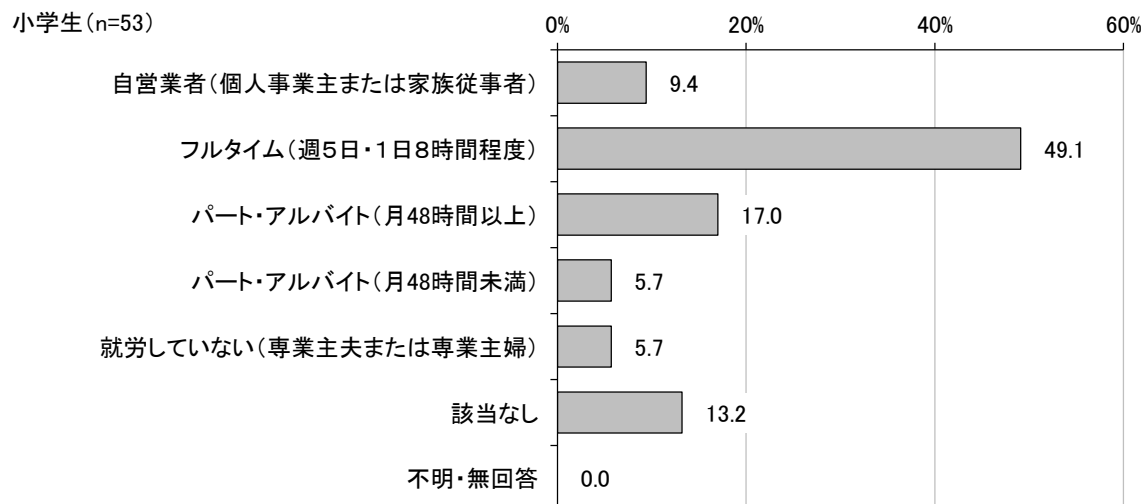
【父親】

「フルタイム（週 5 日・1 日 8 時間程度）」が 52.8%と最も高く、次いで「該当なし」が 35.8%、「自営業者（個人事業主または家族従事者）」が 11.3%となっています。



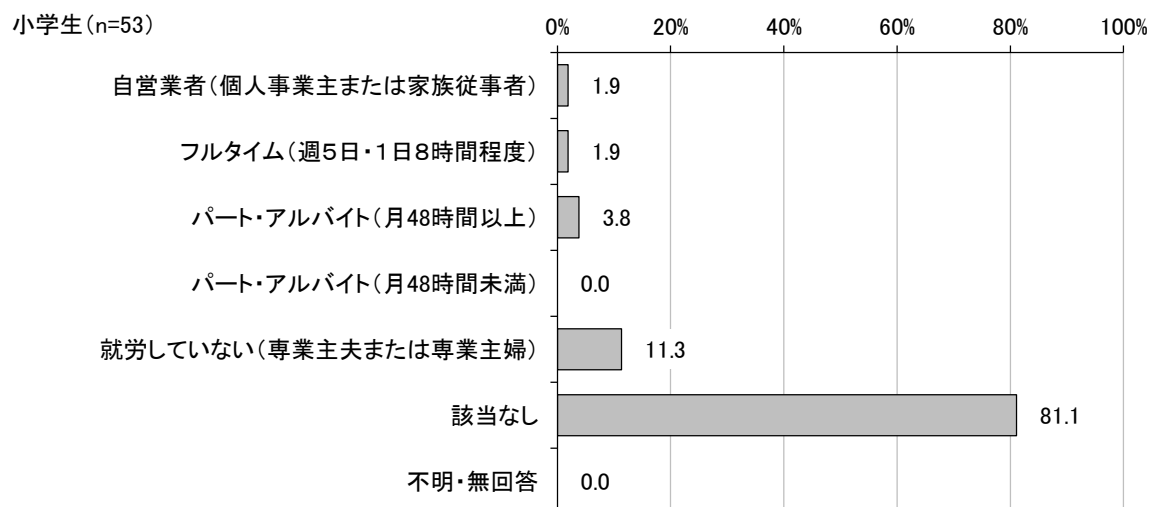
【母親】

「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」が49.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト（月48時間以上）」が17.0%、「該当なし」が13.2%となっています。



【(保護者が父母でない場合) 主にお子さんを見ていらっしゃる方】

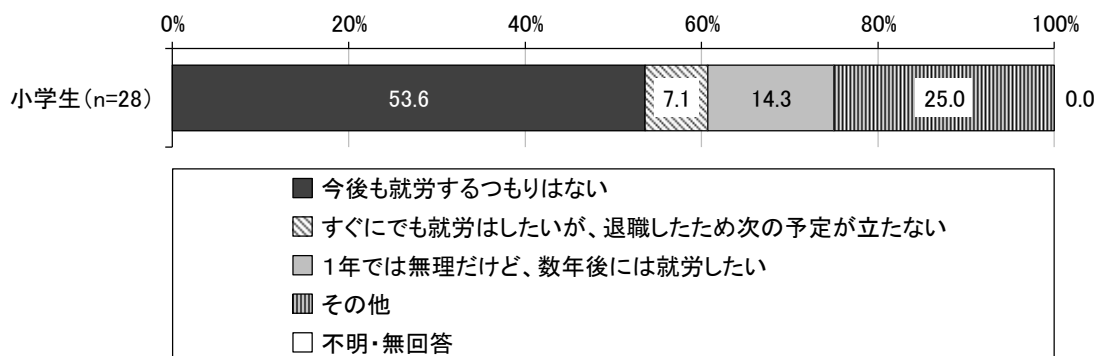
「該当なし」が81.1%と最も高く、次いで「就労していない（専業主夫または専業主婦）」が11.3%、「パート・アルバイト（月48時間以上）」が3.8%となっています。



Q12で「就労していない（専業主夫または専業主婦）」かつQ13で「変化なし」を選択した方

Q14 現在、就労されておらず1年後の就労形態も変化ないと答えられた方についてお伺いします。
今後の就労に向けた予定をお聞かせください。

「今後も就労するつもりはない」が53.6%と最も高く、次いで「その他」が25.0%、「1年では無理だけど、数年後には就労したい」が14.3%となっています。



Q14で「1年では無理だけど、数年後には就労したい」を選択した方

Q14-1 何年後に就労されたい、もしくははされる予定かお伺いします。

「2年後」が75.0%（3件）となっています。

	小学生 (n=4)	
	件数	%
1年後	0	0.0
2年後	3	75.0
3年後	0	0.0
4年後	0	0.0
5年後	0	0.0
6年後以降	0	0.0
不明・無回答	1	25.0

Q14で「1年では無理だけど、数年後には就労したい」を選択した方

Q14-2 また、その理由についてお答えください。

回答内容
自分の体調の問題
中学校にあがるタイミングで考えている
真ん中の子が小学校慣れてから

Q14で「すぐにでも就労はしたいが、退職したため次の予定が立たない」「1年では無理だけど、数年後には就労したい」を選択した方

Q14-3 就労先として希望する形態についてお答えください。

「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」が66.7%（4件）と最も高く、次いで「パート・アルバイト（月48時間未満）」が16.7%（1件）となっています。

	小学生 (n=6)	
	件数	%
自営業者(個人事業主または家族従事者)	0	0.0
フルタイム(週5日・1日8時間程度)	4	66.7
パート・アルバイト(月48時間以上)	0	0.0
パート・アルバイト(月48時間未満)	1	16.7
不明・無回答	1	16.7

Q13-1で「パート・アルバイト（月48時間以上）」、「パート・アルバイト（月48時間未満）」を選択した方

Q15 パート・アルバイトを選択された場合の週あたりの「就労日数」や日あたり平均「就労時間」の見通しをお答えください。

■週あたり「勤務日数」

【母親】

	小学生 (n=12)	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	1	8.3
4日	3	25.0
5日	4	33.3
6日	0	0.0
7日	0	0.0
不明・無回答	4	33.3

■日あたり平均「就労時間」

【母親】

	小学生 (n=12)	
	件数	%
1時間	0	0.0
2時間	0	0.0
3時間	0	0.0
4時間	1	8.3
5時間	2	16.7
6時間	4	33.3
7時間	0	0.0
8時間	1	8.3
9時間	0	0.0
10時間以上	0	0.0
不明・無回答	4	33.3

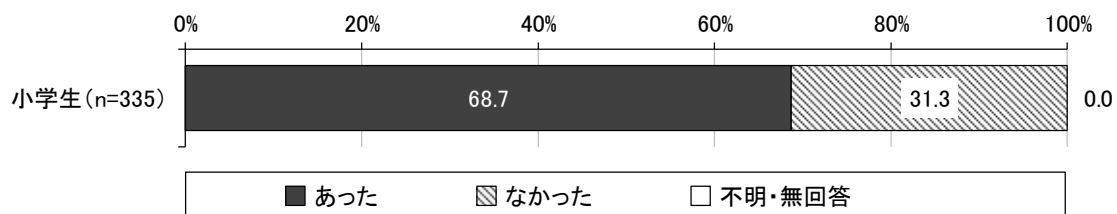
※【父親】:回答はありませんでした。

【(保護者が父母でない場合)主にお子さんを見ていらっしゃる方】:有効回答はありませんでした。

4 お子さんの病気の際の対応について

Q16 この1年間に、お子さんが病気やけがで小学校に行けなかったことはありますか。

「あった」が68.7%、「なかった」が31.3%となっています。

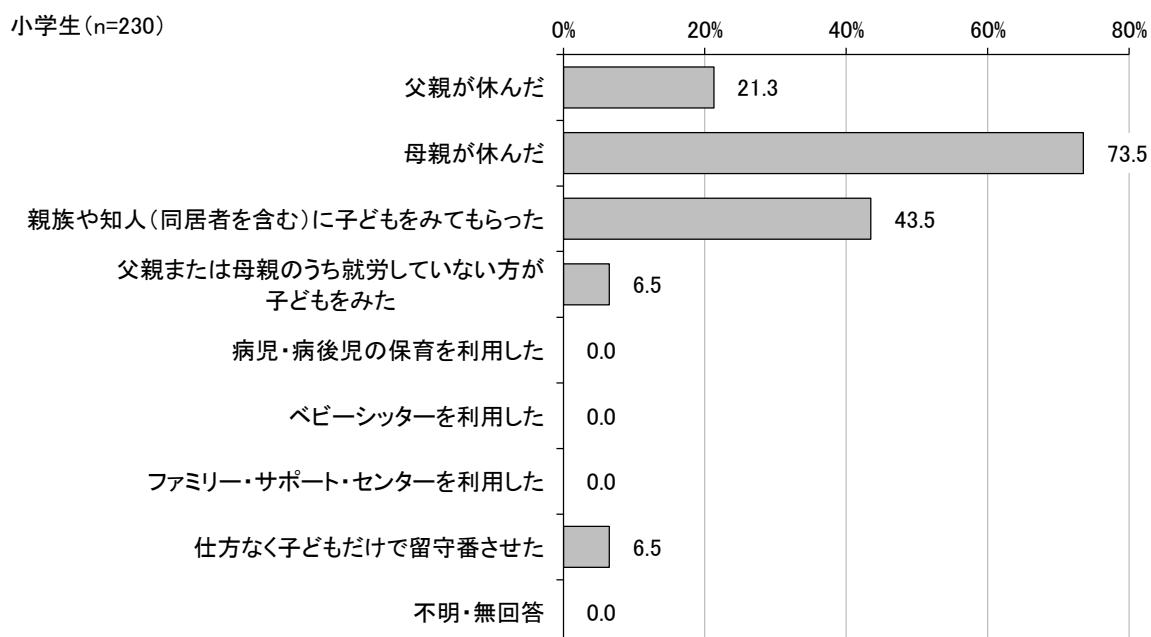


Q16で「あった」を選択した方

Q16-1 登校できなかった時、どのように対応されたかについてお伺いします。

(あてはまるものをすべて選択)

「母親が休んだ」が73.5%と最も高く、次いで「親族や知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」が43.5%、「父親が休んだ」が21.3%となっています。



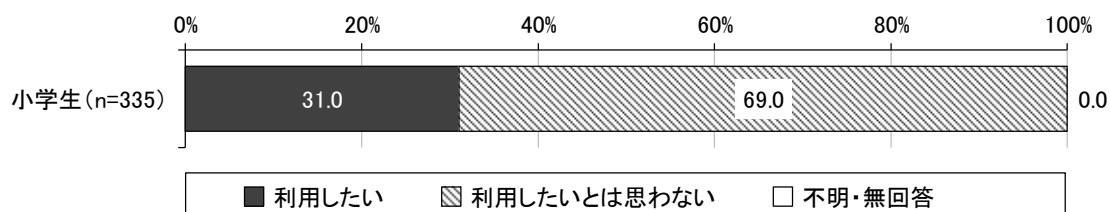
Q16で「あった」を選択した方

Q16-2 登校できなくて、やむなく対応した年間日数をお答えください。

	小学生 (n=230)	
	件数	%
1日	18	7.8
2日	43	18.7
3日	34	14.8
4日	15	6.5
5日	52	22.6
6日	3	1.3
7日	14	6.1
8日	3	1.3
9日	0	0.0
10日以上	42	18.3
不明・無回答	6	2.6

Q17 お子さんが病気やけがの際、病気やけがのお子さんを預かり、保育してくれる「病児・病後児のための保育施設」を利用したいと思いますか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

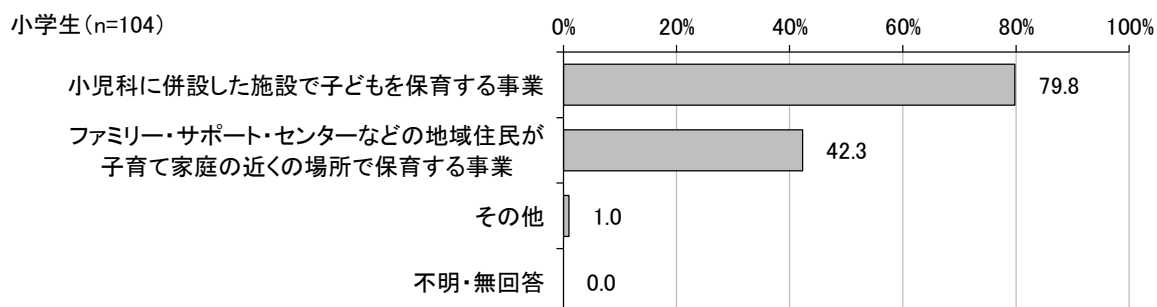
「利用したい」が31.0%、「利用したいとは思わない」が69.0%となっています。



Q17で「利用したい」を選択した方

Q17-1 利用できると仮定した場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまるものをすべて選択)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が79.8%と最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センターなどの地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業」が42.3%、「その他」が1.0%となっています。

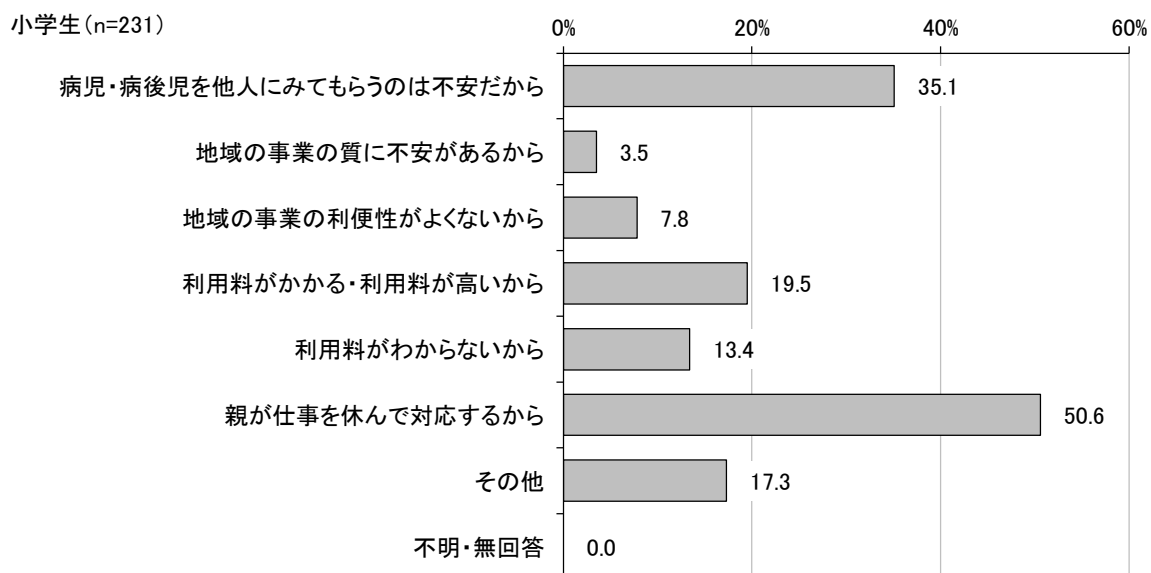


Q17で「利用したいとは思わない」を選択した方

Q17-2 利用したいと思わないとお答えされた理由をお答えください。

(あてはまるものをすべて選択)

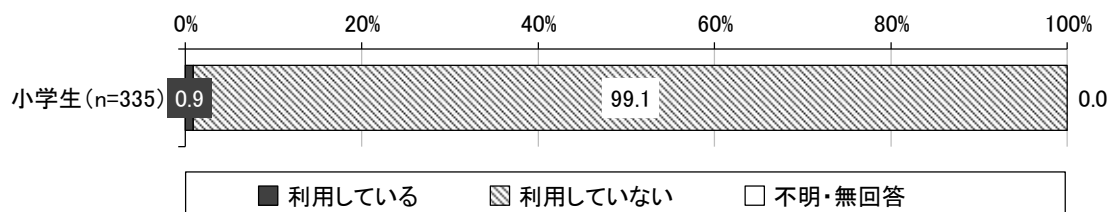
「親が仕事を休んで対応するから」が50.6%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから」が35.1%、「利用料がかかる・利用料が高いから」が19.5%となっています。



5 「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

Q18 保護者の私用や通院、不定期の就労などの目的で、お子さんを一時的に預けるサービスをご利用されたことはありますか。

「利用している」が0.9%、「利用していない」が99.1%となっています。



Q18で「利用している」を選択した方

Q18-1 ご利用になっているサービスをお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

「ファミリー・サポート・センター」が66.7%（2件）と最も高く、次いで「その他」が33.3%（1件）となっています。

	小学生 (n=3)	
	件数	%
子育て短期支援事業	0	0.0
ファミリー・サポート・センター	2	66.7
ベビーシッター	0	0.0
その他	1	33.3
不明・無回答	0	0.0

Q18で「利用している」を選択した方

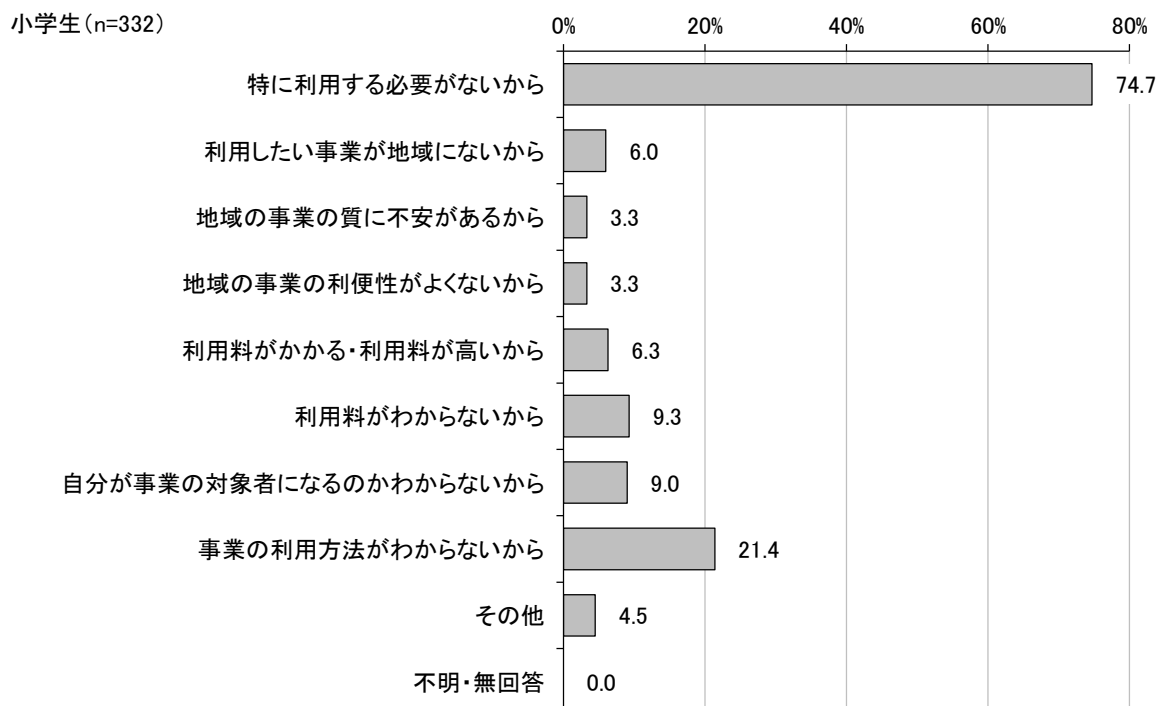
Q18-2 年間の利用日数について、おおよその頻度をお答えください。

	小学生 (n=3)	
	件数	%
1日	1	33.3
2日	0	0.0
3日	0	0.0
4日	0	0.0
5日	0	0.0
6日	0	0.0
7日	0	0.0
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	1	33.3
不明・無回答	1	33.3

Q18で「利用していない」を選択した方

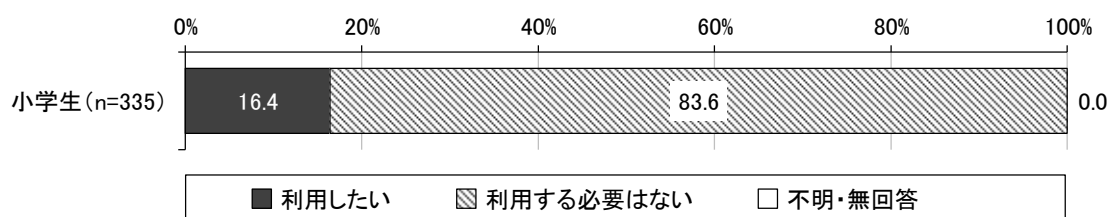
Q18-3 利用されていない理由についてお答えください。（あてはまるものをすべて選択）

「特に利用する必要がないから」が74.7%と最も高く、次いで「事業の利用方法がわからないから」が21.4%、「利用料がわからないから」が9.3%となっています。



Q19 サービスの現在までのご利用経験にかかわらずお答えください。今後、一時預かりなどのサービスを利用したいかどうかについて伺います。

「利用したい」が16.4%、「利用する必要はない」が83.6%となっています。



Q19で「利用したい」を選択した方

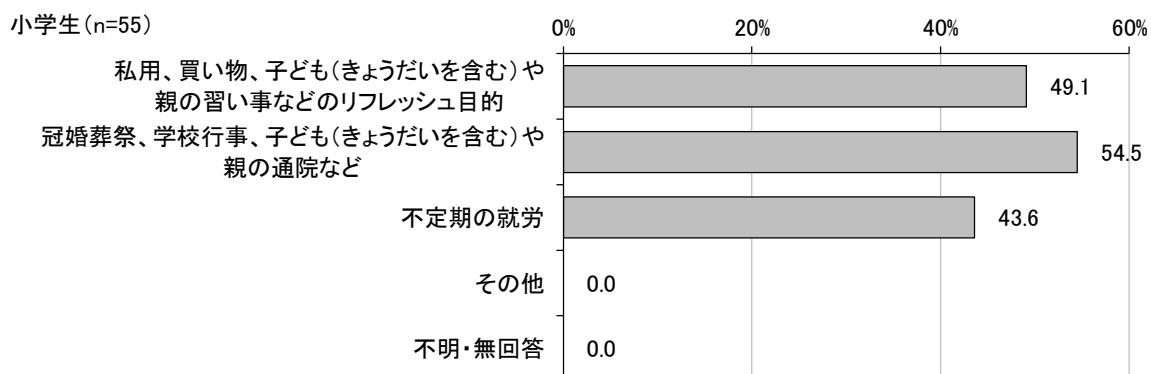
Q19-1 利用されたい想定日数について、年間で何日程度をご希望されますか。（おおよその頻度を日数でお答えください）

	小学生 (n=55)	
	件数	%
1日	1	1.8
2日	5	9.1
3日	9	16.4
4日	0	0.0
5日	10	18.2
6日	0	0.0
7日	0	0.0
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	16	29.1
不明・無回答	14	25.5

Q19で「利用したい」を選択した方

Q19-2 サービスを利用されようとする理由をお答えください。（あてはまるものをすべて選択）

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院など」が 54.5%と最も高く、次いで「私用、買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事などのリフレッシュ目的」が 49.1%、「不
定期の就労」が 43.6%となっています。

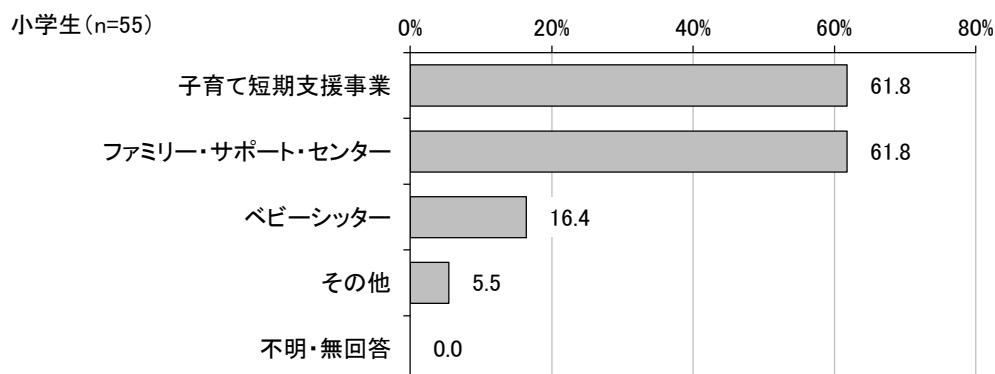


Q19で「利用したい」を選択した方

Q19-3 ご利用になりたいと思っているサービスをお答えください。

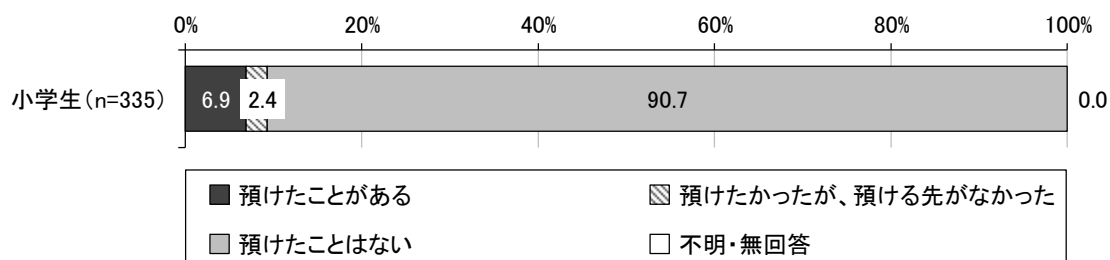
(あてはまるものをすべて選択)

「子育て短期支援事業」「ファミリー・サポート・センター」が 61.8%と最も高く、次いで「ベビーシッター」が 16.4%、「その他」が 5.5%となっています。



Q20 この1年間の間で、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)によって、お子さんを泊りがけで預けられたことはありますか。

「預けたことはない」が 90.7%と最も高く、次いで「預けたことがある」が 6.9%、「預けたかったが、預ける先がなかった」が 2.4%となっています。



Q20で「預けたことがある」を選択した方

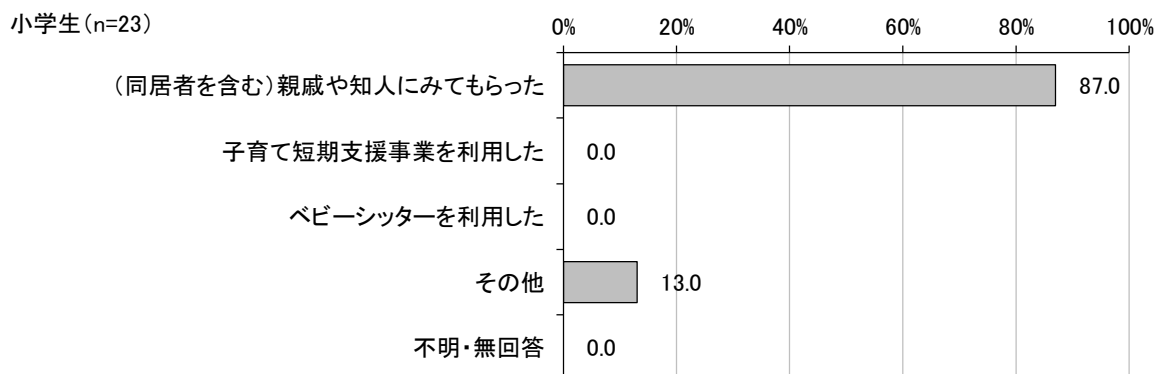
Q20 (1) - 1 預けられた日数についてお答えください。

	小学生 (n=23)	
	件数	%
1日	10	43.5
2日	1	4.3
3日	3	13.0
4日	0	0.0
5日	0	0.0
6日	0	0.0
7日	2	8.7
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	7	30.4
不明・無回答	0	0.0

Q20で「預けたことがある」を選択した方

Q20（１）－２ お預けになった先についてお伺いします。（あてはまるものをすべて選択）

「（同居者を含む）親戚や知人にみてもらった」が87.0%と最も高く、次いで「その他」が13.0%となっています。



Q20で「預けたかったが、預ける先がなかった」を選択した方

Q20（２） 預けたかったが、預ける先がなかったとお答えされた方は、どのように対応されましたか。

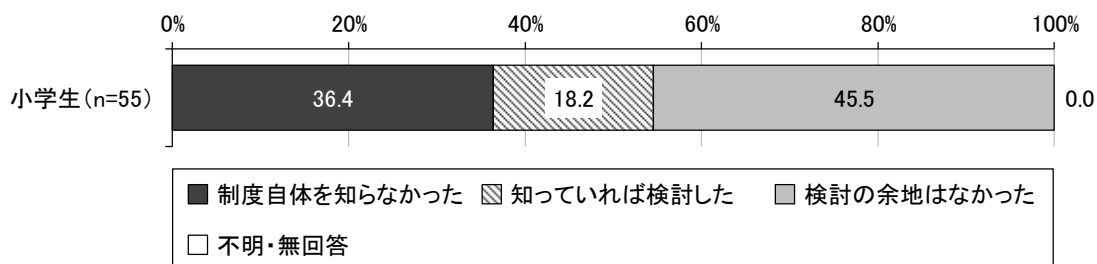
「子どもも同行させた」が87.5%（7件）と最も高く、次いで「子どもだけで留守番させた」が12.5%（1件）となっています。

	小学生 (n=8)	
	件数	%
子どもも同行させた	7	87.5
子どもだけで留守番させた	1	12.5
その他	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

Q19で「利用したい」を選択した方

Q20（３） お子さんを泊りがけで預けたいとお考えになった際、児童養護施設でのショートステイサービス(短期入所生活援助)など、制度の利用を検討されたかお伺いします。

「検討の余地はなかった」が45.5%と最も高く、次いで「制度自体を知らなかった」が36.4%、「知っていれば検討した」が18.2%となっています。



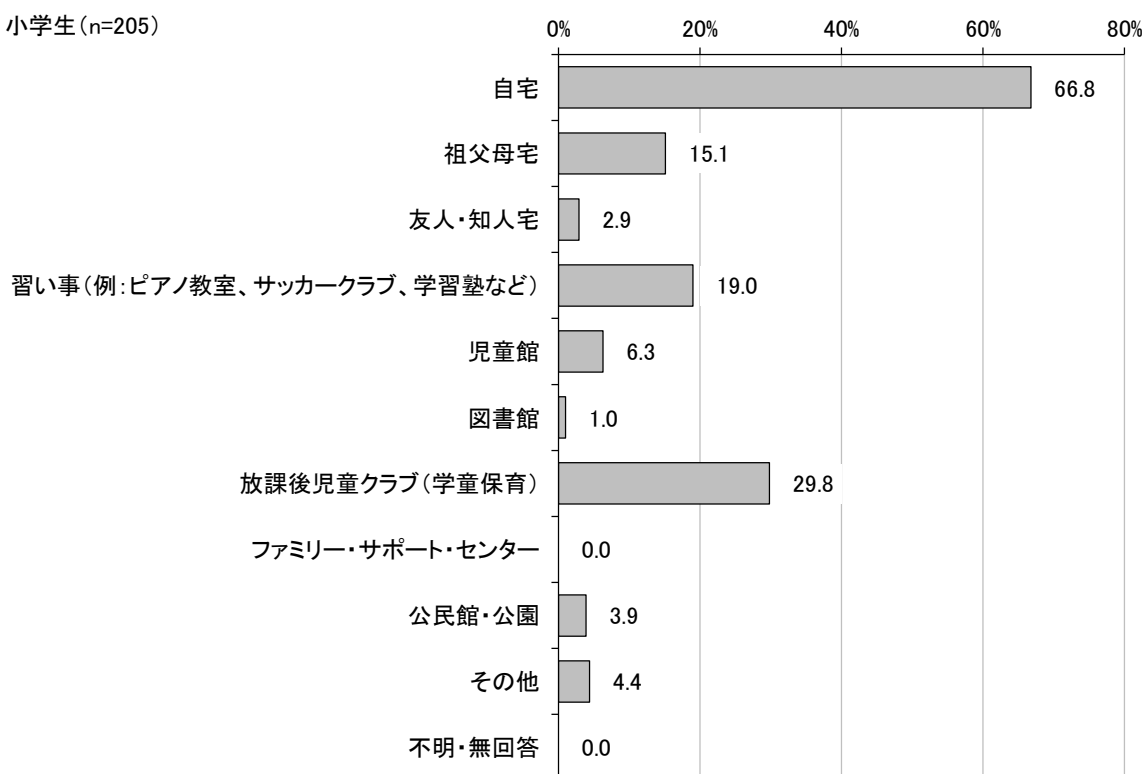
6 放課後の過ごし方について

Q21 放課後の過ごし方について、小学生のお子さんのうち年長のお子さんから順に第1子・第2子等に当てはめてお答えください。(当てはまるものをすべて選択)

【第1子】

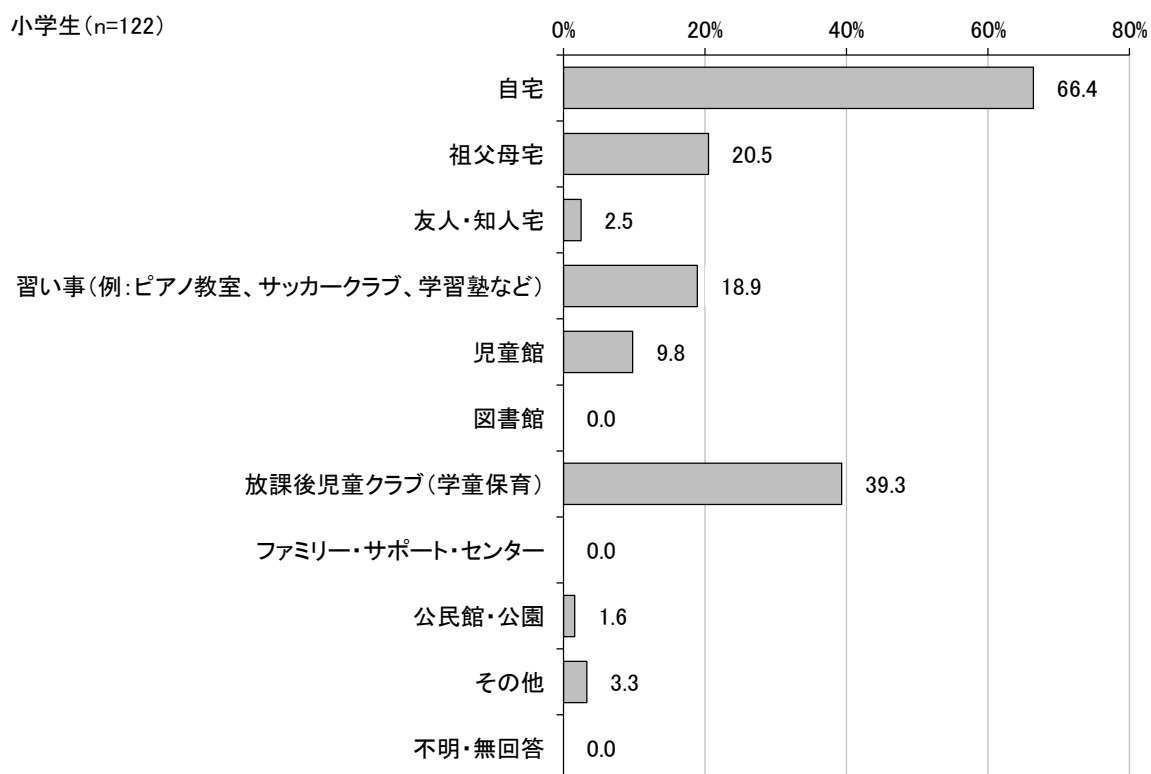
「自宅」が66.8%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」が29.8%、「習い事(例:ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が19.0%となっています。

小学生(n=205)



【第2子】

「自宅」が66.4%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が39.3%、「祖父母宅」が20.5%となっています。



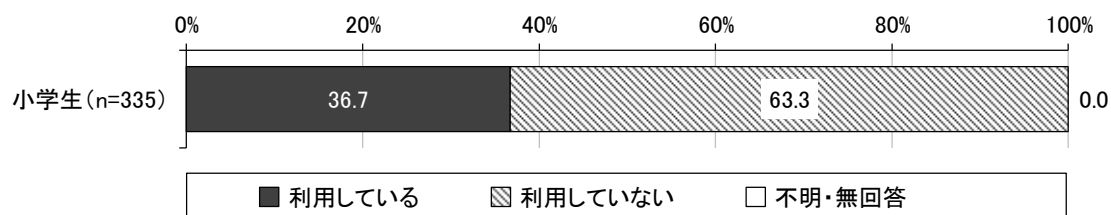
【第3子】

「自宅」が75.0%（6件）と最も高く、次いで「習い事（例：ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が62.5%（5件）、「児童館」「放課後児童クラブ（学童保育）」が25.0%（2件）となっています。

	小学生 (n=8)	
	件数	%
自宅	6	75.0
祖父母宅	1	12.5
友人・知人宅	0	0.0
習い事(例:ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	5	62.5
児童館	2	25.0
図書館	0	0.0
放課後児童クラブ(学童保育)	2	25.0
ファミリー・サポート・センター	0	0.0
公民館・公園	1	12.5
その他	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

Q22 放課後児童クラブ(学童保育)を利用していますか。

「利用している」が36.7%、「利用していない」が63.3%となっています。



Q22で「利用している」を選択した方

Q22-1 放課後児童クラブ(学童保育)は週に何日ほど利用されていますか。

	小学生 (n=123)	
	件数	%
1日	15	12.2
2日	4	3.3
3日	9	7.3
4日	14	11.4
5日	79	64.2
6日	2	1.6
7日	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

Q22で「利用している」を選択した方

Q22-2 下校時から何時までご利用されていますか。(一定でない場合、よくある日常的なパターンでお答えください。)

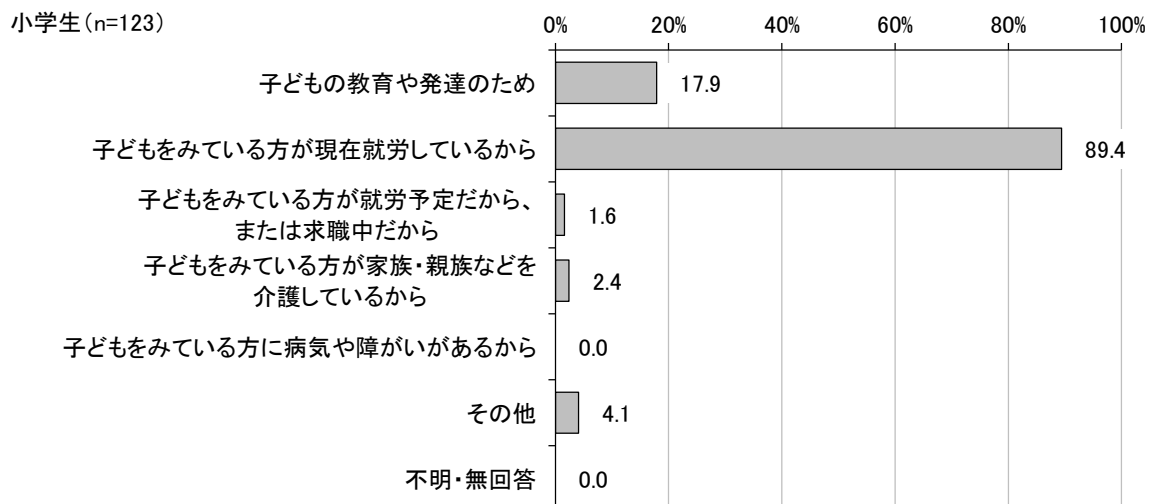
	小学生 (n=123)	
	件数	%
15時以前	3	2.4
15時台	2	1.6
16時台	22	17.9
17時台	60	48.8
18時台	36	29.3
19時台	0	0.0
20時以降	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

Q22で「利用している」を選択した方

Q22-3 放課後児童クラブ(学童保育)を利用されている理由をお伺いします。

(あてはまるものをすべて選択)

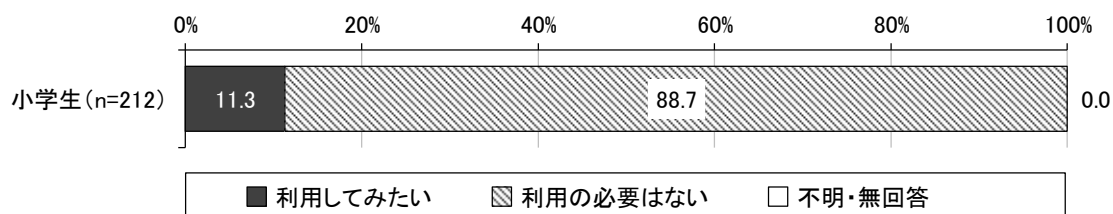
「子どもをみている方が現在就労しているから」が89.4%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が17.9%、「その他」が4.1%となっています。



Q22で「利用していない」を選択した方

Q23 利用していない方にお伺いします。利用の希望についてお答えください。

「利用してみたい」が11.3%、「利用の必要はない」が88.7%となっています。

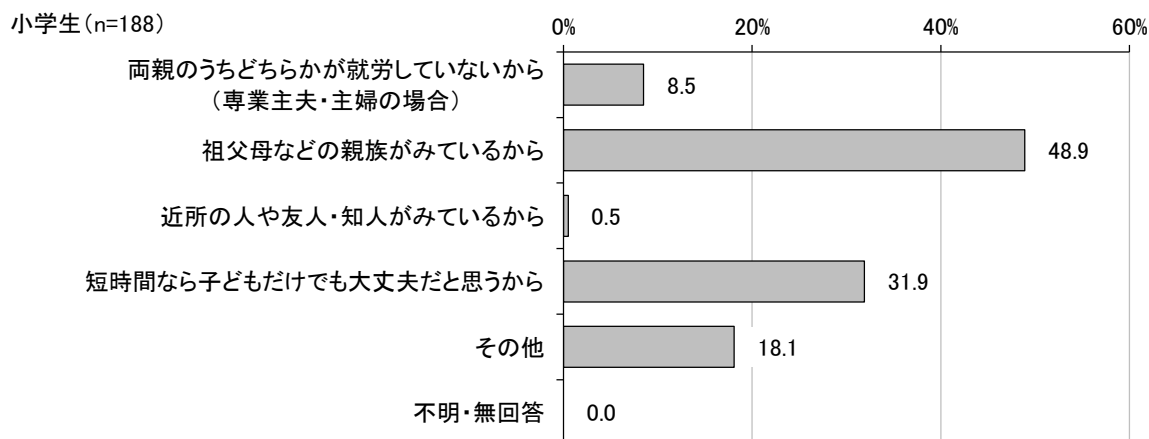


Q23 で「利用の必要はない」を選択した方

Q23-1 放課後児童クラブ(学童保育)の利用が必要ない理由をお伺いします。

(あてはまるものをすべて選択)

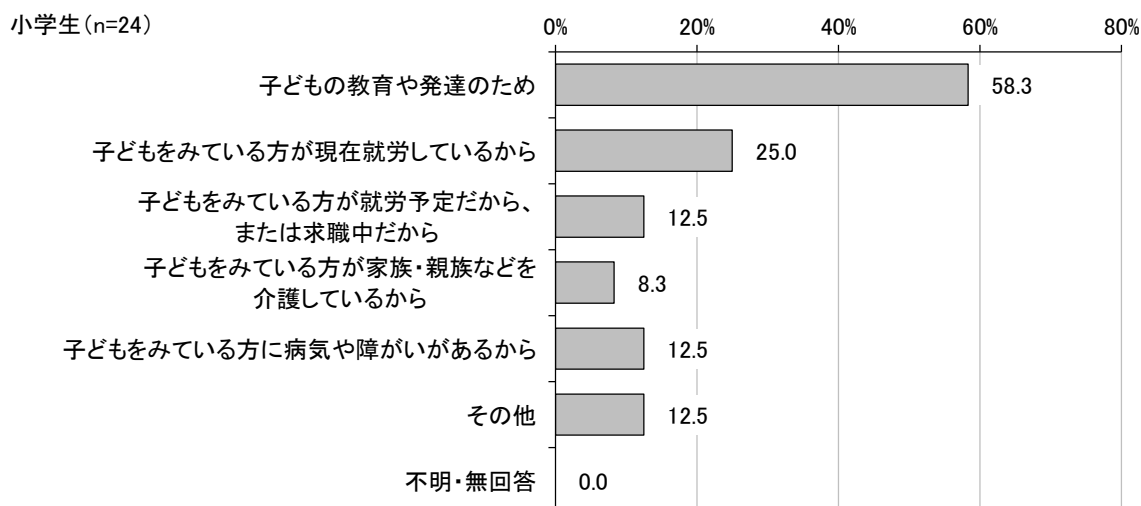
「祖父母などの親族がみているから」が 48.9%と最も高く、次いで「短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 31.9%、「その他」が 18.1%となっています。



Q23 で「利用してみたい」を選択した方

Q23-2 利用してみたい方について、理由をお伺いします。(あてはまるものをすべて選択)

「子どもの教育や発達のため」が 58.3%と最も高く、次いで「子どもをみている方が現在就労しているから」が 25.0%、「子どもをみている方が就労予定だから、または求職中だから」「子どもをみている方に病気や障がいがあるから」「その他」が 12.5%となっています。



Q23 で「利用してみたい」を選択した方

Q23-3 1週間のうち何日くらいをそれらの場所で過ごさせたいとお考えですか。

	小学生 (n=24)	
	件数	%
1日	4	16.7
2日	6	25.0
3日	4	16.7
4日	2	8.3
5日	6	25.0
6日	0	0.0
7日	2	8.3
不明・無回答	0	0.0

Q23 で「利用してみたい」を選択した方

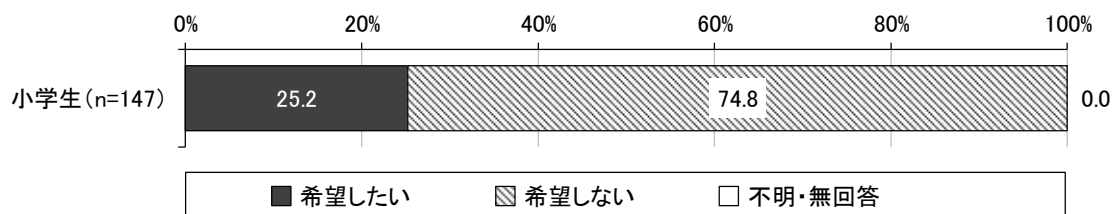
Q23-4 利用される場合、下校から何時くらいまでを希望されますか。

	小学生 (n=24)	
	件数	%
15時以前	0	0.0
15時台	1	4.2
16時台	1	4.2
17時台	13	54.2
18時台	7	29.2
19時台	1	4.2
20時以降	1	4.2
不明・無回答	0	0.0

Q22 で「利用している」またはQ23 で「利用してみたい」を選択した方

Q24 放課後児童クラブ(学童保育)の休日利用について、ご希望をお伺いします。

「希望したい」が 25.2%、「希望しない」が 74.8%となっています。



Q24で「希望したい」を選択した方

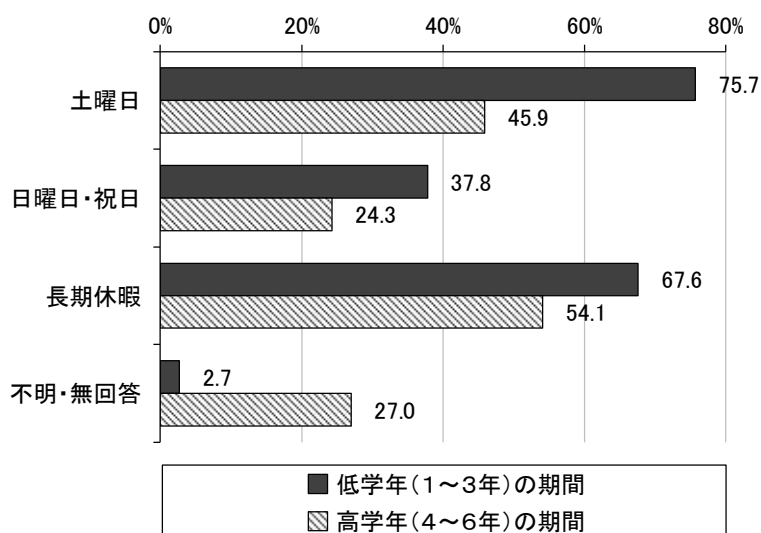
Q24-1 利用を希望する休日について、下記の選択肢からお選びください。

(あてはまるものをすべて選択)

低学年（1～3年）の期間では、「土曜日」が75.7%と最も高く、次いで「長期休暇」が67.6%、「日曜日・祝日」が37.8%となっています。

高学年（4～6年）の期間では、「長期休暇」が54.1%と最も高く、次いで「土曜日」が45.9%、「日曜日・祝日」が24.3%となっています。

小学生(n=37)



■何時から

	小学生 (n=37)	
	件数	%
7時以前	0	0.0
7時台	15	40.5
8時台	16	43.2
9時台	4	10.8
10時台	1	2.7
11時台	0	0.0
12時台	0	0.0
13時以降	1	2.7
不明・無回答	0	0.0

■何時まで

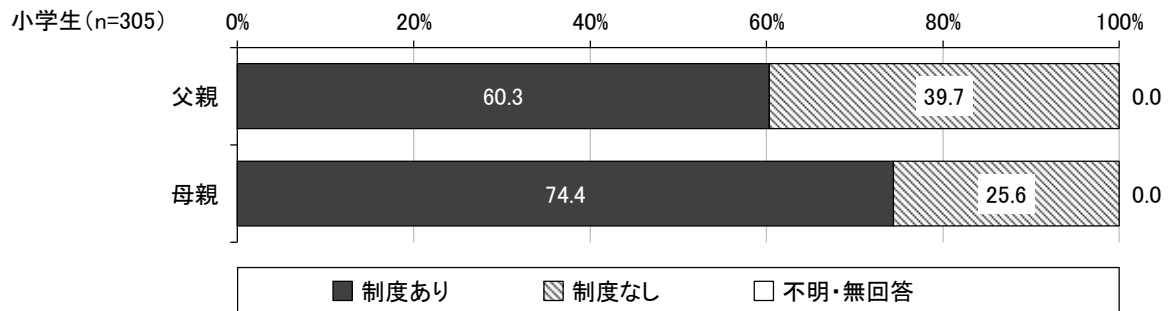
	小学生 (n=37)	
	件数	%
15時以前	5	13.5
15時台	1	2.7
16時台	6	16.2
17時台	7	18.9
18時台	15	40.5
19時台	3	8.1
20時以降	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

7 育児休業など職場の両立支援制度について

Q25 職場の育児休暇制度の取得状況についてお答えください。就労されていない場合は「制度なし」を選択してください。

父親では、「制度あり」が 60.3%、「制度なし」が 39.7%となっています。

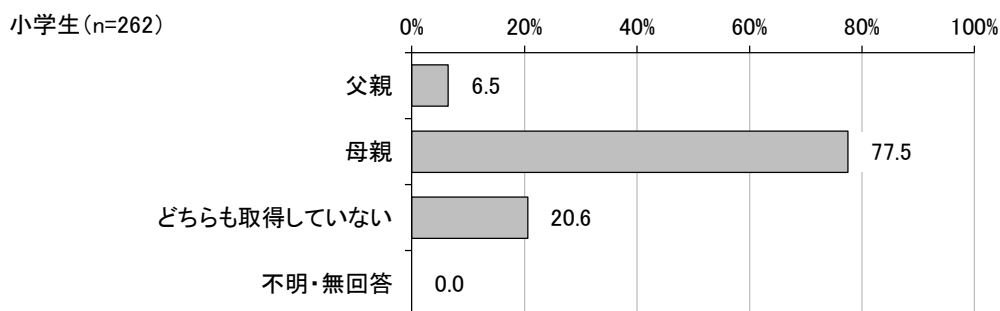
母親では、「制度あり」が 74.4%、「制度なし」が 25.6%となっています。



Q25 の父親、母親のいずれか、または両方で「制度あり」を選択した方

Q25-1 育児休暇はどなたが取得されましたか。(あてはまるものをすべて選択)

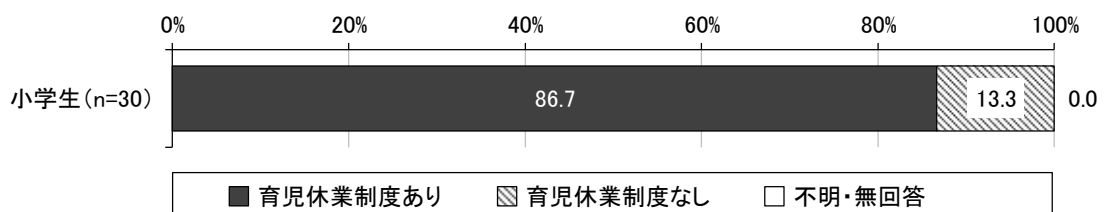
「母親」が 77.5%と最も高く、次いで「どちらも取得していない」が 20.6%、「父親」が 6.5%となっています。



Q5で「配偶者はいない」を選択した方

Q26 職場の育児休業制度の取得状況についてお答えください。就労されていない場合は「制度なし」を選択してください。

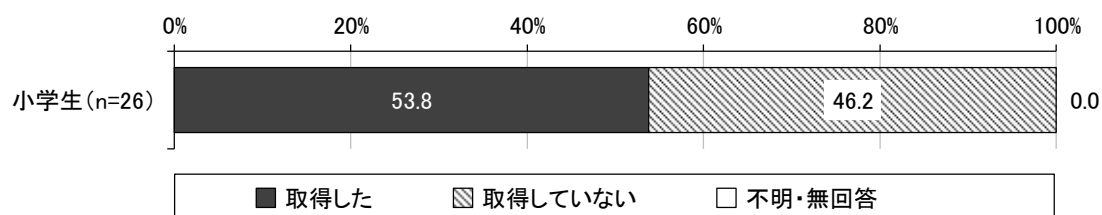
「育児休業制度あり」が 86.7%、「育児休業制度なし」が 13.3%となっています。



Q26 で「育児休業制度あり」を選択した方

Q26-1 育児休業制度ありの場合、取得されましたか。

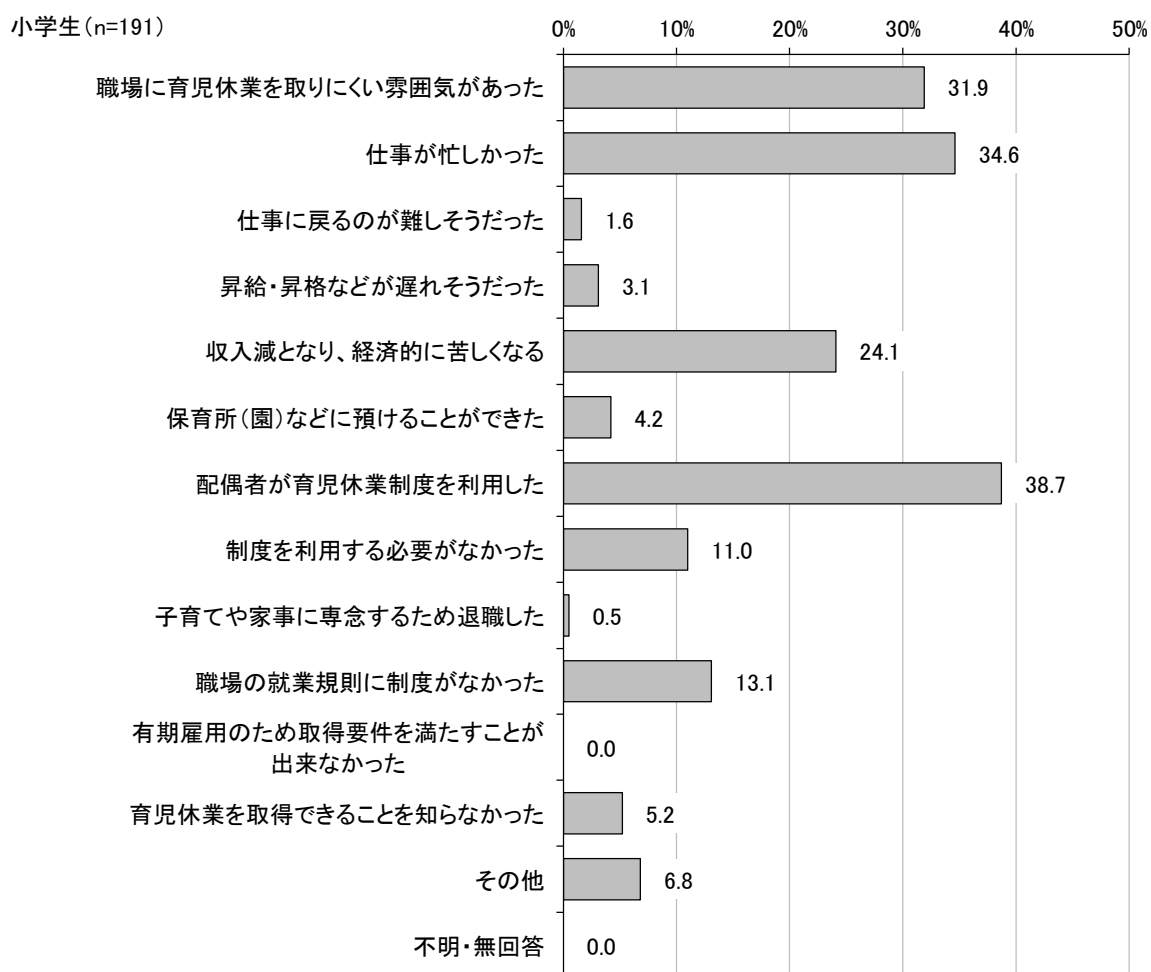
「取得した」が 53.8%、「取得していない」が 46.2%となっています。



Q25-1 で「母親」を選択した方

Q27 (1) 父親が取得されていない理由をご回答ください。(あてはまるものをすべて選択)

「配偶者が育児休業制度を利用した」が 38.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 34.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 31.9%となっています。



Q25-1で「父親」を選択した方

Q27（２）母親が取得されていない理由をご回答ください。（あてはまるものをすべて選択）

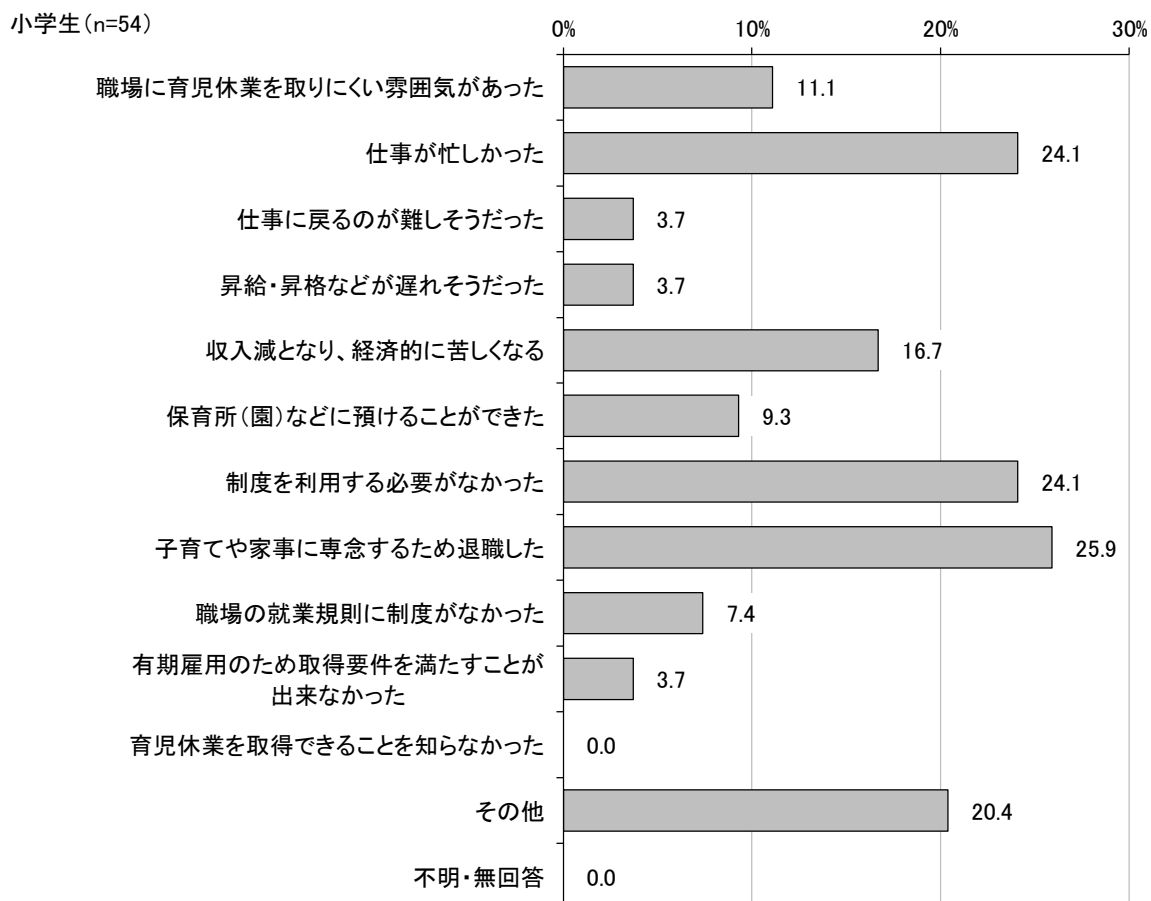
「その他」が 40.0%（２件）と最も高く、次いで「制度を利用する必要がなかった」「子育てや家事に専念するため退職した」「職場の就業規則に制度がなかった」が 20.0%（１件）となっています。

	小学生 (n=5)	
	件数	%
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	0	0.0
仕事が忙しかった	0	0.0
（産休後に）仕事に早く復帰したかった	0	0.0
仕事に戻るのが難そうだった	0	0.0
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0
収入減となり、経済的に苦しくなる	0	0.0
保育所（園）などに預けることができた	0	0.0
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0
制度を利用する必要がなかった	1	20.0
子育てや家事に専念するため退職した	1	20.0
職場の就業規則に制度がなかった	1	20.0
有期雇用のため取得要件を満たすことが出来なかった	0	0.0
育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0
その他	2	40.0
不明・無回答	0	0.0

Q25-1で「どちらも取得していない」を選択した方

Q27（3）どちらも取得されていない理由をご回答ください。（あてはまるものをすべて選択）

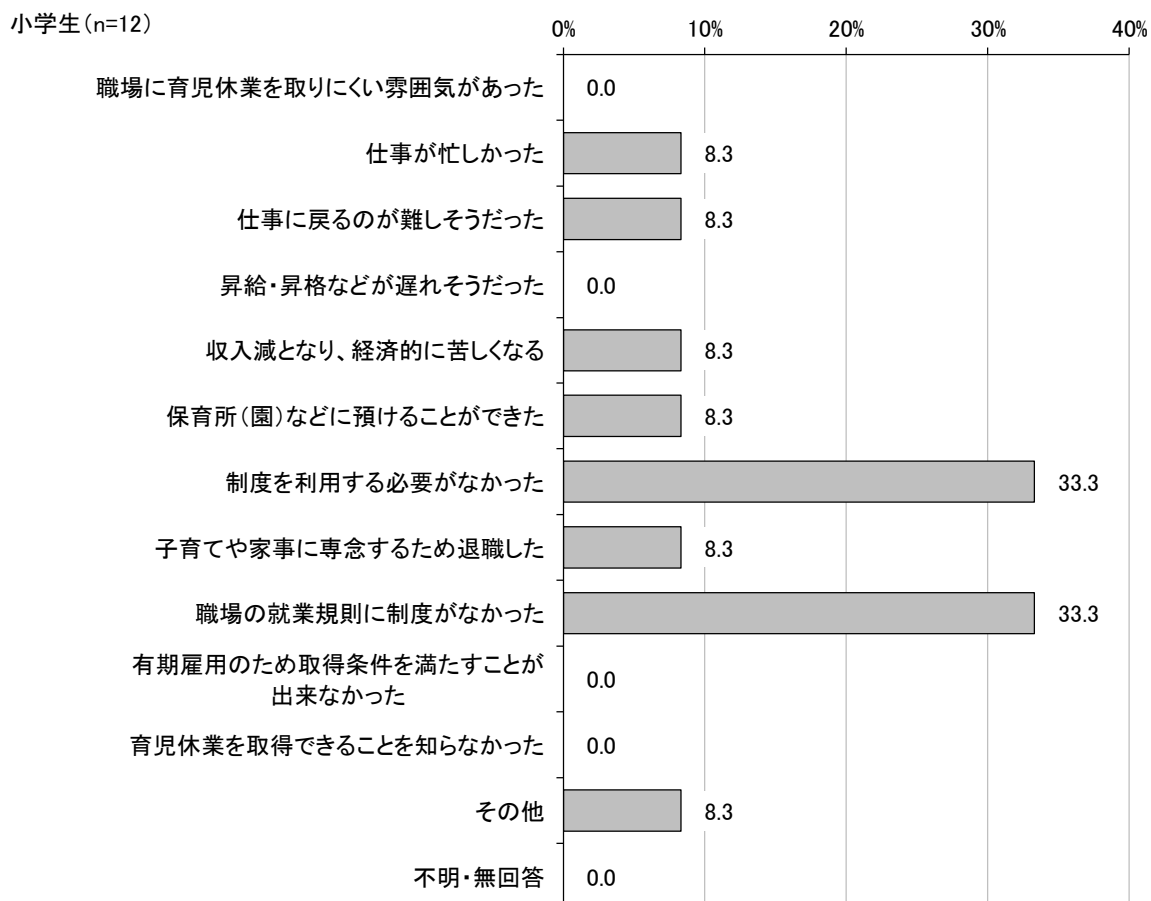
「子育てや家事に専念するため退職した」が 25.9%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」「制度を利用する必要がなかった」が 24.1%、「その他」が 20.4%となっています。



Q26-1で「取得していない」を選択した方

Q28 取得されていない理由をご回答ください。（あてはまるものをすべて選択）

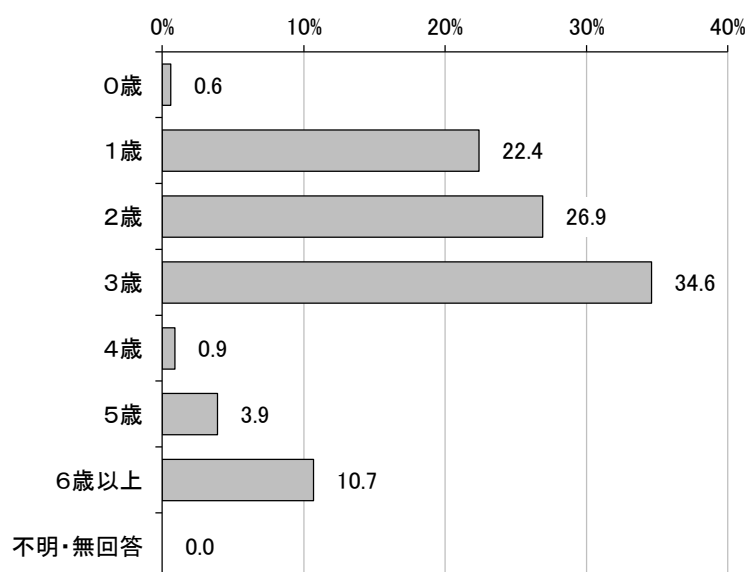
「制度を利用する必要がなかった」「職場の就業規則に制度がなかった」が 33.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「保育所（園）などに預けることができた」「子育てや家事に専念するため退職した」「その他」が 8.3%となっています。



Q29 職場に育児休業を取得できる制度があると仮定してお答えください。お子さんが何歳まで休業したらよい子育てができるとお考えですか。

「3歳」が34.6%と最も高く、次いで「2歳」が26.9%、「1歳」が22.4%となっています。

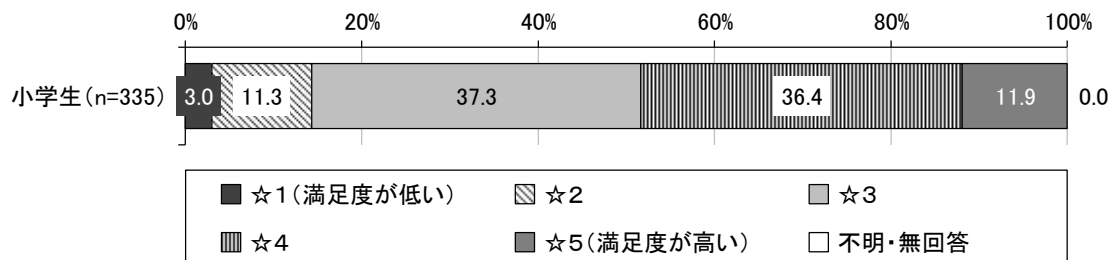
小学生(n=335)



8 子育ての観点からみた中能登町について

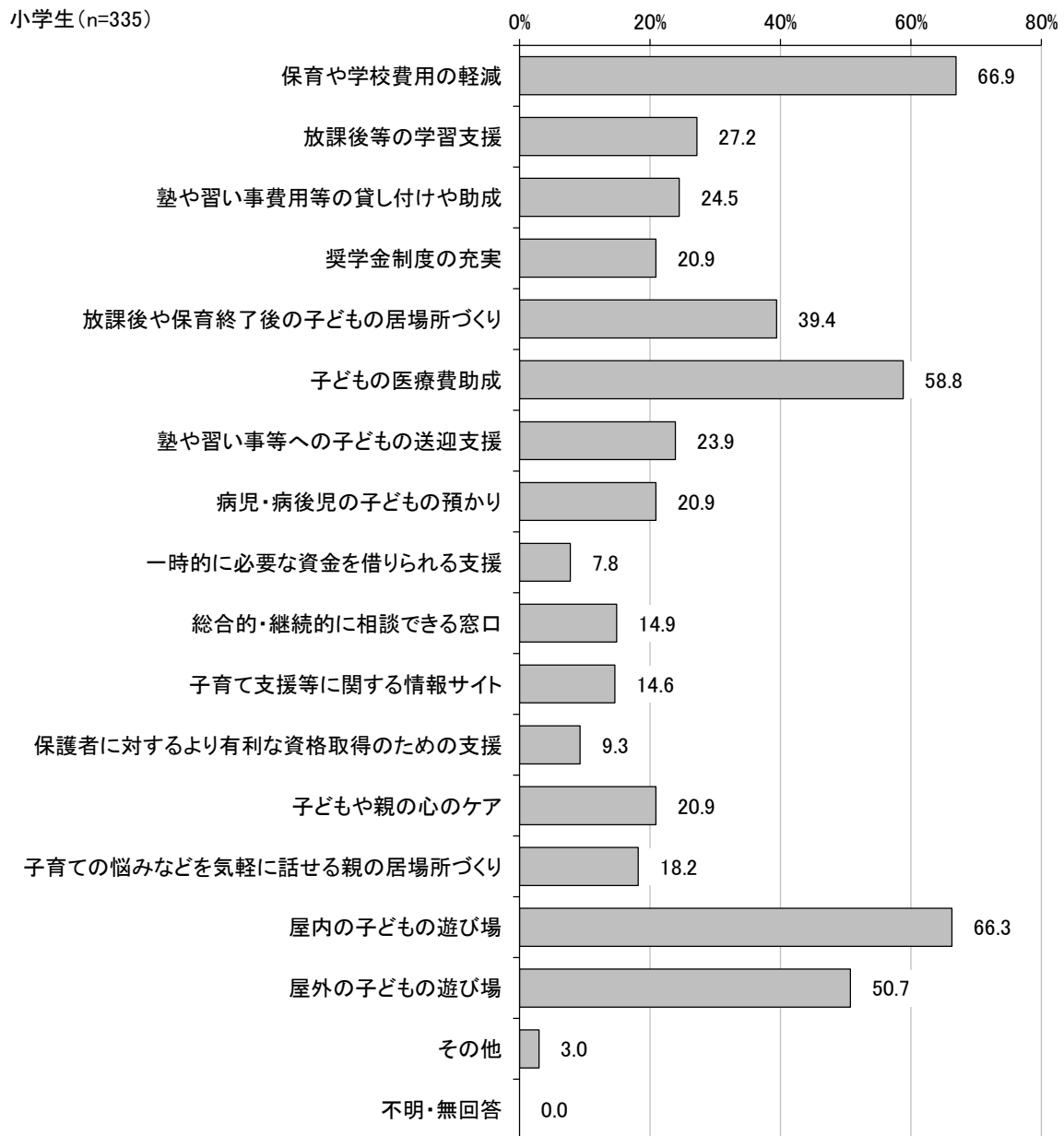
Q30 中能登町における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

「☆3」が37.3%と最も高く、次いで「☆4」が36.4%、「☆5（満足度が高い）」が11.9%となっています。



Q31 あなたが子育てをするうえで必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。（あてはまるものをすべて選択）

「保育や学校費用の軽減」が66.9%と最も高く、次いで「屋内の子どもの遊び場」が66.3%、「子どもの医療費助成」が58.8%となっています。



Q32 中能登町の子育て支援策について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

回答内容
中能登町で子育てをされていて、支援について助かっている部分がほとんどです。周囲の市町村で子育てをしている人からは中能登町は子育て支援が手厚くていいねと言われ嬉しくなります。ただ現在、不便に思っていることがあります。土曜日の学童の受け入れ時刻が通常時と長期休暇時で違う事です。親は年中同じ時刻の出勤であるので受け入れの時間を考慮して欲しいと思います。
遊ぶところが少ない
入学時にもらえる安全帽は有難いですが、夏は頭が蒸れて汗だくで帰ってくるので熱中症が心配です。別の安全帽に替えたいと探しましたが、子どもは1人だけ違う帽子は嫌がるので、被ってくれませんでした。結局、学校からは日傘を許可されたので、夏の帽子は意味の無いものになります。帽子の選択肢を増やして欲しいです。頂けるなら今の時代に則した日除けや熱中症対策のされたもの、また男女で区別なく選べるものがいいと思います。
子育てしやすく住み良い中能登町を進めて行くのは、いいのですがアパート在住子育て家族の中でアパートでも平気で走り回ったり暴れたり騒音出しまくって迷惑をかけている家庭があることを知って欲しいです。車の幅寄せも酷く人の駐車場も無断で頻回に使用、お菓子のくずごみ平気ですててこちらが処理。アパート前で平気で子供におしっこをさせたり1家庭2台までなのに来客用駐車場や空いているスペースに仕事用か3台目駐車し他の家庭が迷惑。騒音注意すると普通に暮らしているだけで注意してくる方が悪いという始末。結局こちらが我慢。我が子達が小さい時は、隣近所に迷惑のないよう日中アパートにおらず公園や実家で体を動かして21時には、休む。それでも迷惑かとも思えるだけ挨拶や騒音を詫言っていたのに。その家庭は、出会っても無視。中能登でも無料の屋内外で遊べる所が充実すれば、というか既に公園などあるので、保育園世帯に騒音で実際迷惑をかけている家庭があるので、子供を遊べる施設の案内を出せばいいと思います。何でもかんでも無料にすればいいということではないと思います。騒音迷惑家族に迷惑をかけられている自分達の税金で医療費、給食費など無料で賄うのは、納得いきません。保育園世帯にアパート迷惑家族の実態をよく知らせたうえで屋内外の子供スペースをお知らせしてほしいです。
もっと人が集まれるような屋内施設があったら良いと思います。かほつくるのような、町民無料で町外有料にすれば運営費も確保出来る？七尾にも施設が無いので需要はありそうですが…。あとは屋内プールを町内に1つ作って、各小学校のプールは使わずにそこに行くようにすれば天候に左右されずに授業が受けられるのでは？と単純に思いました。夏が暑すぎるので。スクールバス等を回して週1位の頻度？出来ればコーチも水泳を専門に教えているプロに委託した方が先生の負担も軽減され、専門的な内容を学べるので良いのでは…？雇用も生まれて、小学校3つのプールを維持するよりお金もかからないと思います。素人の浅い考えですが。
義務教育で必要なものは、国や市で補助金を出すなり配布にして欲しい。例えばランドセルや制服など。
中能登町は子育て支援のサービスは充実しているように思います。学校給食費は長子だけなのでとても助かっています。しかし、他の市町村では学校給食費が無料のところもあるので、中能登町も無料化にしてくださいとより良いのではと思います。また屋内で遊べる場所がもう少しあればと思います。図書館に併設されているような公共の場所だったり、無料のバスを利用して児童館へ遊びに行けるなど。夏休みの過ごし方も変わるように感じます。例年熱中症アラートで、夏休みは公園やプールで遊べない状況のため、

回答内容
子供達が体を動かして遊べる場所だったり、図書館を利用して勉強をするなどもっと活用できればよいと思います。
近年、発達に関して細かく分類されていると思いますが、学年が上がるに連れて支援級に移動しているお子さんがポツポツでてきているという話を聞くことがあります。 ① 保護者やお子さん本人との兼ね合いもあるのかもしれませんが、もう少しはやめに対処できていたらいいなと思います。学年が上がるにつれて、子どもにもプライドや羞恥心もでてくるだろうと思うのですが、心が傷つくのではと心配です。 ② 学校の支援だけでは限界があると思います。もし中能登町で支援していただけるのなら、授業についていけない子どもたちへの個別の指導などしていただければと思います。子どもたちが自分なりに勉強の仕方がわかるきっかけになれば、たとえわからなくても勉強に取り組もうとすると思います。 ③ 私の子どもは通常学級で通級を利用していますが、他の保護者とそういった話をした際にどうやって利用したらいいかわからないという事をおっしゃっていた方がいたのですが、子どもの発達に関してもっと気軽に相談できるものがあればいいなと思います。平日 8 時～17 時限定の相談とかじゃなく、月 1 回でもいいから夜間とか、休日とかで子どもの事を話せるとかどんな支援があるとか気軽にはなせる場所があればいいなと思います。 回答してて疑問に思ったのですが、この子育て支援は親への支援なんですかね？子どもの支援も含まれてるんですかね？設問内容のほとんどが子どもを物のような扱いになっている感じがしました。
子供の遊び場が屋内外、増えると嬉しいです。小児科も増えて欲しいです。
小学校でタブレット教育が始まり、放課後チャットなどでも子ども同士交流する機会が増えました。中能登町だけに限らず、スマホを持っていない子供達も気軽に交流し、公私共に情報交換の場となっています。これからもっと加速するデジタル社会の中で、大人になる前に詐欺や犯罪などに巻き込まれないか心配です。学校様でも管理していると思いますが、少しでも多く子供達にデジタル社会の注意点などの講座を任意でも良いので開いてほしいです。同様に性教育についてもです。食生活が変わり、身体が大人になる時期が私(昭和生まれ)との時より早く感じます。身体や頭脳も成長が早く感じ、思春期を迎える前に男女の身体の仕組みや性に対して興味を持つ子が増えていると思います。道徳性を持った脱少子化に繋がれば良いと思いますが、無責任に起こる出来事や性犯罪、感染症のリスクを緩やかになれたらと思います。中能登町に限らずの提案です。いつも町の子供達、保護者の事を思い、施策をありがとうございます。
小児科が毎日やっていないので、待ちが半日とかになるから、よその市まで行った方が早い為そうしている。出来れば平日毎日＋土曜半日くらいはやってほしい。もしくは新たに誘致してほしい。
公園の充実。無料で使える体育館
かほつくるのような室内遊び場がほしい
屋内遊戯場を早く作って欲しいです。予算や管理費など大人の都合に子どもを合わせるような事をしている子育て世帯が羽咋に取られちゃいますよ。
かほつくるやラクナ羽咋のような室内の遊び場を作ってほしいです。中能登町民だけ無料など。
通学用バス利用の距離範囲を広げて欲しいです。少しの距離の差でバス通にならないので、もう少し利用できる範囲を広げて欲しいです。本人は帰ってきたいらしいのですが、天候が悪い時など学童に行かせるしかないのが現状です。
保育園の先生に体罰を受けた事があり、中能登町の保母さんに不満があった。過去には越路小学校の先生にも同じ思いをしたことがあるので教職員には信用はない

回答内容
金沢市からの移住組です。人口的に少ない予算の中で、子供の医療費を無償にしていることについてはすごく良いと感じています。一方で、学校費や給食費など就学児に関しての費用についても、ぜひ予算を投じて無償化にするなどしていただけたらと思います。子育て世代の人口が増加している兵庫県の明石市のように子供に投資をすることで、その市町村全体が潤うことになると思います。
公園が少ない。もしくは古く狭いので年齢差がある子達が集まるとぶつかったりする危険があり、危ないので近隣に綺麗で新しい公園が増え始めたのでぜひとも中能登町にも作って欲しいです。鳥屋診療所を利用していますが、出来れば小児科を毎日開院出来るよう中能登町と連携して頂きたいです。後、病児保育の場所が無く本当に困っています。
子どもが遊ぶところが少なく感じます。
① 制服リユース(綺麗めの制服や体操服、帽子、白衣、ヘルメット、部活のジャージ等、小・中・高校までの広範囲で)をして、利用しやすいようにしたらどうか？ ② 障害児も習いごとに参加しやすい環境(サポート体制が乏しい)が取れているとありがたい。ボランティア募集？サポータースタッフ？障害のレベルにもよりますが…。 ③ 就学支援制度について、障害児に該当するも旦那の所得で該当から外れてしまい支援対象外になってしまうこと。対象についての見直しをしたらどうか？例えば、生活設計者が二人いるならば二人の所得合計、一人親の場合は変わらず所得でとか… ④ 放課後児童クラブについて、障害があっても職員の共通理解でみんなで協力して提供すべきである。1人の職員が責任を持ち接する事はどのようなのでしょうか？
児童館以外にも子どもが、遊べる施設がほしい
子育てに強い中能登町、現在よりもより良くなる事を期待します
学校で使うもの、たとえば算数ボックスや彫刻刀や裁縫セットなどなどは個人で購入するのではなく、学校で購入して代々みんなで使えばいいと思います。管理が大変かもしれませんが、個人購入は無駄が多いです。お金がかかるし、いらなくなったら邪魔になるだけゴミが増えるだけですごく負担です。どうかしてほしいです。兄弟がいればお下がりできると言いますが、年齢差によってはお下がりもできず、ほんとうに邪魔です。そんなに使わないのにお金ももったいないといつも思います。
学校給食の無料化をして欲しい
コミュニティがとれる楽しい場所があると良いのでは…。スマホに向き合ってる時間が多すぎます。人と交わる場がもっとあれば良いと思います。
地域に小児科医院が無いことが不便
以前は公民館や児童館などで自由に遊べましたが、管理上の問題か何かで、地域の児童館は廃止しています。よっぽど仲がいい友達なら学校終わったら遊ぶ約束したりするでしょうが、子供同士仲良くする、コミュニケーションとる場所が少ないと感じます。祖父母がおり、学童も入れないので、学校から帰って来たら自宅にいただけでいます。大きな不満はないのですが、少しそのように感じました。
ブレバステ典を増やしてほしいです。あと、無料で遊べる室内の公園があるといいです。また、体育施設など、町民は使用料を無料にしてほしいです。
子供達だけで運営された、子供達だけのコミュニティの様な場所、集いがあれば自立心や子供が子供で面倒見る様な枠組みができて良いと思います。(昔はそれが当たり前だったのかもしれませんが)
ラクナ羽咋のような施設が中能登町にもあれば良いなと思います。屋内遊具や、e スポーツ等子供達が楽しめる環境を、充実させてほしいです。

回答内容
子どもの遊び場が欲しいですが、もう子どもは小学5年生と2年生の男の子なので、遊びはサッカーやバスケなので、体育館を自由に使わせてほしい。無料にしてほしい。大きな体育館は試合などあるとつかえないので、小さい体育館でもいいので無料解放してほしい。子どもはボールが蹴りたいだけなんです。公園でさえもグランドゴルフ大会でつかえない日もあるので、たくさん子どもたちが困っています。
平日毎日受診ができる小児科がほしい。長期休暇時の放課後児童クラブ開所時間を7時から可能にしてほしい(特に冬場は積雪・凍結などで7時半に預けに行くと仕事に間に合わない)金丸地区からは通学バスがあるが、西馬場地区からは距離の問題でバスが出ないため、低学年が歩いて登校する場合は家から出るのが7時前となっているのが現状です。遠いのもあり歩く子供があまりいなく、1人で歩かせるのは不安なため送迎しており親の負担も大きい。夏は熱中症の心配や、冬になると消雪装置によって足場が悪く、天候状況により歩かせることにも不安が大きい。
全てにおいて、お役所仕事、画一的な支援ではなく、寄り添う支援をしてほしい。お金お金と外部委託していますが、そのせいですべての質が落ちていることに気づいてください
現在放課後学童クラブを利用させていただいています。七尾市内の学童では、夏休み等の長期休暇の際、弁当の配達があるそうです。夏場は食中毒の心配があることと、就労しながら毎日弁当の用意に負担を感じています。中能登町でも弁当配達を導入していただけると、大変嬉しいです。
小学校の給食費無償化してほしい。近辺の小学校は無償化が進んでいるのに…
町内の小児科は鳥屋診療所ですが、隔日で診療していない曜日があるので、平日いつでも受診できれば安心だと思います。
長期病気や発達障害や不登校など、まだまだ理解されていない状況だと考えますし、支援不足に感じます。難しい問題ですが、自分の家庭での出来事に置き換えて見てもらえると、見えてくることが多くあると考えます。これからの子供の未来のために、サポート改善などが必要です。
LAKUNA はくいのような屋内の子どもの遊び場があって欲しいです。
子どもいきいき子育て支援のまちの基本理念…昔から子育てに優しい中能登町というわりには支援が、どこかで行われているまねっこ程度におもえて残念です…
公園、屋内の遊び場をもっと作ってほしい。小児科、耳鼻科、眼科、皮膚科などの病院が必要だと思う
公園はいっぱいあるので、屋外施設は充実しているが、雨の日など、屋内で遊べる施設がない。家にいても限界があるので、そういった施設を充実してほしい。
他市町村は、子育て支援を強化している中、中能登町は以前より後退しており、学童保育料も2人目から無料だったのが、有料になった。その学童の質も問われる。給食費無料化も無い。物価高に対する支援も全く無い。子育てしやすい町として町外から移住したのに、現在は他市町の方が支援が厚い。このままでは、中能登町に移住しようと思う若い人たちが少なくなり、町外に出ていってしまう懸念もある。小児科も週に3日しかあいておらず、最終受付も4時半と受診しにくい。子育て支援が充実していたことが中能登町の良さだったのに、今の中能登町の良さは何なのだろうか…と日々感じております。
中能登町の子育て支援は他の町から比べてとても充実していると思います。子供達の遊び場については、大きな公園もありますが少し老朽化しているところがきになります。保育園から低学年、高学年から中学生など年代別に遊べる環境があったら安全だと思いました。
屋内で遊べる施設が欲しい。かほつくるのような
屋内の遊び場や、大きくなっても使えるような複合施設があったらいいなと思います。ラクナ羽咋のような…

回答内容
一生懸命夜勤もして働いてるのですが、所得がひっかかり、ひとり親の支援はうけとっていません。しかし、貯金をする余裕がありませんし余裕があるかといったらありません。児童扶養手当はもらえなくても、ひとり親に該当する場合は、就業支援金などの支援をしていただけると大変助かります。習い事や塾なども、お金がかかるので現金以外での支援が手厚くなればありがたいなあとと思います。
英検の助成など、近隣地域にはない有り難い制度だと感じている。中学、高校になっても引き続き利用したい。
無償化などの支援も必要なのかもしれませんが、保育現場、教育現場にプラスの人員配置が必要だと考えます。未来を担う子供たちに十分目が行き届くようにし、必要な支援をしてあげてほしいと切に願います。
学童が7時半からなので夏休みや冬休みなど職場の就業時間に間に合わないことがある。特に冬休み中は雪で通勤時間がいつも以上にかかるので7時から開くと助かる。
鳥屋図書館の復活を強く望みます。全ての児童が利用できる小学校までの送迎バスが必要だと思う。
異常気象が1年を通して多いので、子供たちだけでの登下校が心配です。徒歩通学の子供たちにも最寄りの公民館まで等、シャトルバスを出すなどしてほしいです。
羽咋のラクナに中能登町から行っている人が多いので中能登町にも屋内遊び場を作してほしい
他の市町村では屋内で遊べる施設が増えてきているので、中能登町にもそのような施設ができて欲しいと思います。新たに建設するというよりかは廃校を利用するなどできないでしょうか？勿体ないですよ。
鹿島に充実した遊具のある公園を作してほしい。レクトピアパークは老朽化が激しく、今後なくなると困ります。道の駅の遊具は小規模すぎて、すぐ近くに車が通るなど危険な場面をよく見かけます。子供が自転車や徒歩で行ける公園がほしいです。
小児科、皮膚科、耳鼻科など近場にあると助かる。遊び場、雨の日でも、室内で身体を動かせる場所。子供向けの、飲食店やトイレ、習い事が一体化した施設
中能登町は、他の市町と比較すると、子育て支援は充実していると思います。職場でも、中能登町はいいねと、言われます。給食費や学校集金のお金がかからないとさらに嬉しいです。また、鳥屋診療所が、火、木もしていると嬉しいです。あと、以前あったノーテレビデーを、町で決めて欲しいです。以前は放送もあったので、子ども達は決まりと思って消していたので、また放送再開して欲しいです。
子供達は学校で過ごす時間が1番長いので安心できる環境を整えようとしてくれる小学校の先生方に感謝です。こどもにとって家庭環境がストレスなく過ごせる事が1番だと思うけど安心して通える学校、お友達との関係もかなり大切だと思います。
公園の遊具の老朽化によって、遊べる遊具が少ないので、どこか一カ所を拠点として遊具を整備してほしい。
小児科があると助かる。屋内で遊べる場所が欲しい。障害児支援でポーテージ教室に通わせて貰っている。近くで専門の先生にみてもらえるのでとてもありがたい。
羽咋市にできたラクナのように屋内で思い切り身体を動かして遊べる場所が出来ると良いと思います。また、七尾市の国分寺公園のように広い芝生の公園があるといいです。
中能登町は子育て支援はとても充実していると思いますよ。
定期受診をしているので、医療費助成は助かっています。児童館が近くにあるため、利用しています。色々なイベントがあったり、お知らせが来るようになったため、より使いやすくなりました。
長期休暇の際、学童にもっと早い時間から預けたい。（震災により通勤時間が早くなった為）

回答内容
公園を作ってほしい。小児科を作ってほしい
給食費の無償化すすめてほしい。ラクナ羽咋のような高学年も楽しい遊び場があると良い。子どもだけで平和堂に遊びに行くくらいはいずれはできるようになってほしいが、交通の便がない。織姫バスは本数が少ない。能登に映画館が欲しい。入学祝い金2万円は少ない。制服や体操服を購入したら、6万はかかる。入学してからも、給食当番の服を購入したり、出費がひどい。中能登町で人がたくさん集まるようなイベント開催してほしい。企業の誘致。
核家族の共働きの母が育休から復帰した時期は1番大変です。保育園、こども園が保護者の大変さを理解して、園があなたの育児を支えてあげますという姿勢で、保護者を支えるスタンスがあると、保護者はどれだけ救われるか。この保護者は、子育てがしっかりできているという評価の眼差しではなく、大変な中、よく頑張っているねという温かい眼差しで保護者支援をしていただけたら、子育てと家事と仕事に奮闘し、日々疲れ果てている保護者がどれだけ救われるか。保護者が元気だと子育てが安定すると思います。そのような温かい眼差しの園や学校でありますように。
低所得者の支援について、低所得者ではない家庭にも送られる郵便(意味ない郵便)や町内放送(あれこれ申請して下さいとか見舞金配布しますとか)を止めてほしい。ギリギリの所得者は経済的に厳しいのに町の支援あたらないから見たく無い、聞きたく無い
学童保育料が安くて助かります。子ども同士遊ぶ場所として児童館等、利用させたいが、自宅からも学校からも遠く交通手段がなく、行けません。もっと近くに集まれる場所があるといいなと思います…。町内の習い事の教室の紹介、一覧などがあるとありがたいです。個人の教室もふくめて。
児童手当ですが、何子めであろうが高校卒業までの18歳まで、15,000円にしていきたいです
中学校への送迎バスが金丸にない。子供の遊ぶ施設がない。健康ハウスいこいなど各施設の子供料金を無料にして欲しい
食材費高騰の影響か分かりませんが、給食の量が少ないです。インフレを想定した制度の構築もさることながら、給食費や学納費、制服代等の無償化をすべきです。こどもの教育費を本当の意味での無償化や、出産育児に対するインセンティブ制度を拡充していかないと、地方に明るい未来はないと思います。
放課後スポーツクラブやクラブ活動が少ない。遊び場がない。病院が少ない。夏休みのプールがほとんどない。プールがある時でもバス停がいつもと違う遠いところでバスに乗らなくてはならない。
近隣の七尾市では、早々に給食費が無料となっております。中能登町も、そうすべきでは？
学習に対してもう少し厳しく指導してください。
子供達が遊べる場所がほしいです。
おじいちゃん、おばちゃんに頼れない家庭もたくさんあります。学童保育が18時半までではなくせめて保育園と同じ19時にしていきたいです。
鳥屋診療所を毎日あけてほしい。
子どもが体を思いっきり動かせる施設があるとよい。屋内外ともに。
かほく市のように室内・屋内共に子供が満足に遊べる場所ができたなら良かったです。町祭もなくなりイベントが少なく、町外のイベントや遊び場に行っていたので町民としては寂しくも思います。母子家庭ですが何の支援も受けられず、経済的に不安なので学校の給食費無償化が各地で進んでいる中で中能登町もそうなれば助かります。

中能登町
子ども・子育て WEB アンケート調査
結果報告書

発行：中能登町役場行政サービス庁舎
健康保険課子育て支援室 子育て支援係
TEL：0767-72-3134
FAX：0767-72-3141

発行年月：令和7年1月